

さぬき市総合計画策定のための
アンケート調査結果報告書

平成25年12月

さ ぬ き 市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	2
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	2
3	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	職業	3
(4)	就学先・勤務先	4
(5)	居住年数	4
(6)	居住地区	4
II	調査結果	5
1	市への愛着度と定住意向について	5
(1)	市への愛着度について	5
(2)	今後の定住意向について	7
(3)	さぬき市の現在のまちのイメージについて	9
(4)	さぬき市の将来のまちのイメージについて	11
2	行財政改革と市民サービスについて	13
(1)	市民サービスの水準と負担の関係について	13
(2)	今後の行財政改革で重点を置くべき項目について	15
(3)	現在の市役所の庁舎について	18
3	取組の優先度などについて	19
(1)	産業振興と雇用の場の確保のため優先するべき取組	19
(2)	優先するべき人口減少対策・定住促進対策	20
(3)	災害への備えとして優先するべき取組	21
(4)	道路整備において優先するべき取組	22
(5)	交通手段を確保するために優先するべき取組	23
(6)	市民等と行政の協働を進めるため優先するべき取組	24
(7)	優先するべき観光資源のPRと交流を盛んにする取組	25
(8)	優先するべき子どもを産み育てるための支援	26
(9)	高齢化社会への対応として優先するべき取組	27
(10)	障害のある人のために優先するべき取組	28
(11)	子どもの教育の充実のために優先するべき取組	29
(12)	生涯学習を支援していくために優先するべき取組	30
(13)	自然保護と地域環境保全のために優先するべき取組	31

(14) 市民憲章を定め共有していくことについて.....	32
4 市の現状と今後の取り組みについて.....	33
(1) 市の各環境に関する満足度.....	33
(2) まちの各環境に関する重要度.....	42
(3) 満足度と重要度の相関（優先度）.....	50
5 生活や地域のことについて.....	53
(1) 生活や地域のことについて.....	53
(2) 肯定的な回答について.....	98

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、さぬき市総合計画（平成 27 年度～12 年間程度）の策定に当たって、市への愛着度や今後の定住意向をはじめ、生活や地域について日頃感じていることなど、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	18 歳以上の市民
配布数	2,500
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	平成 25 年 6 月
調査地域	市内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,500
有効回収数	1,048
有効回収率	41.9%

2 本調査報告書の基本的な事項

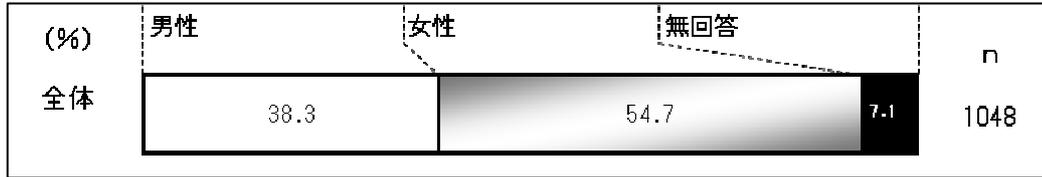
(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。
従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

3 回答者の属性

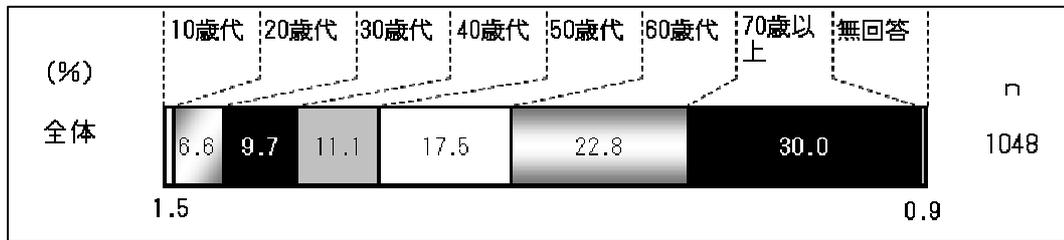
(1) 性別

回答者の性別構成は、「女性」が54.7%、「男性」が38.3%となっています。



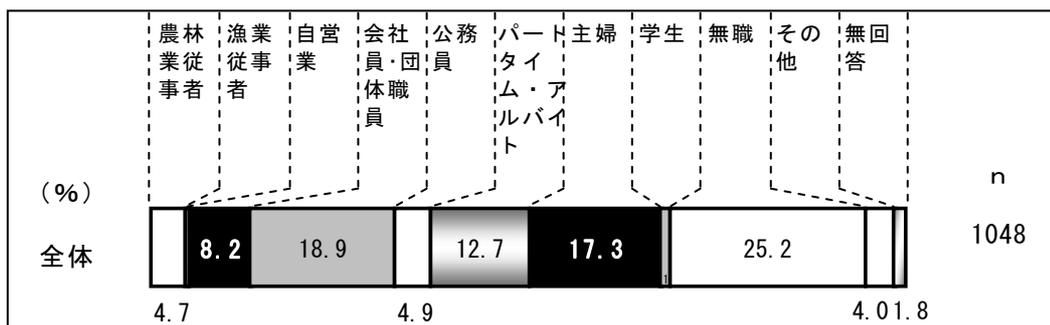
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳以上」が30.0%で最も多く、次いで「60歳代」(22.8%)、「50歳代」(17.5%)、「40歳代」(11.1%)、「30歳代」(9.7%)の順となっています。



(3) 職業

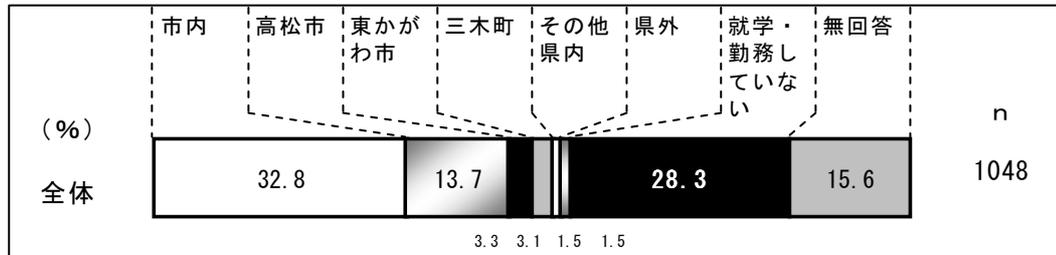
回答者の職業については、「無職」が25.2%で最も多く、次いで「会社員・団体職員」(18.9%)、「主婦」(17.3%)、「パートタイム・アルバイト」(12.7%)、「自営業」(8.2%)の順となっています。



(4) 就学先・勤務先

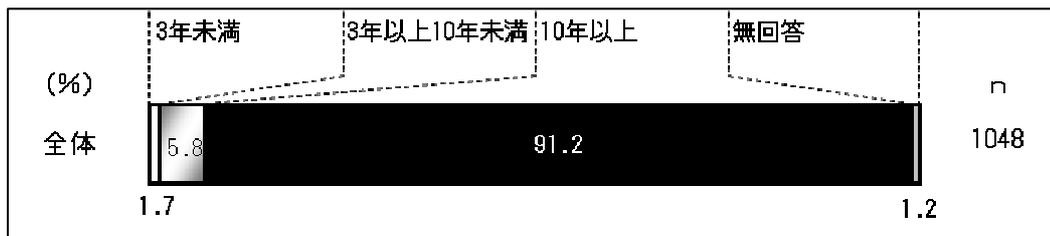
回答者の就学先・勤務先については、「市内」が32.8%で最も多く、次いで「高松市」(13.7%)、「東かがわ市」(3.3%)、「三木町」(3.1%)、「その他県内」(1.5%)、「県外」(1.5%)の順となっています。

「就学・勤務していない」は28.3%でした。



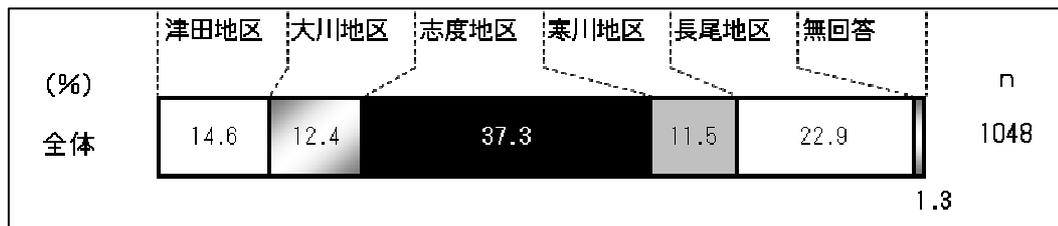
(5) 居住年数

回答者の居住年数については、「10年以上」が91.2%で最も多く、次いで「3年以上10年未満」(5.8%)、「3年未満」(1.7%)の順となっています。



(6) 居住地区

回答者の居住地区は、「志度地区」(37.3%)、「長尾地区」(22.9%)、「津田地区」(14.6%)、「大川地区」(12.4%)、「寒川地区」(11.5%)となっています。



Ⅱ 調査結果

1 市への愛着度と定住意向について

(1) 市への愛着度について

問2 あなたは、さぬき市に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。



- “愛着を感じている”が70.7%、“愛着を感じていない”が7.9%。

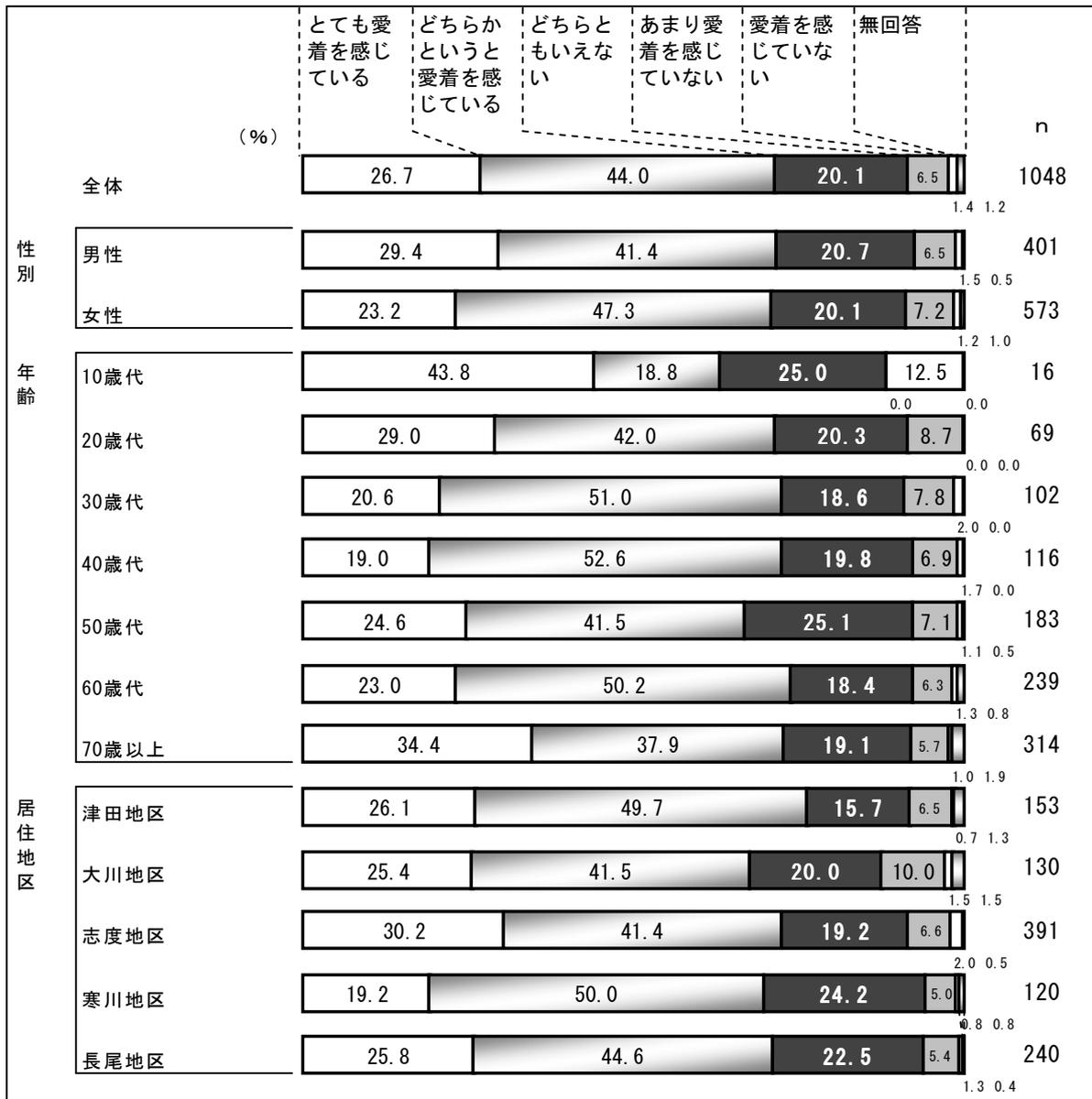
市民の市に対する愛着度を把握するため、「とても愛着を感じている」、「どちらか」といって愛着を感じている」、「どちらともいえない」、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらか」といって愛着を感じている人が44.0%で最も多く、次いで「とても愛着を感じている」が26.7%となっており、これらをあわせた“愛着を感じている”という人は70.7%となっています。これに対して、“愛着を感じていない”（「あまり愛着を感じていない」(6.5%)及び「愛着を感じていない」(1.4%)の合計）は7.9%にとどまり、市への愛着度はかなり高いといえます。

「どちらともいえない」は20.1%でした。

属性別で“愛着を感じている”率をみると、性別では、男性が71.1%、女性が71.2%となっています。[図表1参照]

図表1 市への愛着度について
(全体・性別・年齢・居住地区)



(2) 今後の定住意向について

問3 あなたは、これからもさぬき市に住みたいと思いますか。



- “住みたい” が73.9%、“住みたくない” が5.2%。

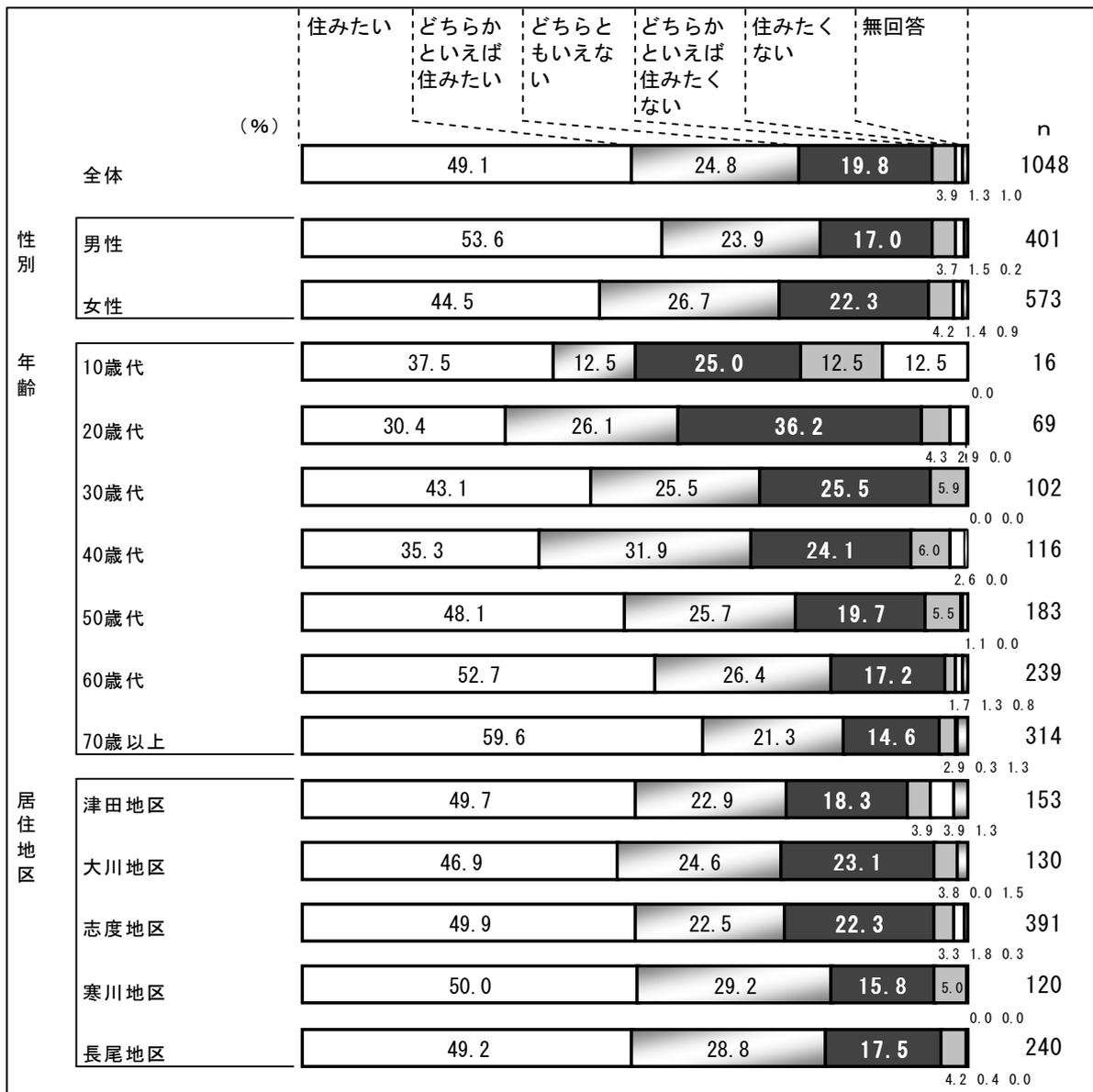
今後の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「住みたい」と答えた人が49.1%と最も多く、これに「どちらかといえば住みたい」(24.8%)をあわせた73.9%の人が“住みたい”という意向を示しています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(3.9%)及び「住みたくない」(1.3%)と答えた“住みたくない”という人の合計は5.2%にとどまり、問2の愛着度と同様に定住意向も強いといえます。

「どちらともいえない」は19.8%でした。

これを属性別でみると、性別では、男性(77.7%)が女性(71.8%)よりも“住みたい”率が高くなっています。

年齢では、年代が若くなるにつれて定住意向が低くなる傾向がみられ、20歳代では「住みたい」が30.4%にとどまっています。[図表2参照]

図表2 今後の定住意向について
(全体・性別・年齢・居住地区)



(3) さぬき市の現在のまちのイメージについて

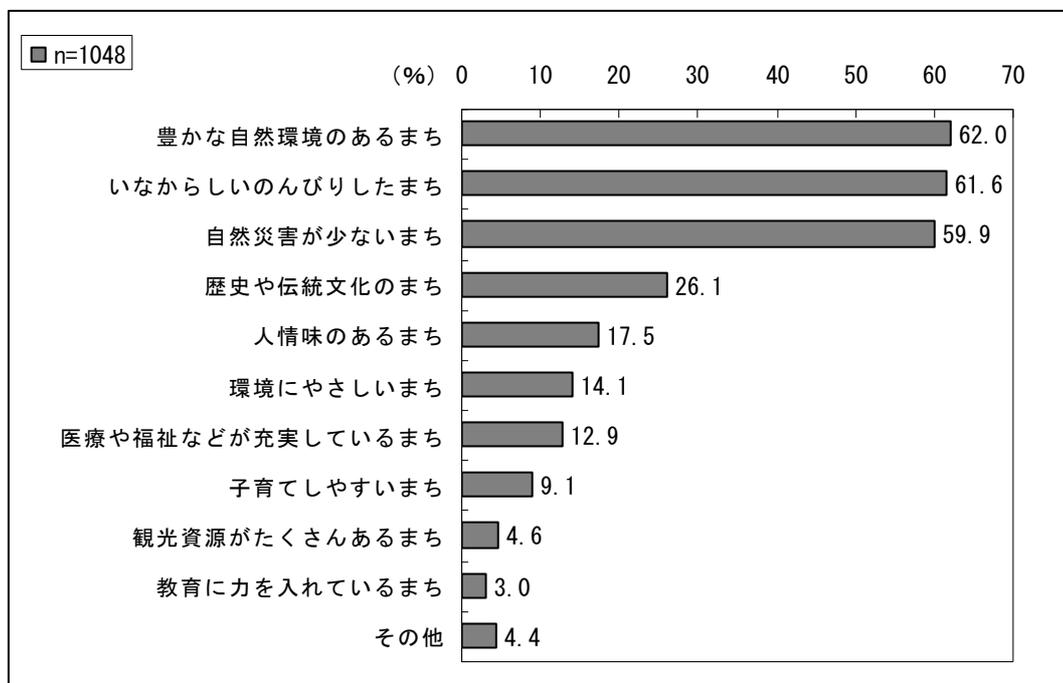
問4 あなたが考えるさぬき市の現在のまちのイメージについて教えてください。
【複数回答】

- “自然”、“いなか”、“災害が少ない”が3大イメージ。

さぬき市の現在のまちのイメージについては、「豊かな自然環境のあるまち」(62.0%)、「いなからしいのんびりしたまち」(61.6%)、「自然災害が少ないまち」(59.9%)が僅差で上位3位を占めており、これらがまちの3大イメージとなっています。次いで、「歴史や伝統文化のまち」(26.1%)、「人情味のあるまち」(17.5%)、「環境にやさしいまち」(14.1%)、「医療や福祉などが充実しているまち」(12.9%)、「子育てしやすいまち」(9.1%)、「観光資源がたくさんあるまち」(4.6%)、「教育に力を入れているまち」(3.0%)の順となっています。[図表3参照]

これを居住地区でも、全体の3大イメージについては、すべての居住地区で上位3位に入っており、共通認識となっていることがうかがえます。[図表4参照]

図表3 さぬき市の現在のまちのイメージについて（全体／複数回答）



図表4 さぬき市の現在のまちのイメージについて
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		豊かな自然環境のあるまち 62.0	いなからしいのんびりしたまち 61.6	自然災害が少ないまち 59.9
居住地区	津田地区	豊かな自然環境のあるまち 71.9	自然災害が少ないまち 65.4	いなからしいのんびりしたまち 59.5
	大川地区	いなからしいのんびりしたまち 70.0	豊かな自然環境のあるまち 69.2	自然災害が少ないまち 46.9
	志度地区	豊かな自然環境のあるまち 59.6	自然災害が少ないまち 58.6	いなからしいのんびりしたまち 57.5
	寒川地区	いなからしいのんびりしたまち 68.3	豊かな自然環境のあるまち 65.8	自然災害が少ないまち 64.2
	長尾地区	自然災害が少ないまち 65.4	いなからしいのんびりしたまち 62.9	豊かな自然環境のあるまち 55.4

(4) さぬき市の将来のまちのイメージについて

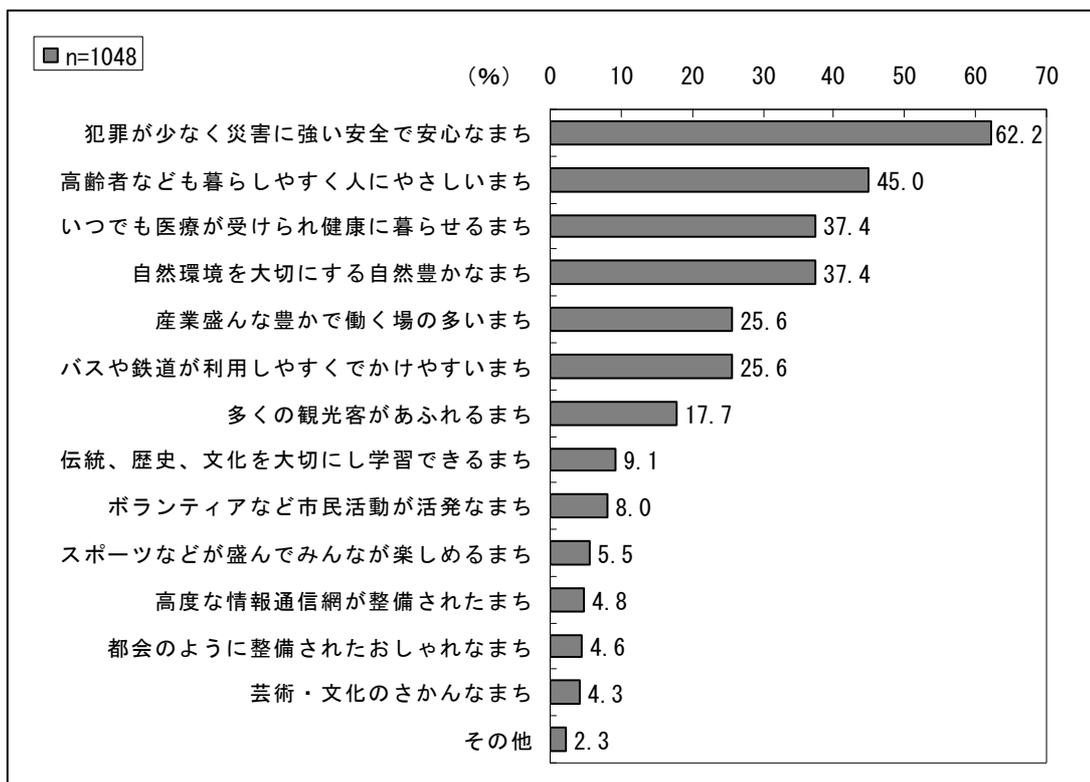
問5 あなたが考えるさぬき市の将来のまちのイメージについて教えてください。
【複数回答】

- 「犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち」が他を大きく引き離して第1位。

さぬき市の将来のまちのイメージについては、「犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち」(62.2%)が他を大きく引き離して第1位となっています。次いで、「高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち」(45.0%)、「いつでも医療が受けられ健康に暮らせるまち」(37.4%)、「自然環境を大切にする自然豊かなまち」(37.4%)、「産業盛んな豊かで働く場の多いまち」(25.6%)、「バスや鉄道が利用しやすくでかけやすいまち」(25.6%)、「多くの観光客があふれるまち」(17.7%)、「伝統、歴史、文化を大切に学習できるまち」(9.1%)、「ボランティアなど市民活動が活発なまち」(8.0%)、「スポーツなどが盛んでみんなが楽しめるまち」(5.5%)、「高度な情報通信網が整備されたまち」(4.8%)、「都会のように整備されたおしゃれなまち」(4.6%)、「芸術・文化のさかんなまち」(4.3%)の順となっています。[図表5参照]

これを居住地区でもみても、全体で第1位の「犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち」が他をすべての地区で第1位となっています。[図表6参照]

図表5 さぬき市の将来のまちのイメージについて（全体／複数回答）



図表6 さぬき市の将来のまちのイメージについて
 (全体・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち 62.2	高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち 45.0	いつでも医療が受けられ健康に暮らせるまち/自然環境を大切にする自然豊かなまち 37.4
居住地区	津田地区	犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち 65.4	高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち 48.4	いつでも医療が受けられ健康に暮らせるまち 38.6
	大川地区	犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち 62.3	自然環境を大切にする自然豊かなまち 46.2	高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち 43.8
	志度地区	犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち 63.2	高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち 42.7	いつでも医療が受けられ健康に暮らせるまち 40.9
	寒川地区	犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち 65.0	高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち 52.5	自然環境を大切にする自然豊かなまち 40.0
	長尾地区	犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち 58.3	高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち 45.4	いつでも医療が受けられ健康に暮らせるまち/自然環境を大切にする自然豊かなまち 34.6

2 行財政改革と市民サービスについて

(1) 市民サービスの水準と負担の関係について

問6 あなたは、さぬき市の市民サービスの水準と負担の関係についてどう思いますか。

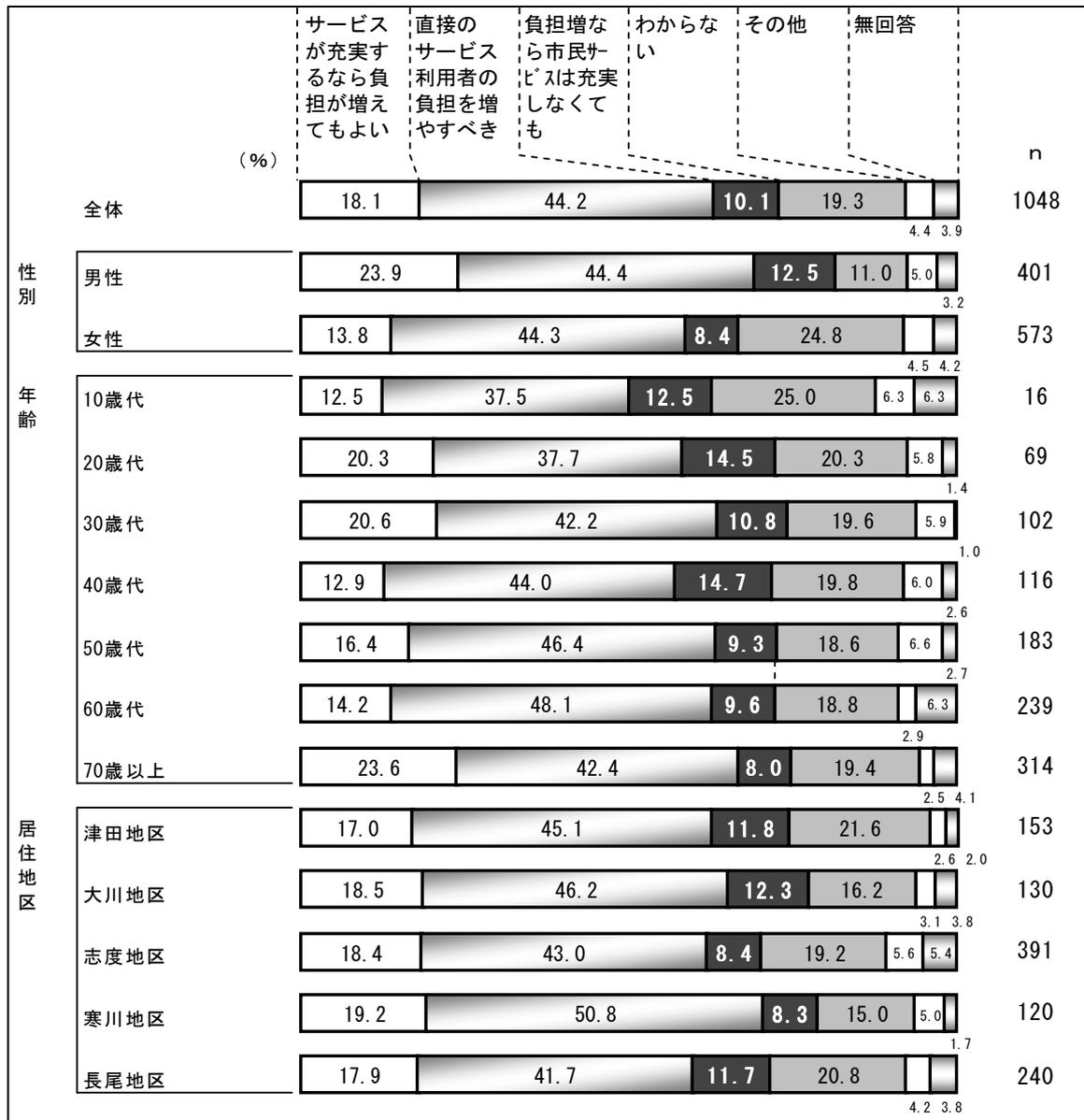


- 「直接のサービス利用者の負担を増やすべき」が第1位。

市民サービスの水準と負担の関係については、「直接のサービス利用者の負担を増やすべき」(44.2%)が第1位となっており、利用者負担割合を増やすことを望む人が多くなっています。次いで「サービスが充実するなら負担が増えてもよい」(18.1%)、「負担増なら市民サービスは充実しなくてもよい」(10.1%)の順となっています。

属性別にみてもすべての層で「直接のサービス利用者の負担を増やすべき」が第1位となっています。[図表7参照]

図表7 市民サービスの水準と負担の関係について（全体・性別・年齢・居住地区）



(2) 今後の行財政改革で重点を置くべき項目について

問7 あなたは、さぬき市の今後の行財政改革で重点を置くべき項目は何だと思いますか。
【複数回答】

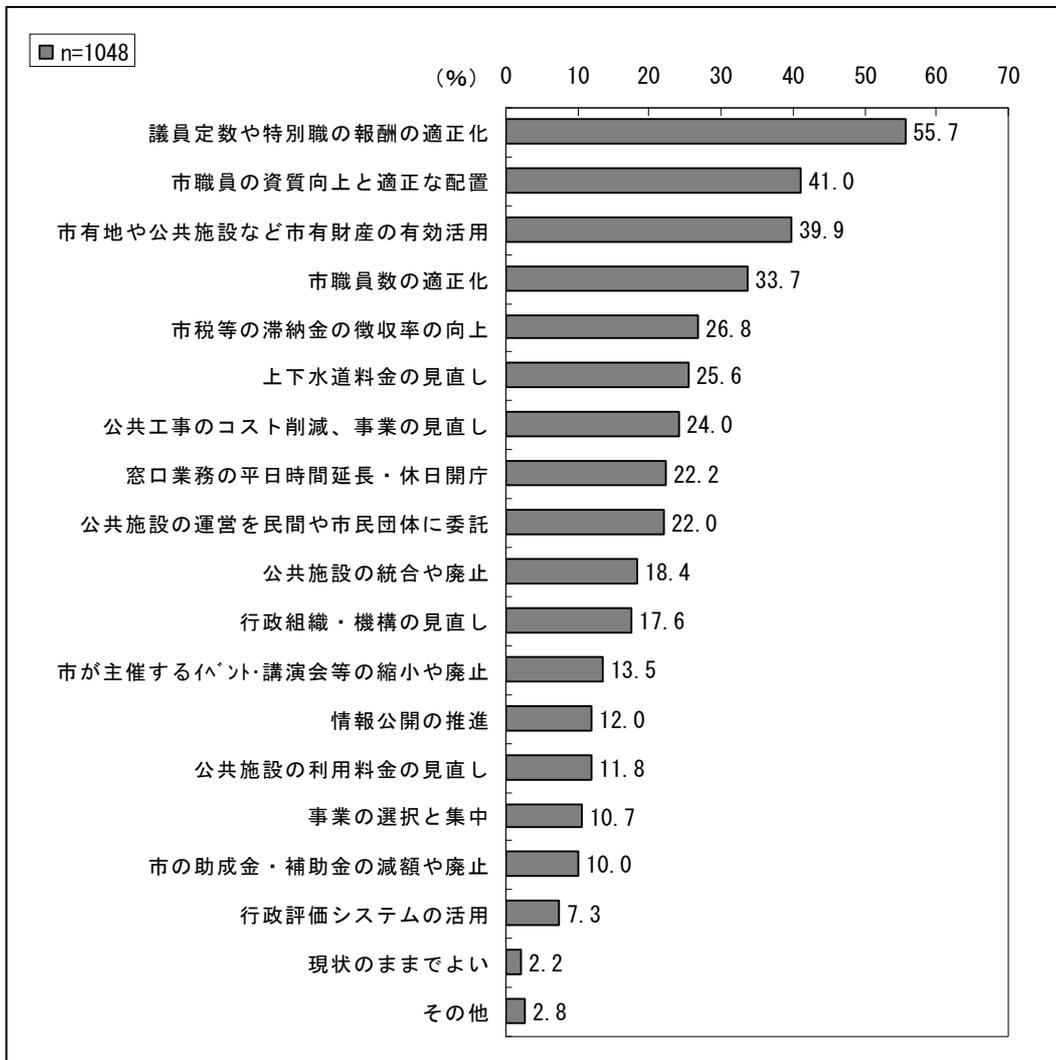


- 「議員定数や特別職の報酬の適正化」が他を引き離して第1位。

今後の行財政改革で重点を置くべき項目については、「議員定数や特別職の報酬の適正化」(55.7%)が2位に10ポイント以上の差をつけて第1位となっています。第2位は「市職員の資質向上と適正な配置」(41.0%)、僅差で「市有地や公共施設など市有財産の有効活用」(39.9%)と続きます。次いで、「市職員数の適正化」(33.7%)、「市税等の滞納金の徴収率の向上」(26.8%)、「上下水道料金の見直し」(25.6%)、「公共工事のコスト削減、事業の見直し」(24.0%)、「窓口業務の平日時間延長・休日開庁」(22.2%)、「公共施設の運営を民間や市民団体に委託」(22.0%)、「公共施設の統合や廃止」(18.4%)、「行政組織・機構の見直し」(17.6%)、「市が主催するイベント・講演会等の縮小や廃止」(13.5%)、「情報公開の推進」(12.0%)、「公共施設の利用料金の見直し」(11.8%)、「事業の選択と集中」(10.7%)、「市の助成金・補助金の減額や廃止」(10.0%)、「行政評価システムの活用」(7.3%)の順となっています。[図表8参照]

居住地区でも、すべての層で「議員定数や特別職の報酬の適正化」が第1位となっています。[図表9参照]

図表8 今後の行財政改革で重点を置くべき項目について（全体／複数回答）



図表9 今後の行財政改革で重点を置くべき項目について
(全体・居住地区－上位第5位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		議員定数や特別職の報酬の適正化 55.7	市職員の資質向上と適正な配置 41.0	市有地や公共施設など市有財産の有効活用 39.9	市職員数の適正化 33.7	市税等の滞納金の徴収率の向上 26.8
居住地区	津田地区	議員定数や特別職の報酬の適正化 56.9	市有地や公共施設など市有財産の有効活用 39.2	市職員の資質向上と適正な配置 38.6	上下水道料金の見直し 35.9	市職員数の適正化 33.3
	大川地区	議員定数や特別職の報酬の適正化 62.3	市有地や公共施設など市有財産の有効活用 41.5	市職員の資質向上と適正な配置/市職員数の適正化 36.9	市税等の滞納金の徴収率の向上 31.5	
	志度地区	議員定数や特別職の報酬の適正化 55.8	市職員の資質向上と適正な配置 39.9	市有地や公共施設など市有財産の有効活用 38.1	市職員数の適正化 34.0	市税等の滞納金の徴収率の向上 25.8
	寒川地区	議員定数や特別職の報酬の適正化 58.3	市職員の資質向上と適正な配置 50.8	市有地や公共施設など市有財産の有効活用 45.8	市職員数の適正化/市税等の滞納金の徴収率の向上 32.5	
	長尾地区	議員定数や特別職の報酬の適正化 51.3	市職員の資質向上と適正な配置 42.5	市有地や公共施設など市有財産の有効活用 39.6	市職員数の適正化 32.5	上下水道料金の見直し 27.1

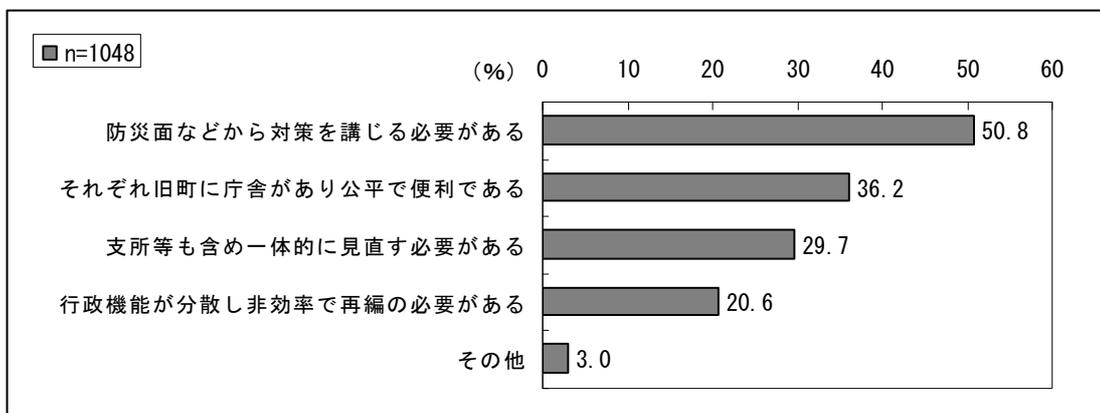
(3) 現在の市役所の庁舎について

問8 あなたは、現在の市役所の庁舎についてどう思いますか。【複数回答】

- 「防災面などから対策を講じる必要がある」が第1位。

現在の市役所の庁舎については、「防災面などから対策を講じる必要がある」(50.8%)が第1位となっており、次いで「それぞれ旧町に庁舎があり公平で便利である」(36.2%)、「支所等も含め一体的に見直す必要がある」(29.7%)、「行政機能が分散し非効率で再編の必要がある」(20.6%)となっています。[図表10、11参照]

図表10 現在の市役所の庁舎について（全体／複数回答）



図表11 現在の市役所の庁舎について（全体・居住地区－上位第3位／複数回答）

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		防災面などから対策を講じる必要がある 50.8	それぞれ旧町に庁舎があり公平で便利である 36.2	支所等も含め一体的に見直す必要がある 29.7
居住地区	津田地区	防災面などから対策を講じる必要がある 53.6	それぞれ旧町に庁舎があり公平で便利である 50.3	支所等も含め一体的に見直す必要がある 24.2
	大川地区	それぞれ旧町に庁舎があり公平で便利である 44.6	防災面などから対策を講じる必要がある 43.8	支所等も含め一体的に見直す必要がある 31.5
	志度地区	防災面などから対策を講じる必要がある 58.6	支所等も含め一体的に見直す必要がある 29.7	行政機能が分散し非効率で再編の必要がある 23.8
	寒川地区	それぞれ旧町に庁舎があり公平で便利である 44.2	防災面などから対策を講じる必要がある 40.8	支所等も含め一体的に見直す必要がある 35.0
	長尾地区	防災面などから対策を講じる必要がある 46.3	それぞれ旧町に庁舎があり公平で便利である 40.8	支所等も含め一体的に見直す必要がある 30.8

3 取組の優先度などについて

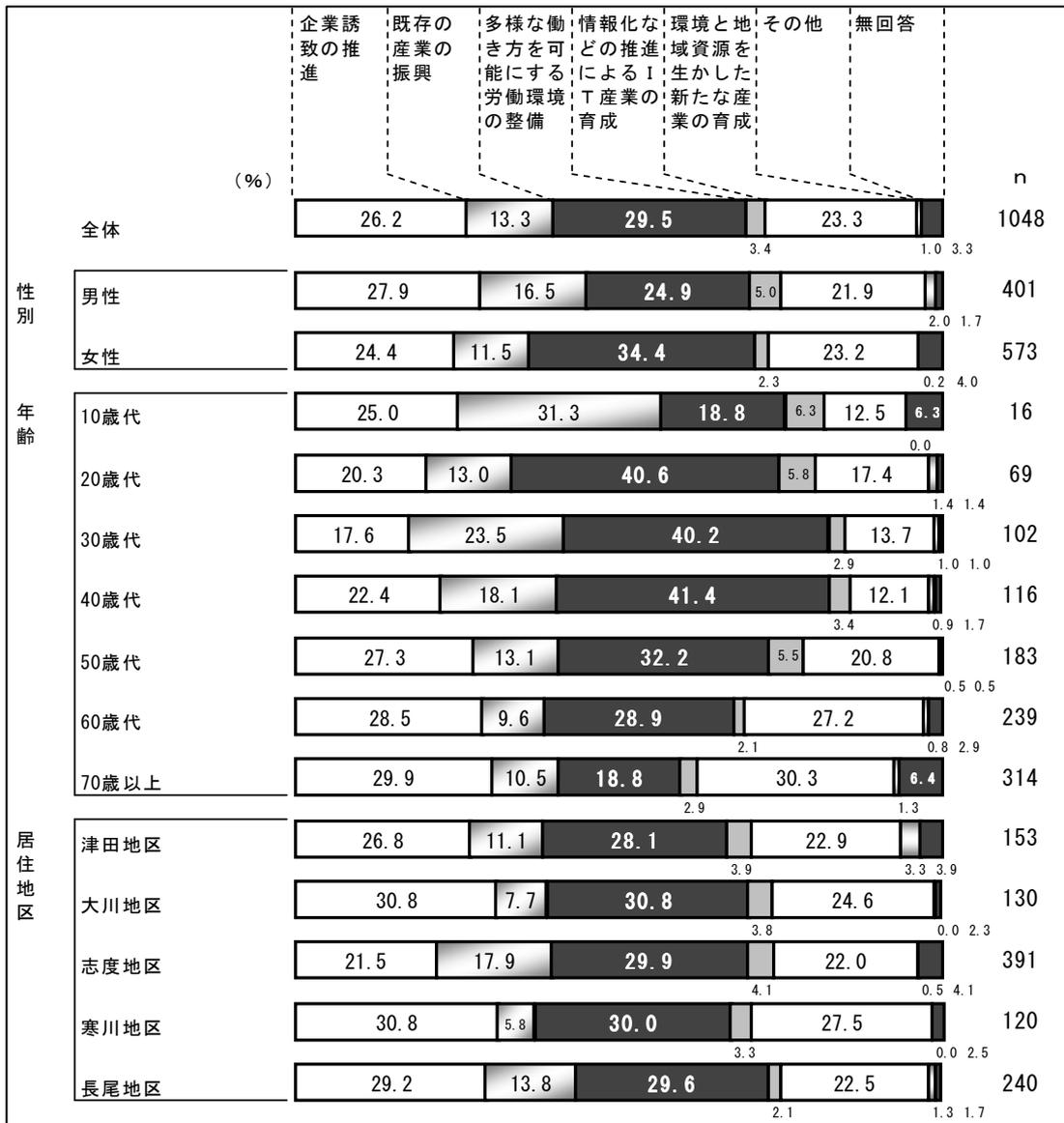
(1) 産業振興と雇用の場の確保のため優先すべき取組

問9 あなたは、市内の産業を振興し、雇用の場を確保していくために優先すべき取組は何だと思いますか。

- 「多様な働き方を可能にする労働環境の整備」、「企業誘致の推進」、「環境と地域資源を生かした新たな産業の育成」が上位3位を占める。

産業振興と雇用の場の確保のため優先すべき取組については、「多様な働き方を可能にする労働環境の整備」(29.5%)が第1位、第2位は「企業誘致の推進」(26.2%)、第3位は「環境と地域資源を生かした新たな産業の育成」(23.3%)が挙げられ、上位3位で79.0%を占めています。以下、「既存の産業の振興」(13.3%)、「情報化などの推進によるIT産業の育成」(3.4%)となっています。[図表12参照]

図表12 産業振興と雇用の場の確保のため優先すべき取組
(全体・性別・年齢・居住地区)



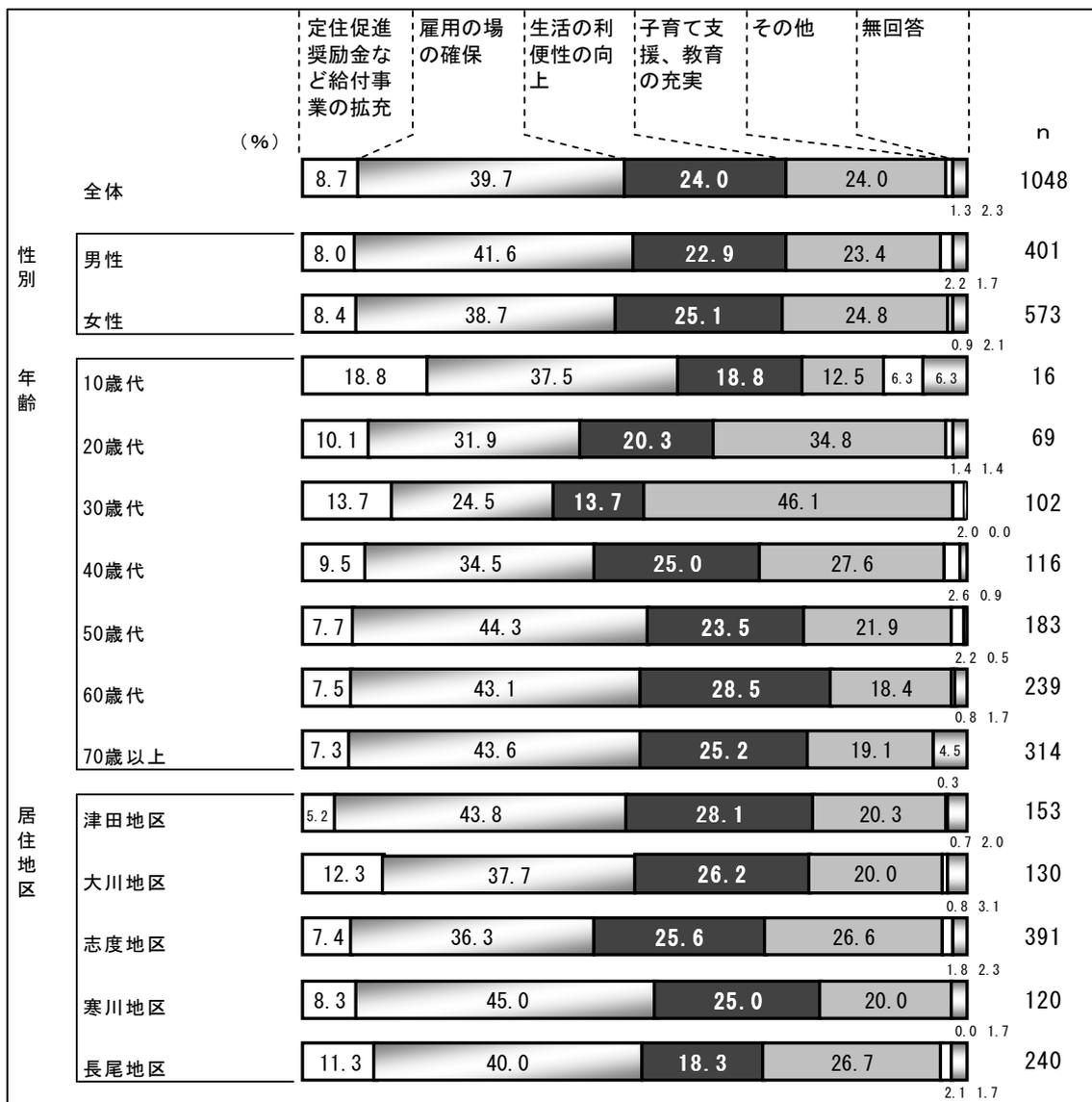
(2) 優先すべき人口減少対策・定住促進対策

問 10 市の人口が著しく減少している状況の中、あなたは、市が行う人口減少対策・定住促進対策に関して優先すべき取組は何だと思えますか。

- 「雇用の場の確保」が約4割を占めて第1位。

優先すべき人口減少対策・定住促進対策については、「雇用の場の確保」(39.7%)が約4割を占めて第1位となっています。次いで、「生活の利便性の向上」・「子育て支援、教育の充実」(同率 24.0%)、「定住促進奨励金など給付事業の拡充」(8.7%)となっています。[図表 13 参照]

図表 13 優先すべき人口減少対策・定住促進対策
(全体・性別・年齢・居住地区)



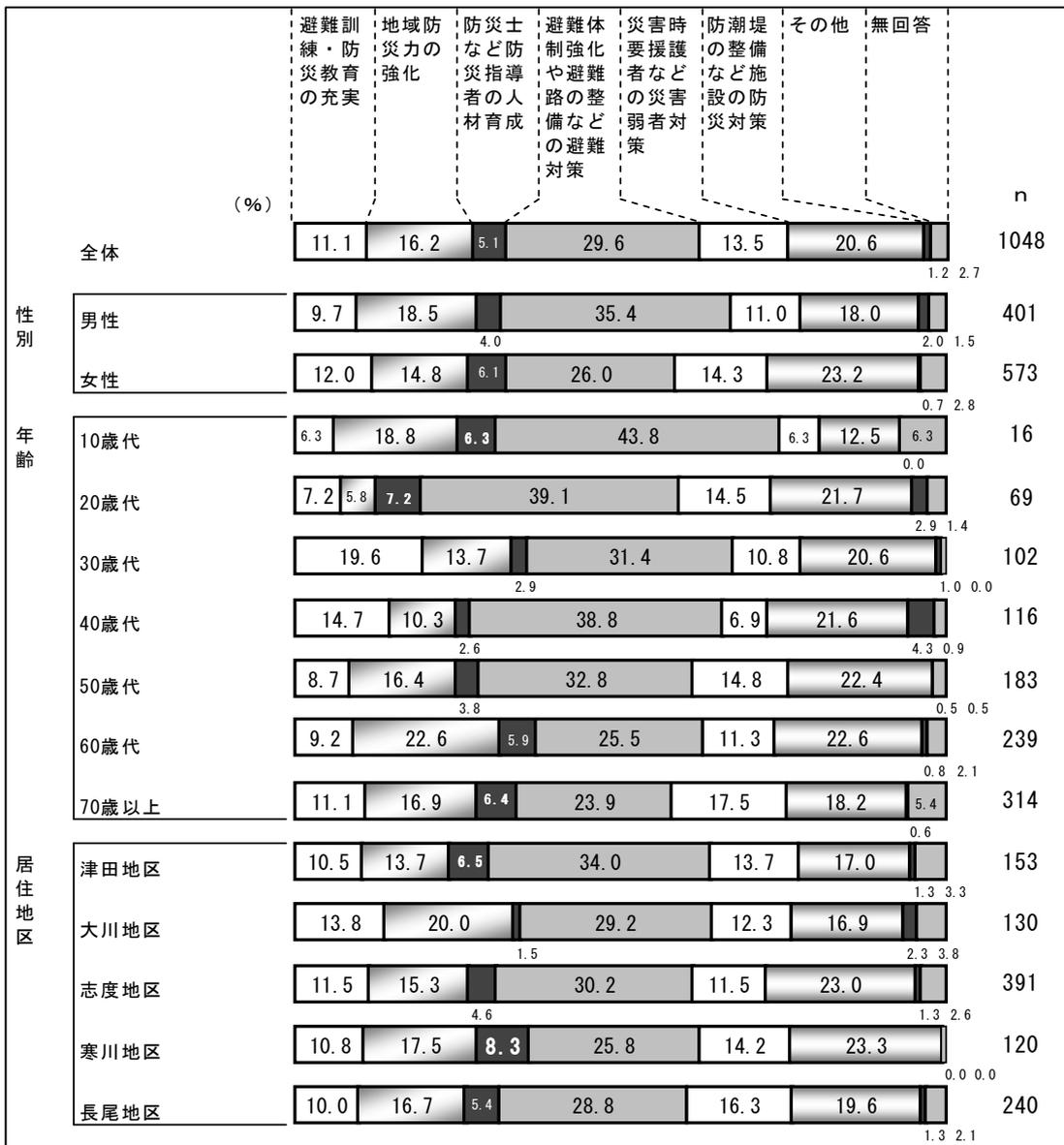
(3) 災害への備えとして優先すべき取組

問 11 あなたは、災害への備えとして優先すべき取組は何だと思いますか。

- 「避難体制強化や避難路の整備などの避難対策」が約 30%を占めて第 1 位。

災害への備えとして優先すべき取組については、「避難体制強化や避難路の整備などの避難対策」(29.6%)が3割近くを占めて第1位。次いで、「防潮堤の整備など施設の防災対策」(20.6%)、「地域防災力の強化」(16.2%)、「災害時要援護者などの災害弱者対策」(13.5%)、「避難訓練・防災教育の充実」(11.1%)、「防災士など防災指導者の人材育成」(5.1%)となっています。[図表 14 参照]

図表 14 災害への備えとして優先すべき取組（全体・性別・年齢・居住地区）



(4) 道路整備において優先すべき取組

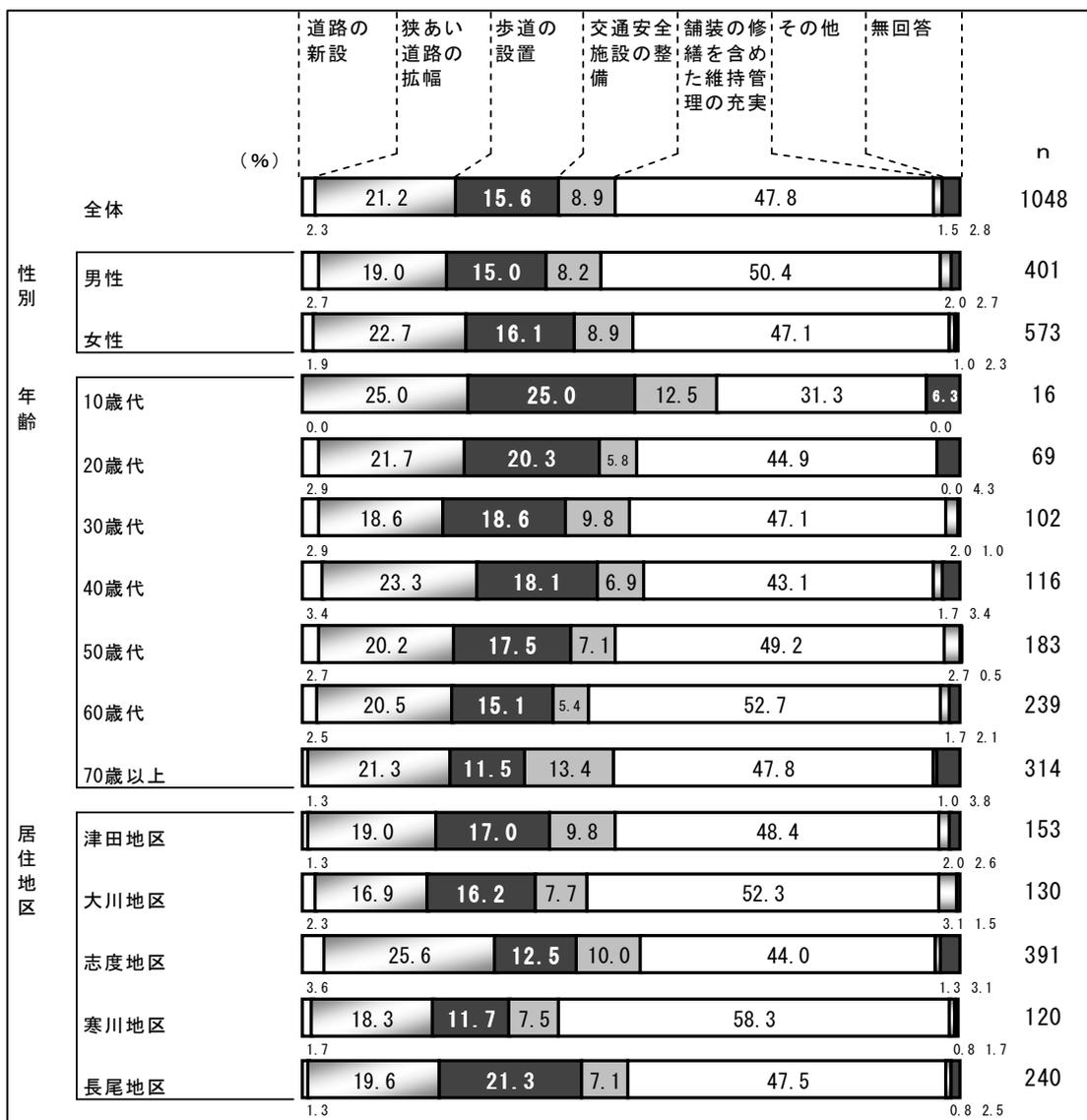
問 12 あなたは、市が行う道路整備において優先すべき取組は何だと思いますか。

- 「舗装の修繕を含めた維持管理の充実」が約半数を占めて第1位。

道路整備において優先すべき取組については、「舗装の修繕を含めた維持管理の充実」(47.8%)が約半数を占めて第1位となっています。次いで、「狭あい道路の拡幅」(21.2%)、「歩道の設置」(15.6%)、「交通安全施設の整備」(8.9%)、「道路の新設」(2.3%)となっています。

居住地区でみると、寒川地区では「舗装の修繕を含めた維持管理の充実」が全体より10%以上高くなっているなどの特徴がみられます。[図表 15 参照]

図表 15 道路整備において優先すべき取組（全体・性別・年齢・居住地区）



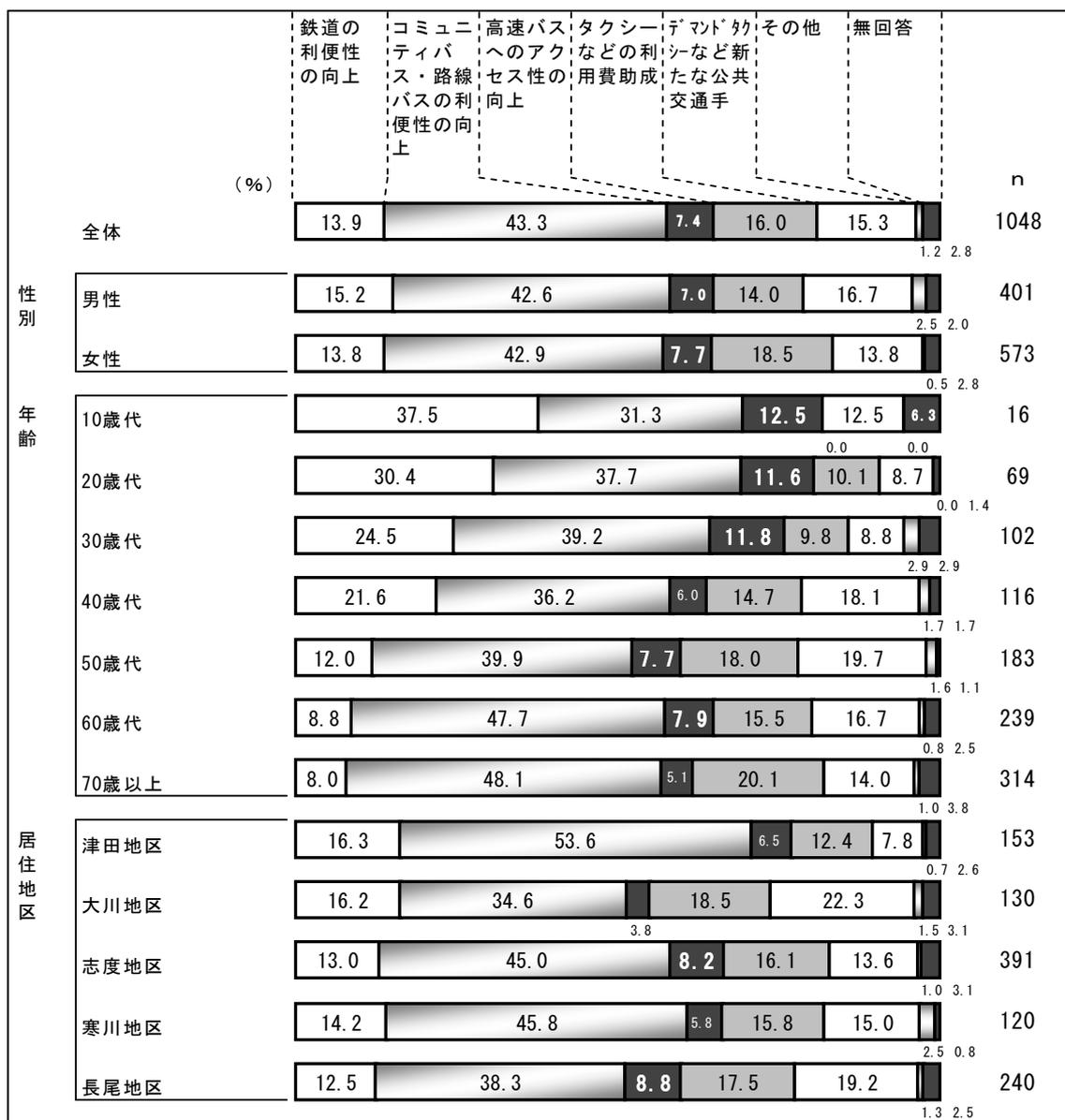
(5) 交通手段を確保するために優先するべき取組

問 13 あなたは、交通手段を確保するために優先するべき取組は何だと思いますか。

● 「コミュニティバス・路線バスの利便性の向上」が4割強を占めて第1位。

交通手段を確保するために優先するべき取組については、「コミュニティバス・路線バスの利便性の向上」(43.3%)、「タクシーなどの利用費助成」(16.0%)、「デマンドタクシーなど新たな公共交通手段の検討」(15.3%)、「鉄道の利便性の向上」(13.9%)、「高速バスへのアクセス性の向上」(7.4%)となっています。[図表 16 参照]

図表 16 交通手段を確保するために優先するべき取組 (全体・性別・年齢・居住地区)



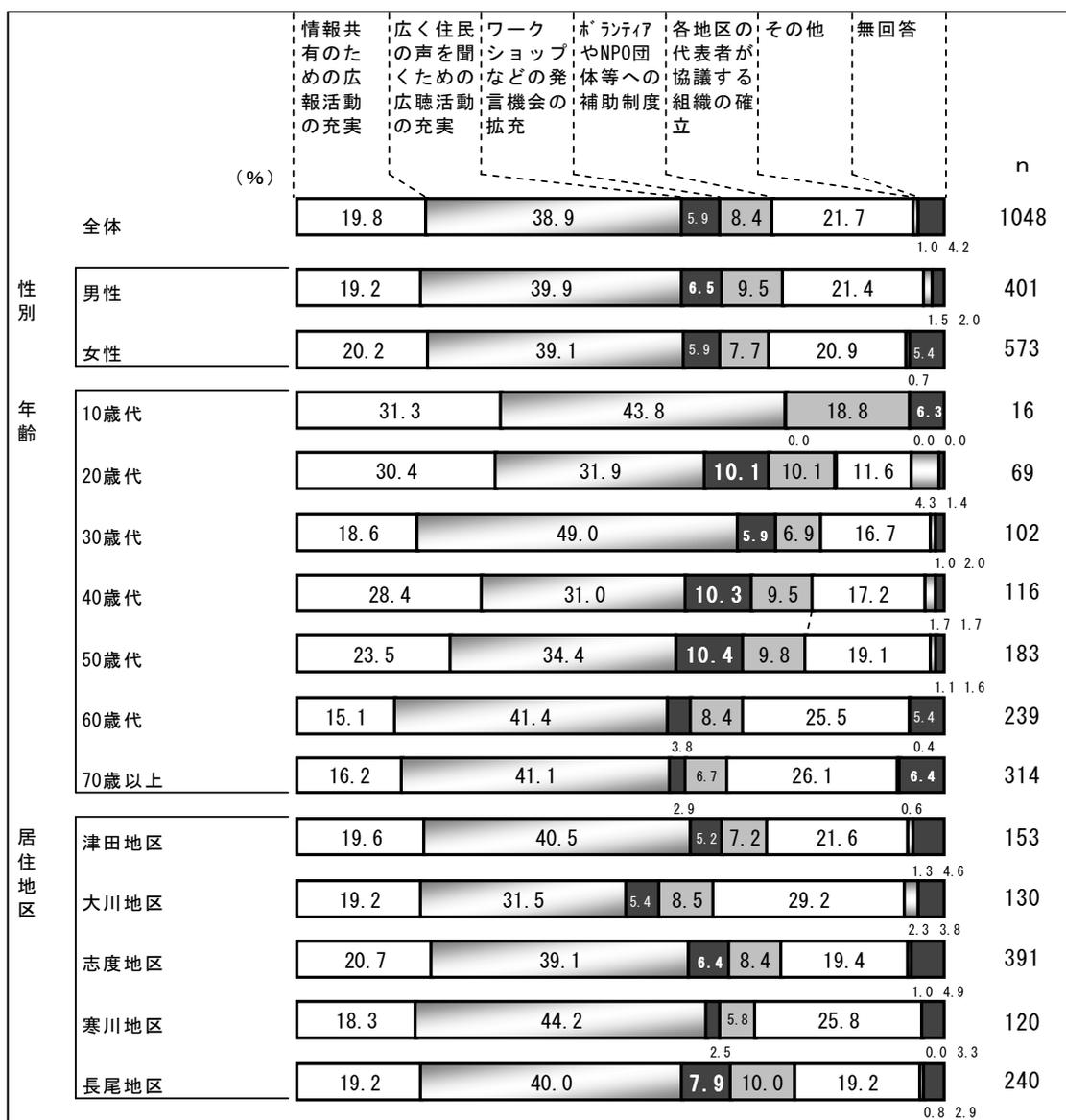
(6) 市民等と行政の協働を進めるため優先すべき取組

問 14 あなたは、市民参画を促進し、市民等と行政の協働を進めるために優先すべき取組は何だと思いますか。

● 「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」が約4割を占めて第1位。

市民等と行政の協働を進めるため優先すべき取組については、「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」(38.9%)が約4割を占めて第1位となっています。以下、「各地区の代表者が協議する組織の確立」(21.7%)、「情報共有のための広報活動の充実」(19.8%)、「ボランティアやNPO団体等への補助制度の充実」(8.4%)、「ワークショップなどの発言機会の拡充」(5.9%)となっています。[図表 17 参照]

図表 17 市民等と行政の協働を進めるため優先すべき取組
(全体・性別・年齢・居住地区)



(7) 優先すべき観光資源のPRと交流を盛んにする取組

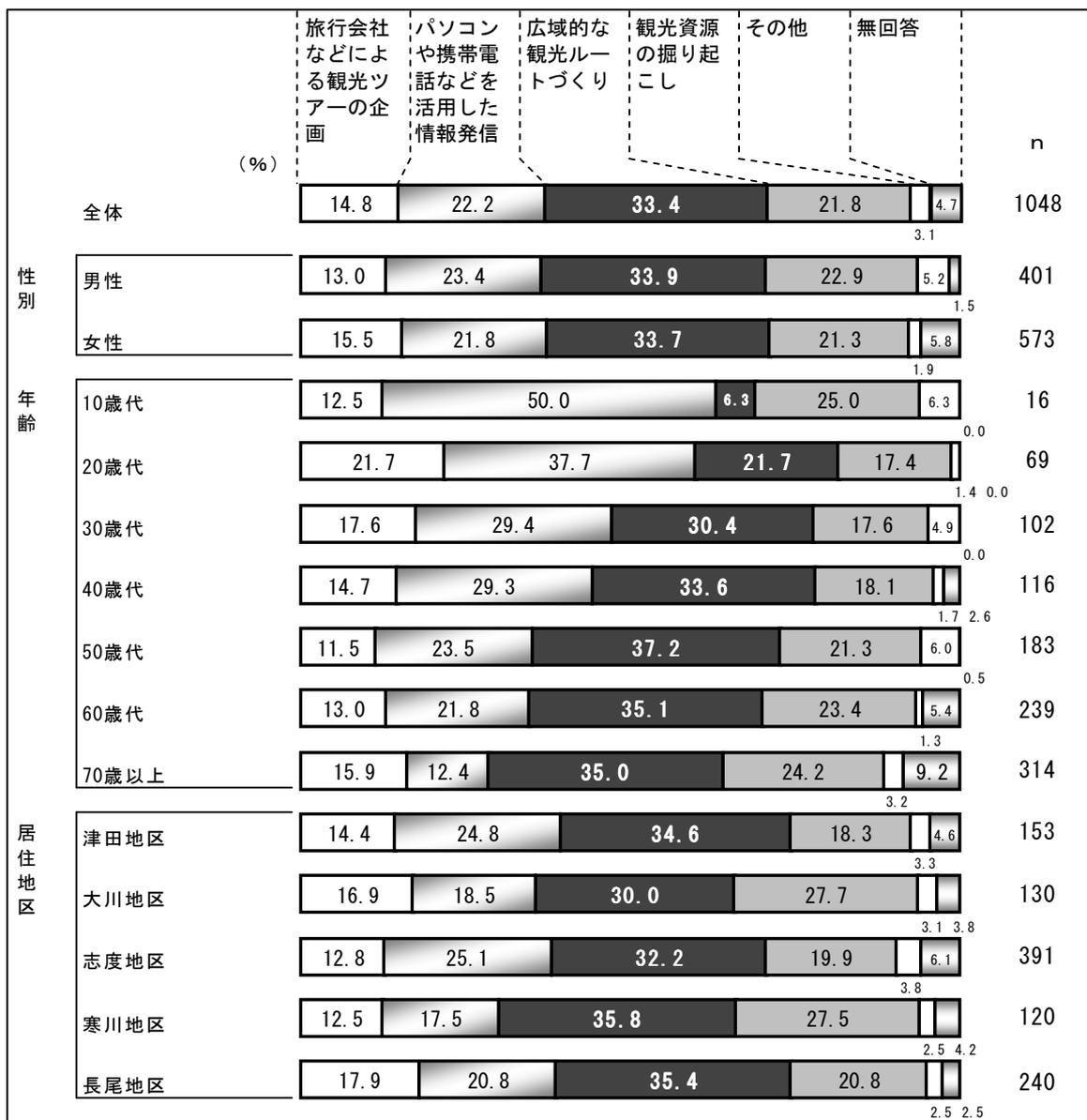
問 15 あなたは、市の豊富な観光資源をPRし、交流を盛んにするために優先すべき取組は何だと思いますか。

● 「広域的な観光ルートづくり」が第1位。

優先すべき観光資源のPRと交流を盛んにする取組については、「広域的な観光ルートづくり」(33.4%)、「パソコンや携帯電話などを活用した情報発信」(22.2%)、「観光資源の掘り起こし」(21.8%)、「旅行会社などによる観光ツアーの企画」(14.8%)となっています。

年齢では、比較的若年層が「パソコンや携帯電話などを活用した情報発信」への意向が強くなって [図表 18 参照]

図表 18 優先すべき観光資源のPRと交流を盛んにする取組
(全体・性別・年齢・居住地区)



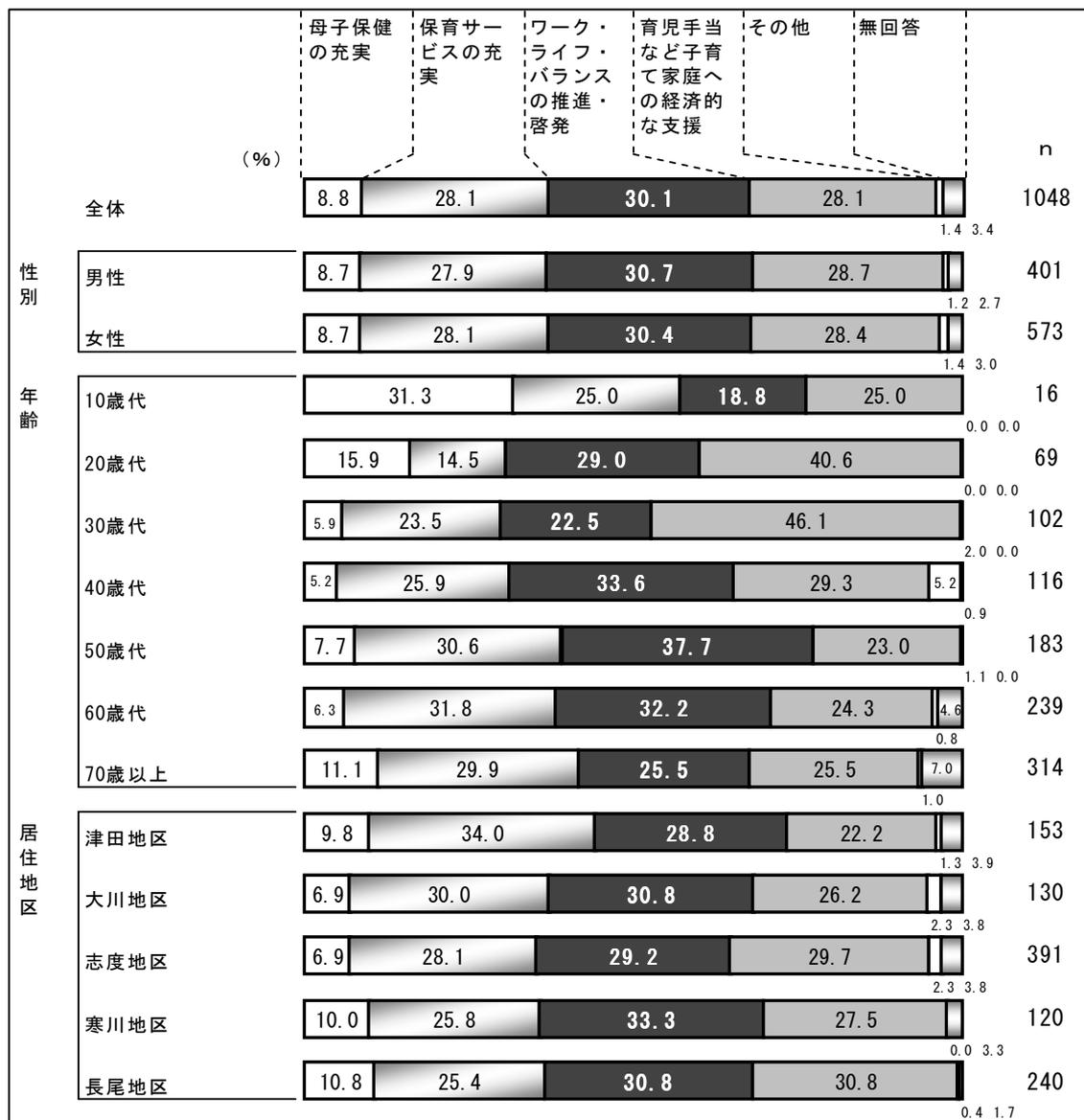
(8) 優先すべき子どもを産み育てるための支援

問 16 あなたは、子どもを産み、育てるための支援として優先すべき取組は何だと思いますか。

- 「ワーク・ライフ・バランスの推進・啓発」が僅差で第1位。

優先すべき子どもを産み育てるための支援については、「ワーク・ライフ・バランスの推進・啓発」(30.1%)が僅差で第1位となっており、次いで「保育サービスの充実」(28.1%)、「育児手当など子育て家庭への経済的な支援」(28.1%)、「母子保健の充実」(8.8%)となっています。[図表 19 参照]

図表 19 優先すべき子どもを産み育てるための支援
(全体・性別・年齢・居住地区)



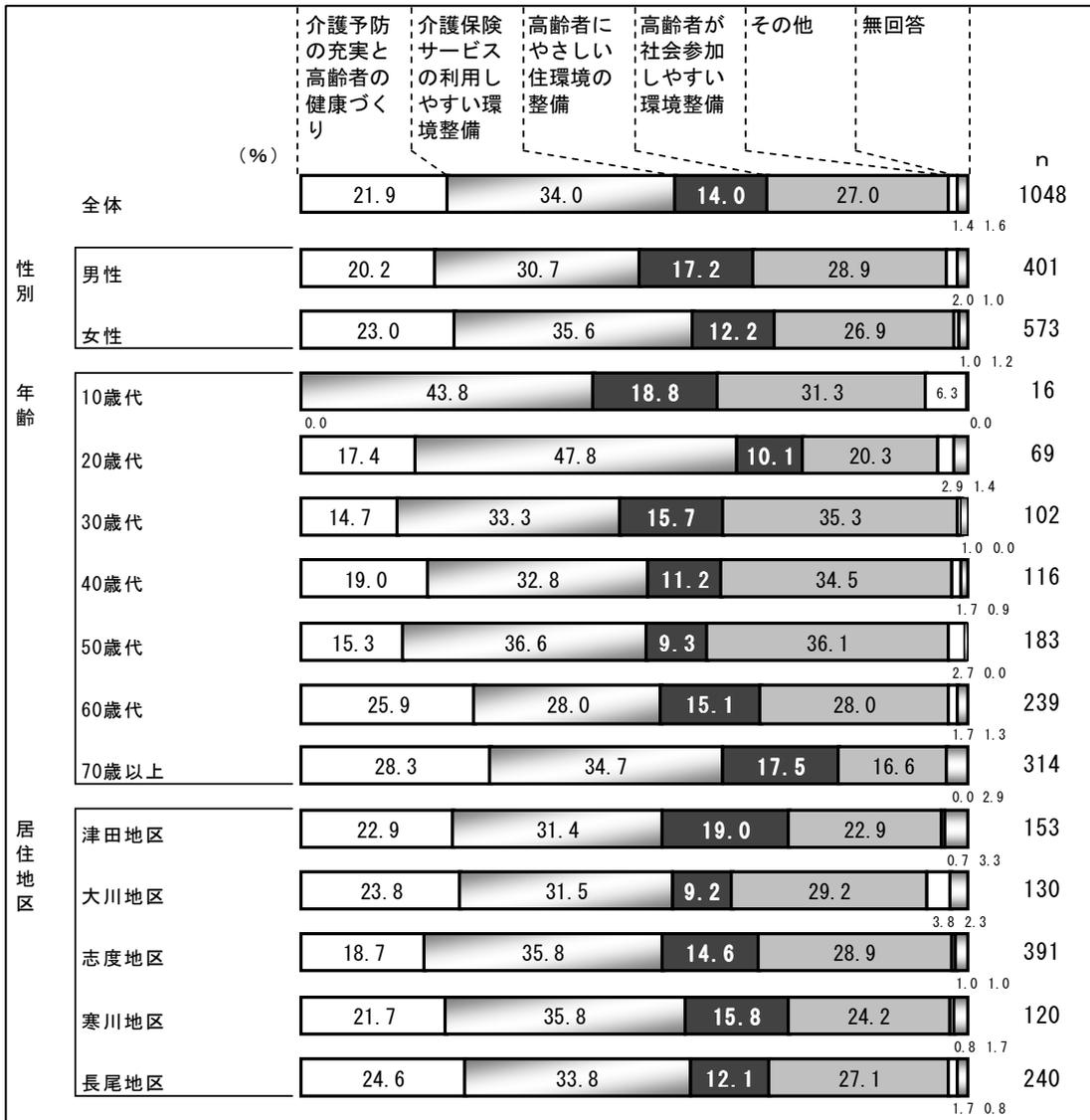
(9) 高齢化社会への対応として優先すべき取組

問 17 あなたは、高齢化社会への対応として優先すべき取組は何だと思いますか。

- 「介護保険サービスの利用しやすい環境整備」が第1位。

高齢化社会への対応として優先すべき取組については、「介護保険サービスの利用しやすい環境整備」(34.0%)が第1位となっており、以下、「高齢者が社会参加しやすい環境整備」(27.0%)、「介護予防の充実と高齢者の健康づくり」(21.9%)、「高齢者にやさしい住環境の整備」(14.0%)となっています。[図表 20 参照]

図表 20 高齢化社会への対応として優先すべき取組
(全体・性別・年齢・居住地区)



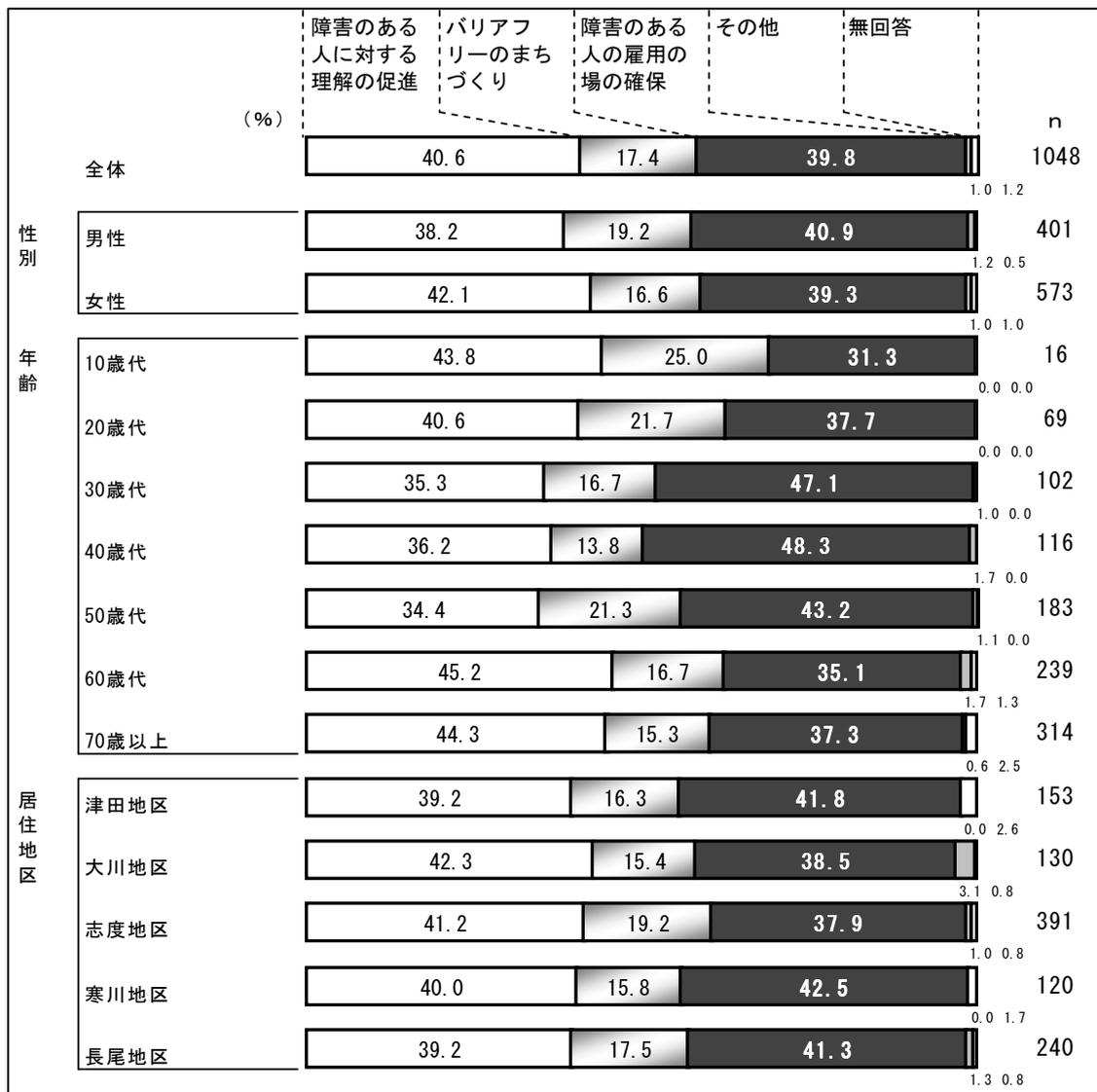
(10) 障害のある人のために優先すべき取組

問 18 あなたは、障害のある人が地域社会の中で自立し、暮らしやすい社会としていくために優先すべき取組は何だと思えますか。

● 「障害のある人に対する理解の促進」が約4割を占めて第1位。僅差で「障害のある人の雇用の場の確保」が第2位。

障害のある人のために優先すべき取組については、「障害のある人に対する理解の促進」(40.6%)が第1位、僅差で「障害のある人の雇用の場の確保」(39.8%)が第2位となっています。その他、「バリアフリーのまちづくり」(17.4%)となっています。[図表 21 参照]

図表 21 障害のある人のために優先すべき取組（全体・性別・年齢・居住地区）



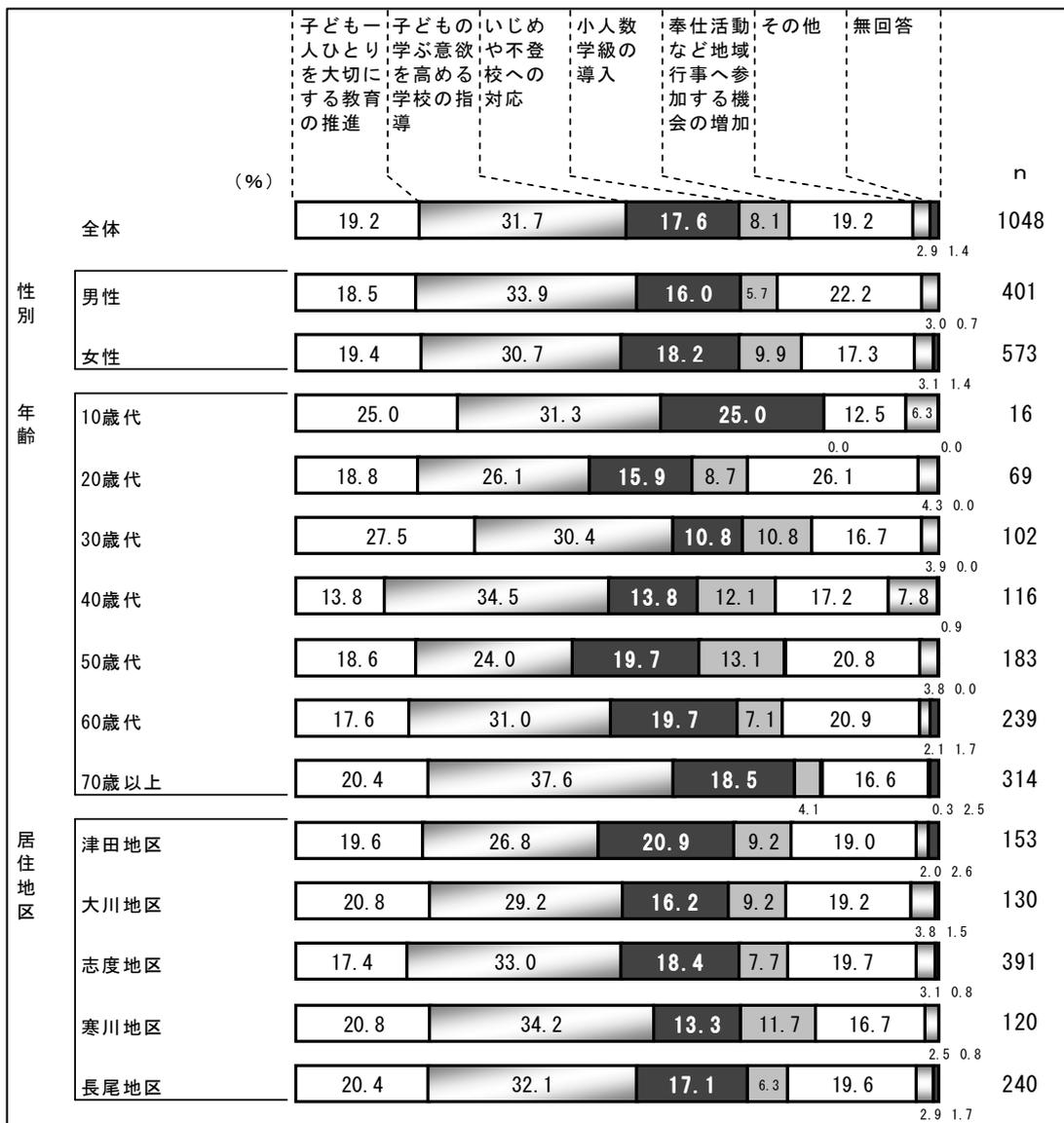
(11) 子どもの教育の充実のために優先すべき取組

問 19 あなたは、子どもたちの教育を充実するために優先すべき取組は何だと思いますか。

- 「子どもの学ぶ意欲を高める学校の指導」が第1位。

子どもの教育の充実のために優先すべき取組については、「子どもの学ぶ意欲を高める学校の指導」(31.7%)が第1位となっています。以下、「子ども一人ひとりを大切にする教育の推進」(19.2%)、「奉仕活動など地域行事へ参加する機会の増加」(19.2%)、「いじめや不登校への対応」(17.6%)、「小人数学級の導入」(8.1%)となっています。[図表 22 参照]

図表 22 子どもの教育の充実のために優先すべき取組
(全体・性別・年齢・居住地区)



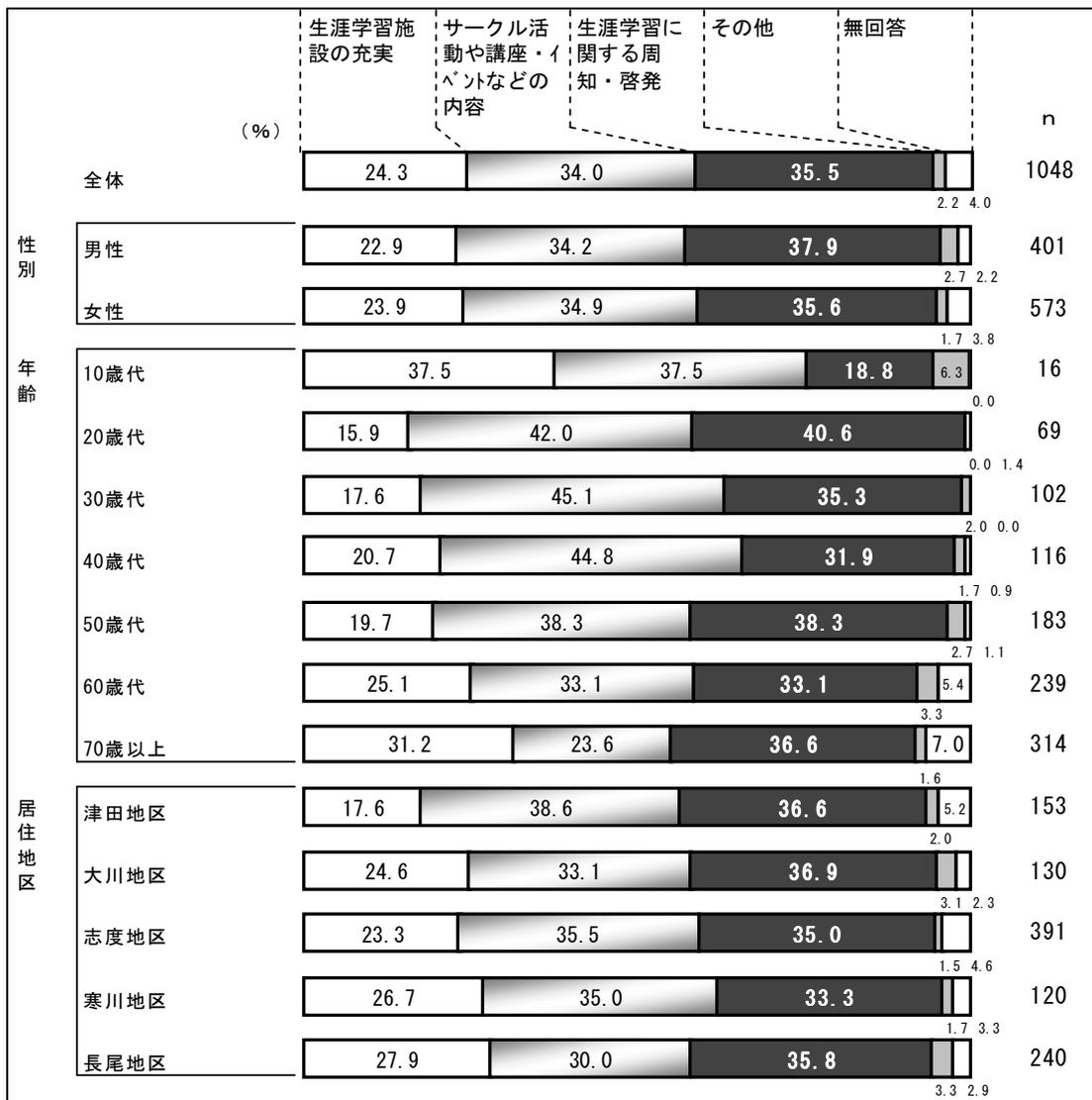
(12) 生涯学習を支援していくために優先すべき取組

問 20 あなたは、生涯学習を支援していくために優先すべき取組は何だと思えますか。

- 「生涯学習に関する周知・啓発」が第1位。僅差で「サークル活動や講座・イベントなどの内容充実」が第2位。

生涯学習を支援していくために優先すべき取組については、「生涯学習に関する周知・啓発」(35.5%)が第1位となっており、僅差で「サークル活動や講座・イベントなどの内容充実」(34.0%)が続きます。その他、「生涯学習施設の充実」(24.3%)となっています。[図表 23 参照]

図表 23 生涯学習を支援していくために優先すべき取組
(全体・性別・年齢・居住地区)



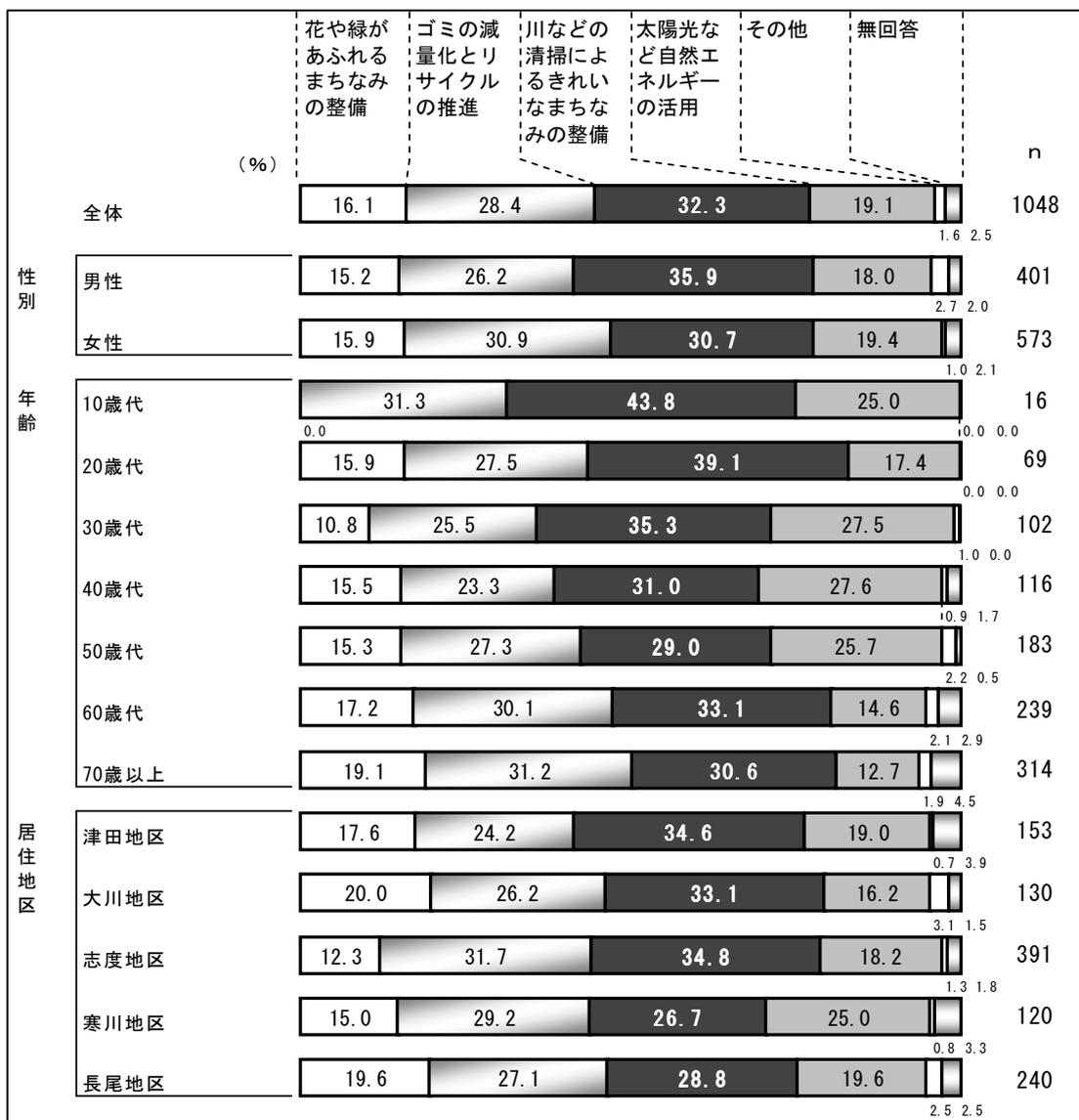
(13) 自然保護と地域環境保全のために優先すべき取組

問 21 あなたは、自然を守り、地域の環境を保全していくために優先すべき取組は何だと思いますか。

- 「川などの清掃によるきれいなまちなみの整備」が第1位。

自然保護と地域環境保全のために優先すべき取組については、「川などの清掃によるきれいなまちなみの整備」(32.3%)が第1位となっています。以下、「ゴミの減量化とリサイクルの推進」(28.4%)、「太陽光など自然エネルギーの活用」(19.1%)、「花や緑があふれるまちなみの整備」(16.1%)となっています。[図表 24 参照]

図表 24 自然保護と地域環境保全のために優先すべき取組
(全体・性別・年齢・居住地区)



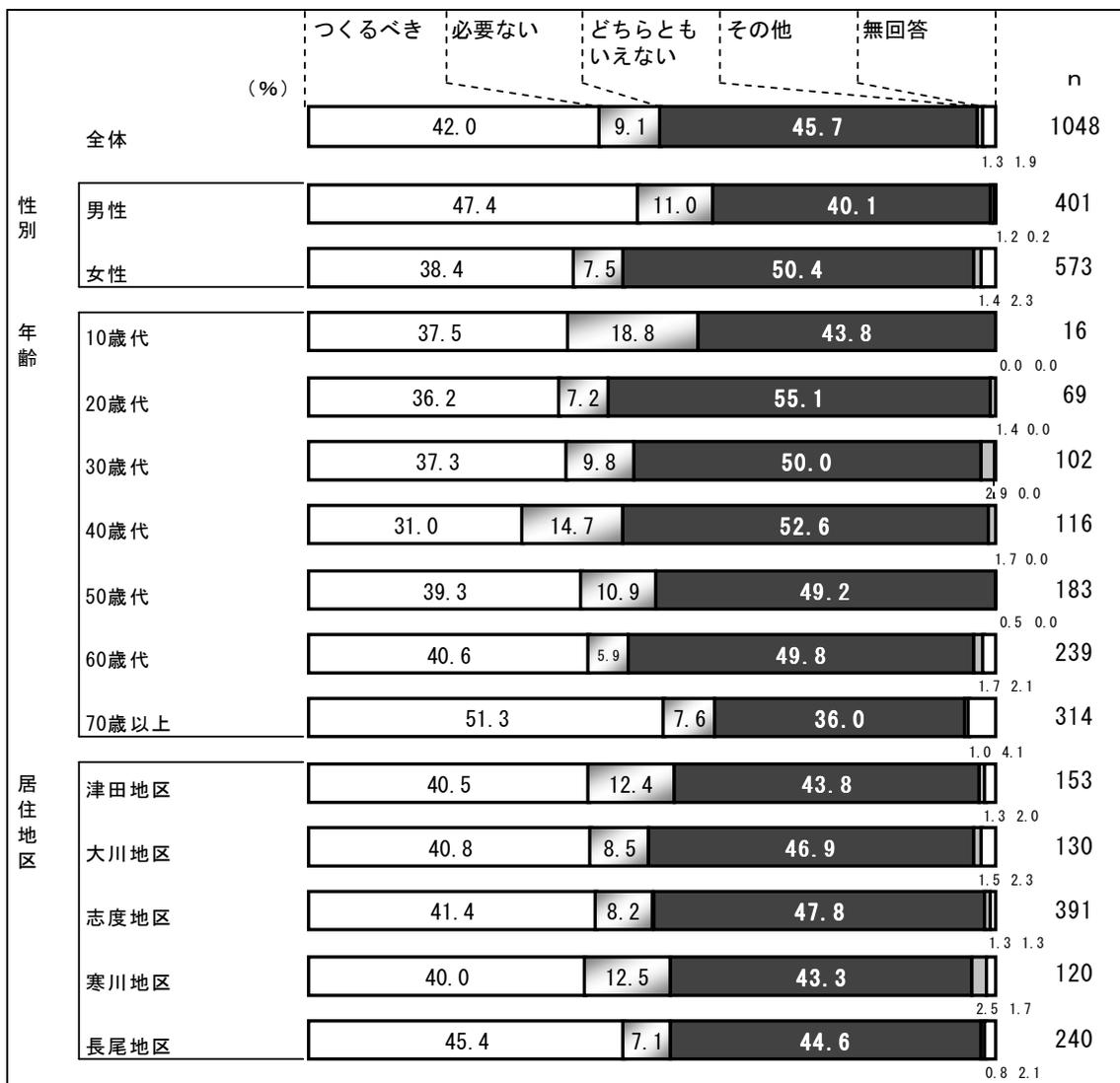
(14) 市民憲章を定め共有していくことについて

問 22 あなたは、市民憲章（まちを良くしていくために市民の誰もが守るべき約束事）を定め、みなで共有していくことについてどのように思いますか。

- 「つくるべき」は42.0%、「必要ない」は9.1%。

市民憲章を定め共有していくことについては、「どちらともいえない」(45.7%)、「つくるべき」(42.0%)、「必要ない」(9.1%) となっています。[図表 25 参照]

図表 25 市民憲章を定め共有していくことについて（全体・性別・年齢・居住地区）



4 市の現状と今後の取り組みについて

(1) 市の各環境に関する満足度

問4 さぬき市の現在の状況と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。
(1) 満足度 さぬき市の今の状況についてどう思いますか。

- 満足度が最も高い項目は「上水道の安定供給」。次いで「健康づくりと疾病予防対策の推進」、「墓地・斎場の整備」の順。
- 満足度が最も低い項目は「雇用の場の確保と労働環境の充実」。次いで「農業の振興」、「財政の健全化と行政運営の効率化」、「定住者の増加」の順。

さぬき市の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、産業基盤・地域づくり、行財政、安全・生活環境、市民参画・協働、情報化・交流連携、健康・福祉、人権・教育文化、自然環境の8分野 43項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（満足度：最高点 10 点、中間点 0 点、最低点 -10 点）を算出しました。

この結果、満足度評価が最も高い項目は、「上水道の安定供給」（1.48 点）となっており、次いで第2位が「健康づくりと疾病予防対策の推進」（1.48 点）、第3位が「墓地・斎場の整備」（1.24 点）、と続き、以下、「生活排水の適正処理」（1.00 点）、「歴史と伝統文化の伝承」（0.92 点）、「資源循環と省エネによる環境負荷の低減」（0.81 点）、「生涯学習の充実」（0.74 点）、「人権を尊重する教育・啓発」（0.63 点）、「犯罪と交通事故のないまちづくり」（0.62 点）、「芸術文化の振興」（0.60 点）、「地域福祉の推進」（0.56 点）、「スポーツの振興」（0.50 点）などの順となっています。

一方、満足度評価の低い項目をみると、「雇用の場の確保と労働環境の充実」（-2.23 点）が最も低く、次いで「農業の振興」（-1.78 点）、「財政の健全化と行政運営の効率化」（-1.72 点）、「定住者の増加」（-1.46 点）、「交通手段の確保」（-1.43 点）、「歳入の確保」（-1.33 点）、「林業振興と森林保全」（-1.00 点）、「企業誘致と工業振興」（-0.88 点）、「商業の振興」（-0.82 点）、「土地の有効利用」（-0.79 点）、「生活困窮者の自立支援」（-0.57 点）、「観光の振興」（-0.53 点）、「災害に強いまちづくり」（-0.47 点）、「道路・河川などの都市基盤の整備」（-0.42 点）と続いています。全体的にみると、43項目のうち満足度がプラス評価の項目が 21 項目、マイナス評価の項目が 22 項目となっています。〔図表 26 参照〕

また、これを居住地でみると、以下のとおりとなっています。

津田地区

満足度の上位3項目は第1位が「墓地・斎場の整備」(2.02点)、第2位が「上水道の安定供給」(1.89点)、第3位が「健康づくりと疾病予防対策の推進」(1.80点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「雇用の場の確保と労働環境の充実」(-2.56点)、第2位が「定住者の増加」(-2.20点)、第3位が「商業の振興」(-1.50点)の順となっています。

設定した43項目のうち、プラス評価の項目は23項目、マイナス評価の項目は19項目、中間点が1項目でした。[図表27参照]

大川地区

満足度の上位3項目は第1位が「健康づくりと疾病予防対策の推進」(1.59点)、第2位が「上水道の安定供給」(1.52点)、第3位が「墓地・斎場の整備」(1.40点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「雇用の場の確保と労働環境の充実」(-2.63点)、第2位が「農業の振興」(-2.48点)、第3位が「定住者の増加」(-2.40点)の順となっています。

設定した43項目のうち、プラス評価の項目は22項目、マイナス評価の項目は20項目、中間点が1項目でした。[図表27参照]

志度地区

満足度の上位3項目は第1位が「上水道の安定供給」(1.31点)、第2位が「健康づくりと疾病予防対策の推進」(1.12点)、第3位が「歴史と伝統文化の伝承」(0.99点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「雇用の場の確保と労働環境の充実」(-2.01点)、第2位が「財政の健全化と行政運営の効率化」(-1.81点)、第3位が「交通手段の確保」(-1.68点)の順となっています。

設定した43項目のうち、プラス評価の項目は20項目、マイナス評価の項目は23項目でした。[図表27参照]

寒川地区

満足度の上位3項目は第1位が「健康づくりと疾病予防対策の推進」(1.67点)、第2位が「墓地・斎場の整備」(1.46点)、第3位が「生活排水の適正処理」(1.44点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「雇用の場の確保と労働環境の充実」(-2.32点)、第2位が「農業の振興」(-2.08点)、第3位が「財政の健全化と行政運営の効率化」(-1.71点)の順となっています。

設定した 43 項目のうち、プラス評価の項目は 19 項目、マイナス評価の項目は 23 項目、中間点が 1 項目でした。[図表 27 参照]

長尾地区

満足度の上位 3 項目は第 1 位が「健康づくりと疾病予防対策の推進」(1.64 点)、第 2 位が「墓地・斎場の整備」(1.61 点)、第 3 位が「上水道の安定供給」(1.46 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は第 1 位が「農業の振興」(-2.35 点)、第 2 位が「雇用の場の確保と労働環境の充実」(-2.06 点)、第 3 位が「財政の健全化と行政運営の効率化」(-1.64 点)の順となっています。

設定した 43 項目のうち、プラス評価の項目は 23 項目、マイナス評価の項目は 19 項目、中間点が 1 項目でした。[図表 27 参照]

※加重平均値の算出方法

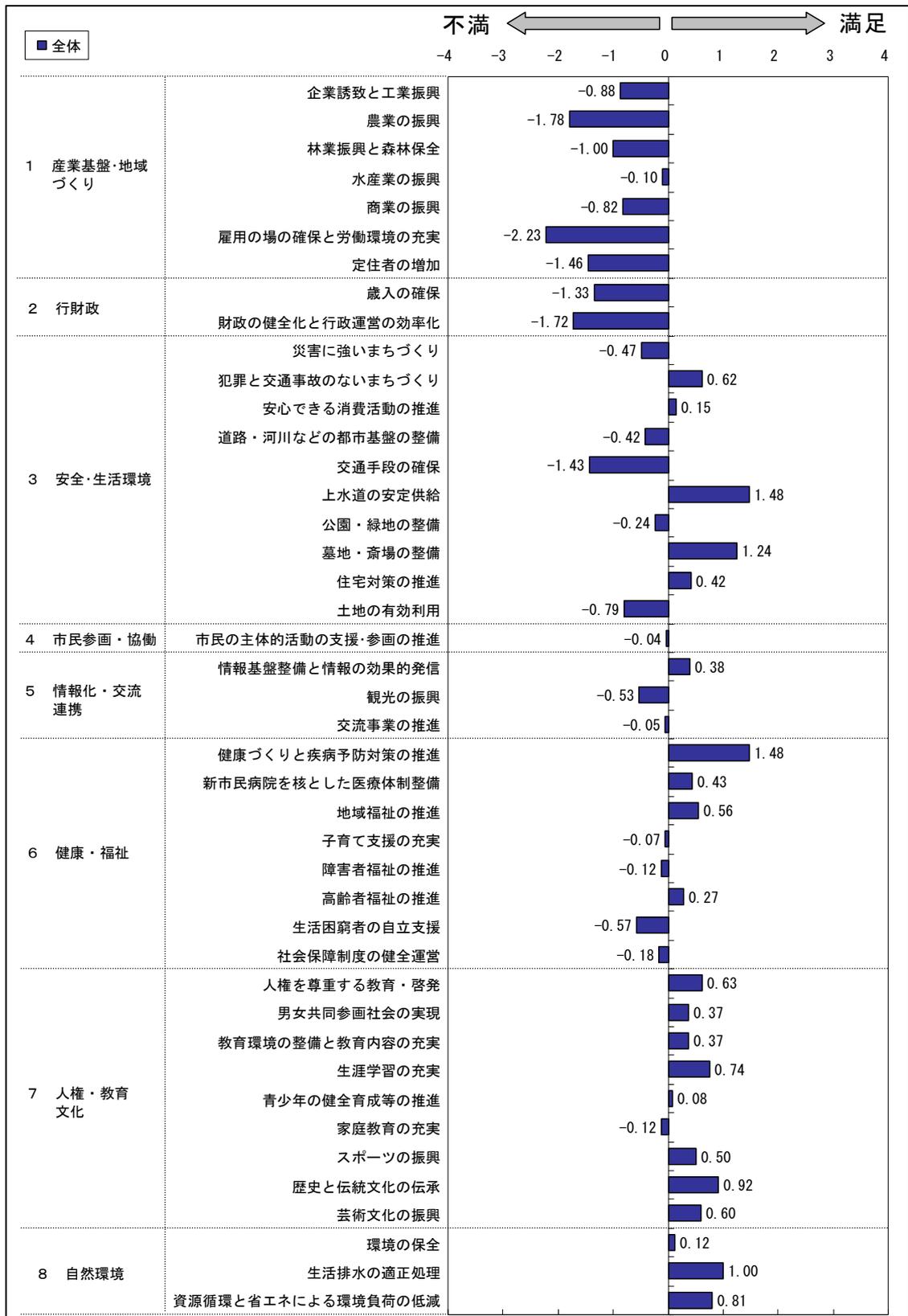
5 段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満であ} \\ \text{る」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表 26 まちの各環境に関する満足度（全体）

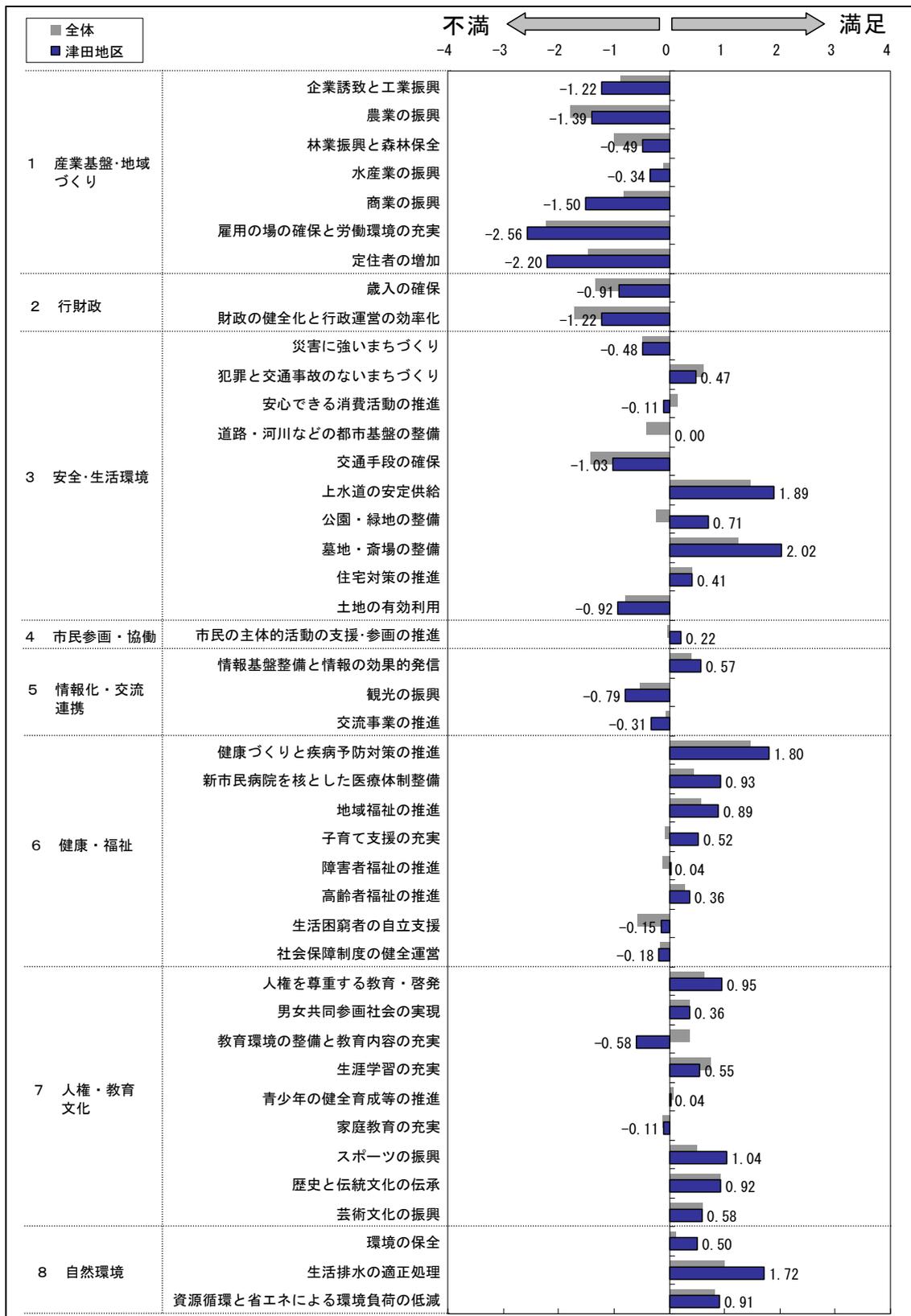
（単位：評価点）



図表 27 まちの各環境に関する満足度（居住地域別）

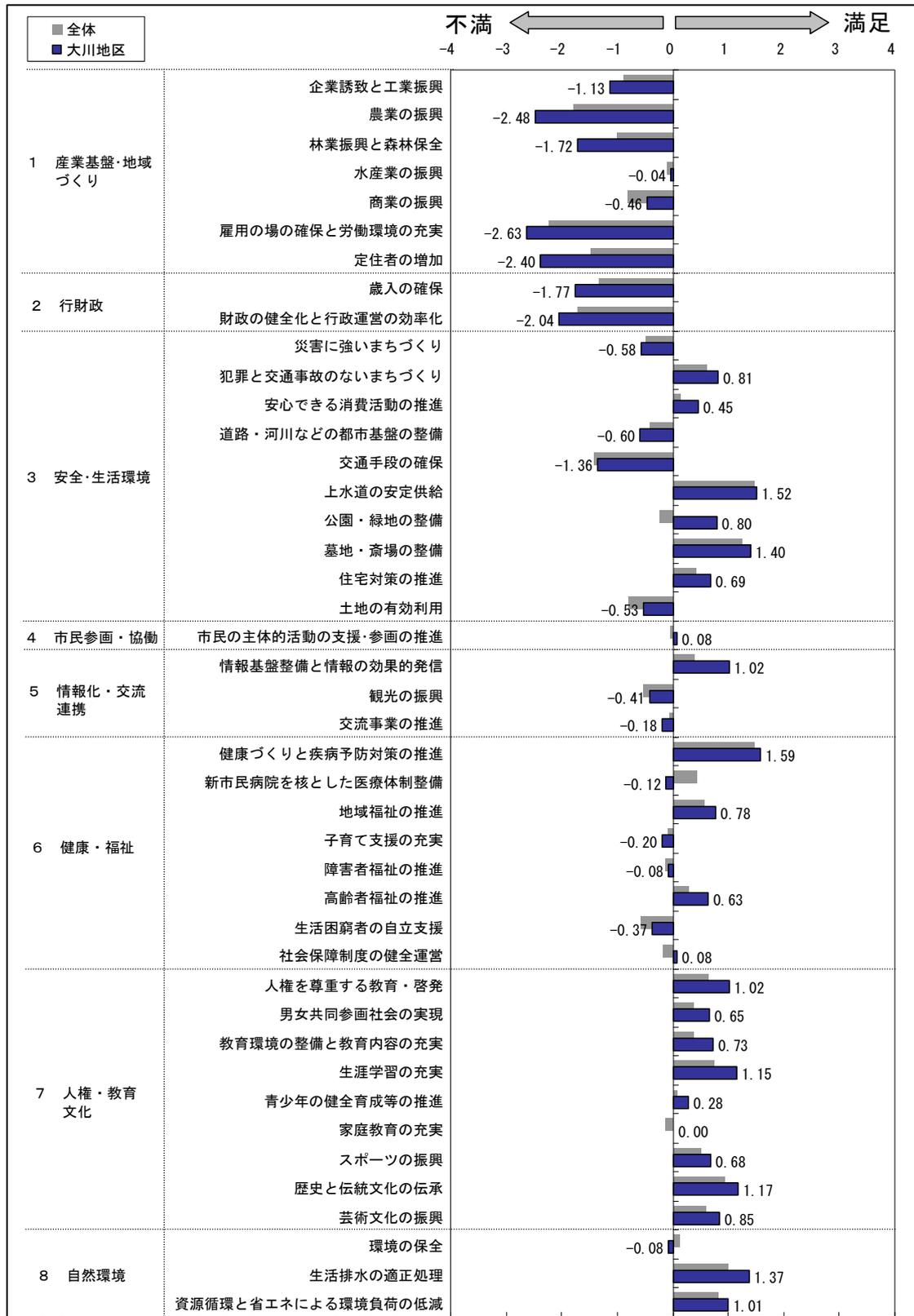
津田地区

（単位：評価点）



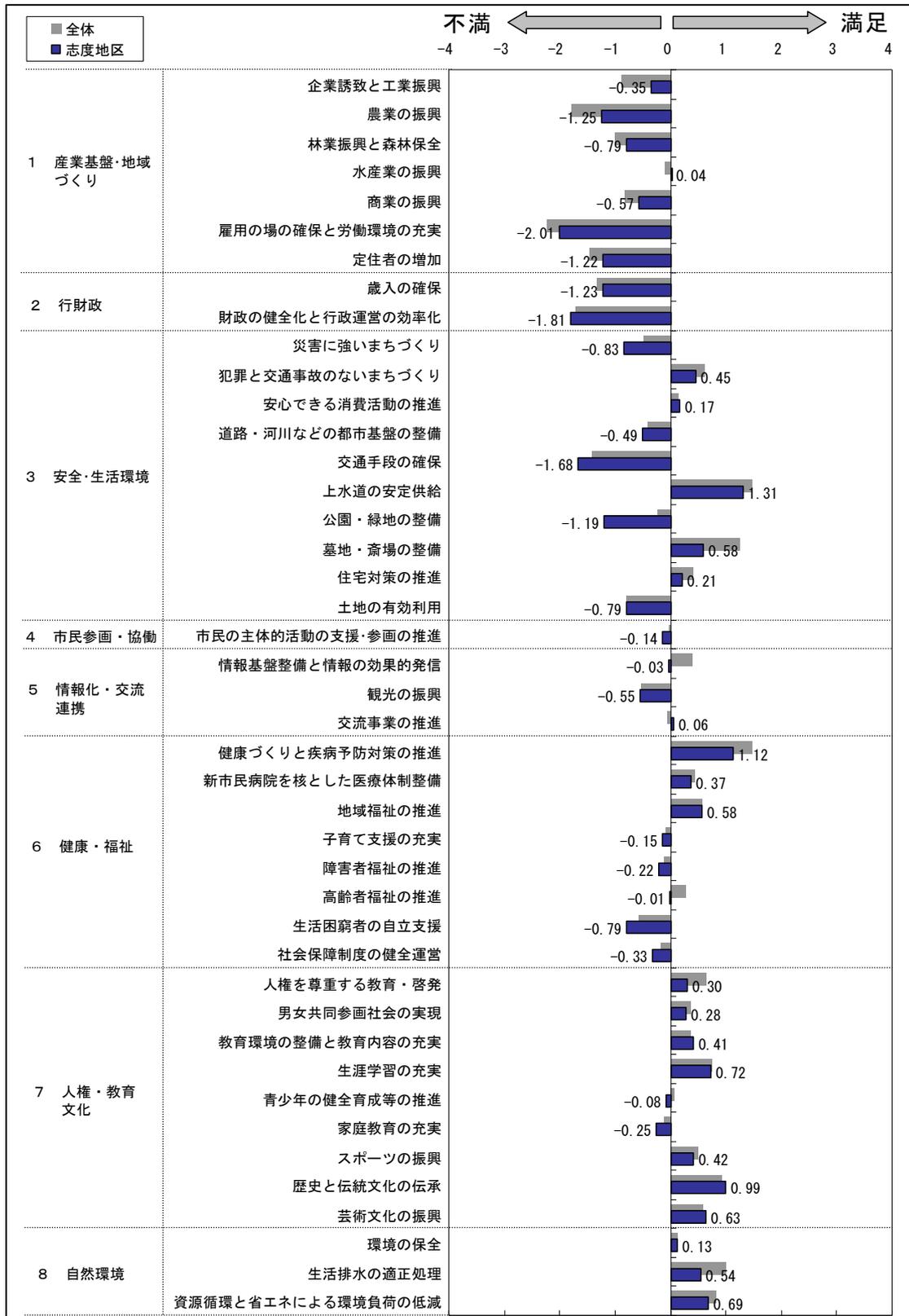
大川地区

(単位：評価点)



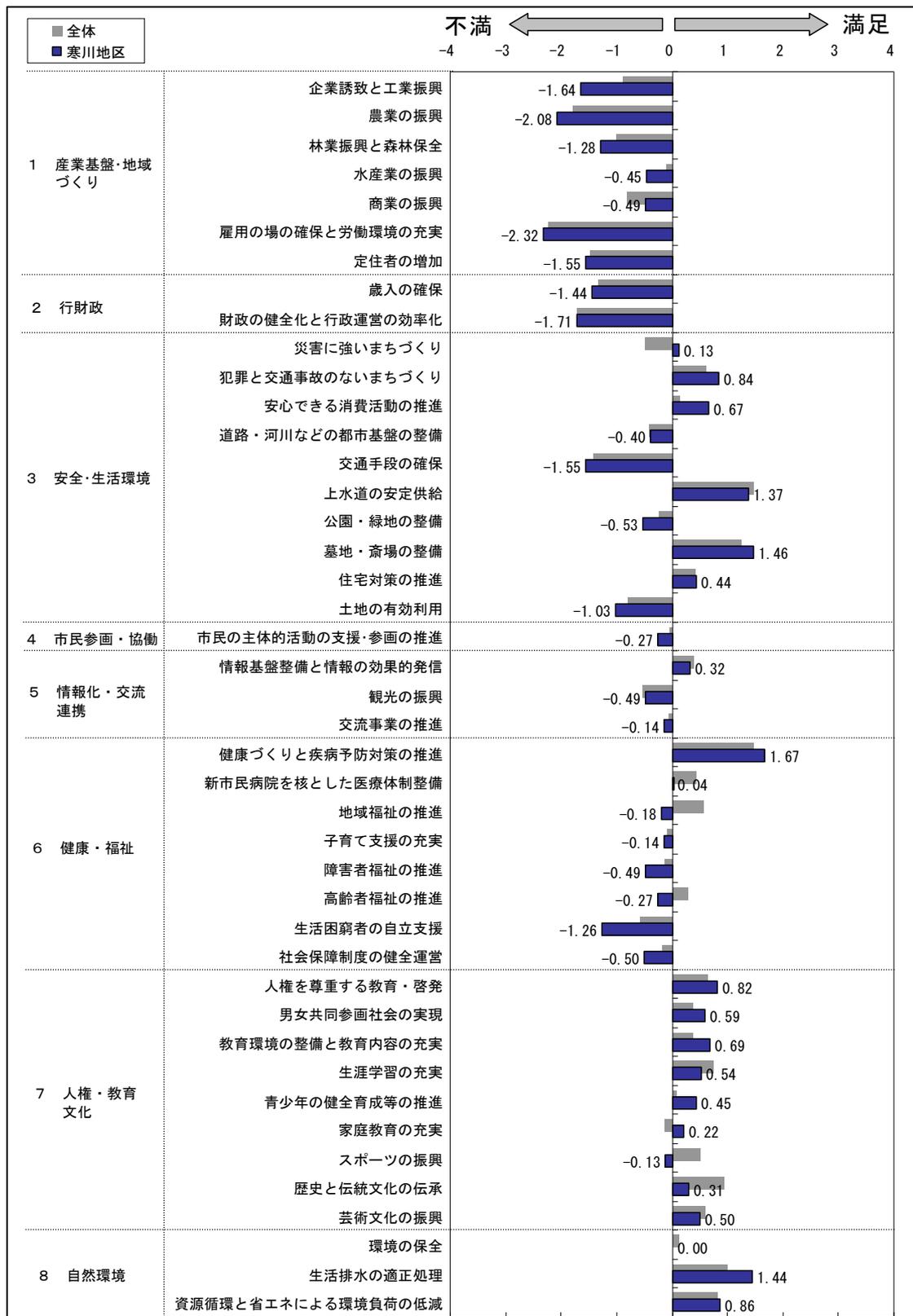
志度地区

(単位：評価点)



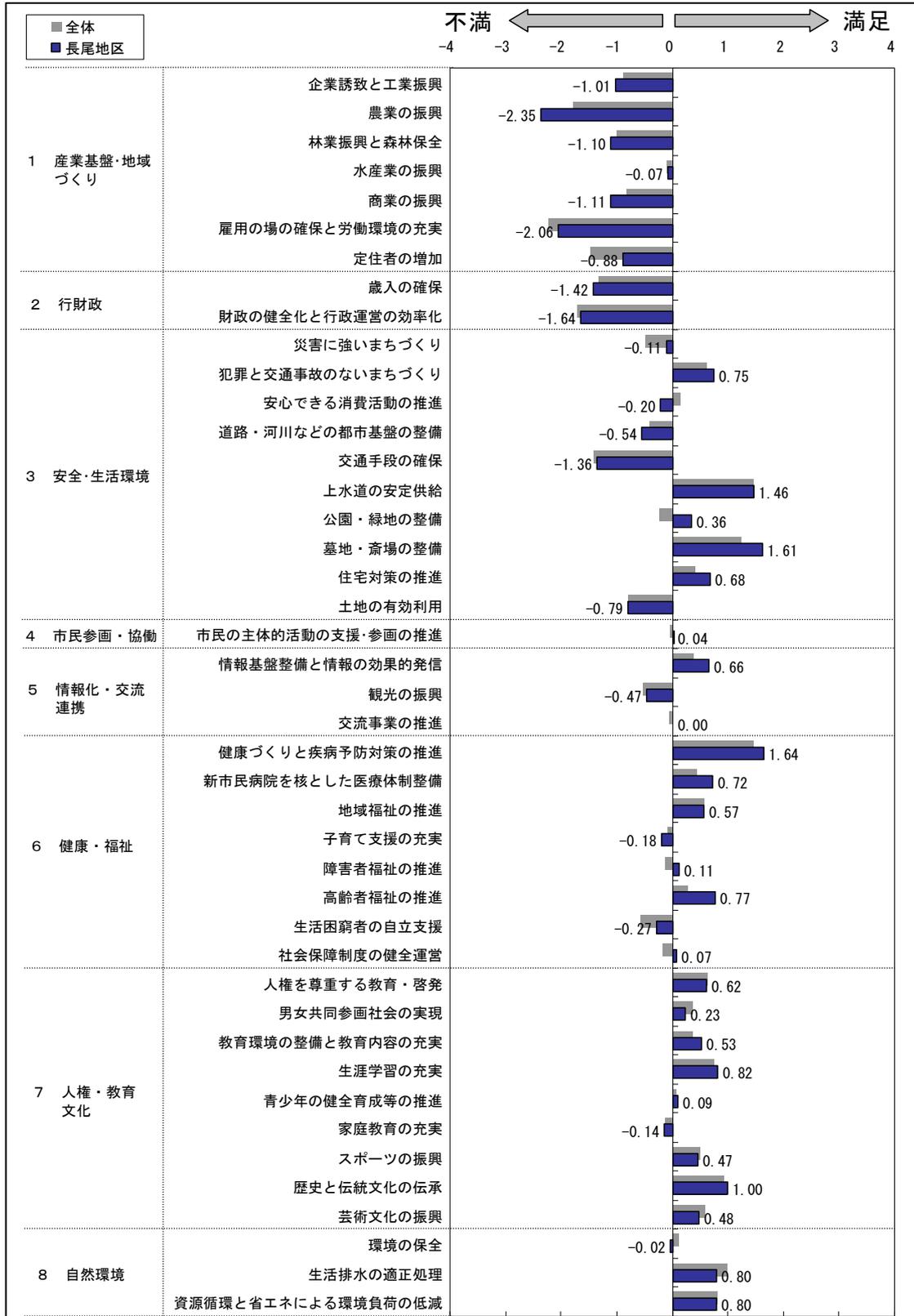
寒川地区

(単位：評価点)



長尾地区

(単位：評価点)



(2) まちの各環境に関する重要度

問4 さぬき市の現在の状況と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。
(2) 重要度 今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。

- ▼
- 重要度が最も高い項目は「新市民病院を核とした医療体制整備」。次いで「災害に強いまちづくり」、「犯罪と交通事故のないまちづくり」、「雇用の場の確保と労働環境の充実」の順。

さぬき市の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ8分野43項目について、「重要である」、「やや重要である」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

この結果、重要度評価が最も高い項目は、「新市民病院を核とした医療体制整備」（6.44点）となっており、次いで「災害に強いまちづくり」（6.26点）、「犯罪と交通事故のないまちづくり」（6.22点）、「雇用の場の確保と労働環境の充実」（5.99点）、「財政の健全化と行政運営の効率化」（5.86点）、「教育環境の整備と教育内容の充実」（5.75点）、「子育て支援の充実」（5.55点）、「健康づくりと疾病予防対策の推進」（5.52点）、「歳入の確保」（5.46点）、「高齢者福祉の推進」（5.35点）、「社会保障制度の健全運営」（5.34点）、「上水道の安定供給」（5.32点）、「定住者の増加」（5.29点）、「農業の振興」（5.25点）、「資源循環と省エネによる環境負荷の低減」（5.13点）などの順となっています。〔図表28参照〕

また、これを居住地でみると、以下のとおりとなっています。

津田地区

重要度の上位3項目は第1位が「新市民病院を核とした医療体制整備」(6.65点)、第2位が「犯罪と交通事故のないまちづくり」(6.52点)、第3位が「災害に強いまちづくり」(6.38点)の順となっています。[図表 29 参照]

大川地区

重要度の上位3項目は第1位が「新市民病院を核とした医療体制整備」(6.79点)、第2位が「教育環境の整備と教育内容の充実」(6.48点)、第3位が「農業の振興」(6.02点)の順となっています。[図表 29 参照]

志度地区

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(6.38点)、第2位が「犯罪と交通事故のないまちづくり」(6.32点)、第3位が「新市民病院を核とした医療体制整備」(6.25点)の順となっています。[図表 29 参照]

寒川地区

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(6.07点)、第2位が「新市民病院を核とした医療体制整備」(5.99点)、第3位が「犯罪と交通事故のないまちづくり」(5.71点)の順となっています。[図表 29 参照]

長尾地区

重要度の上位3項目は第1位が「新市民病院を核とした医療体制整備」(6.64点)、第2位が「犯罪と交通事故のないまちづくり」(6.40点)、第3位が「財政の健全化と行政運営の効率化」(6.36点)の順となっています。[図表 29 参照]

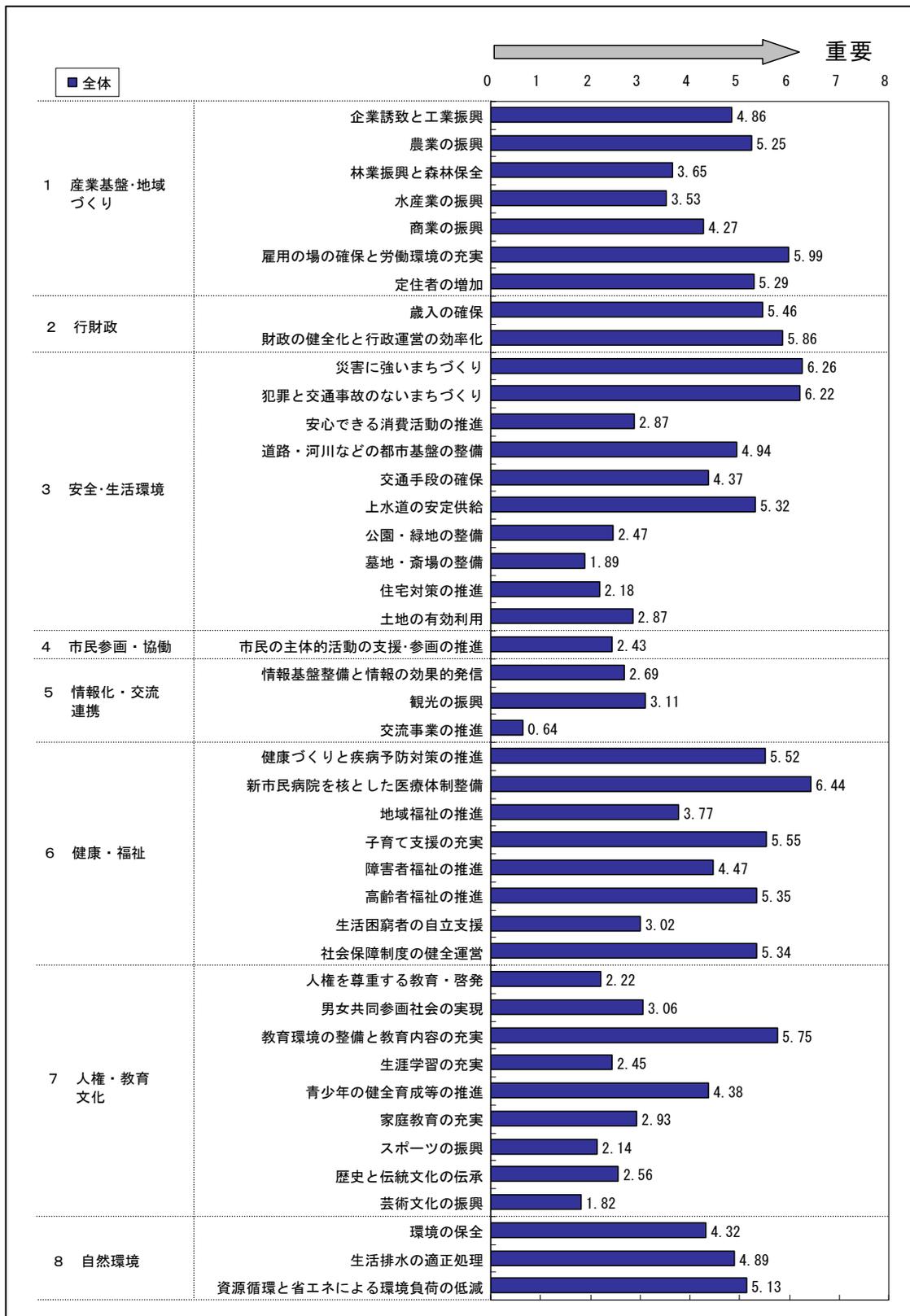
※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \left[\begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや重要である」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right]}{\begin{array}{l} \left[\begin{array}{l} \text{「重要である」、「やや重要である」、} \\ \text{「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重要でない」、「重要でない」の回答者数} \end{array} \right]} \end{array}}$$

図表 28 まちの各環境に関する重要度（全体）

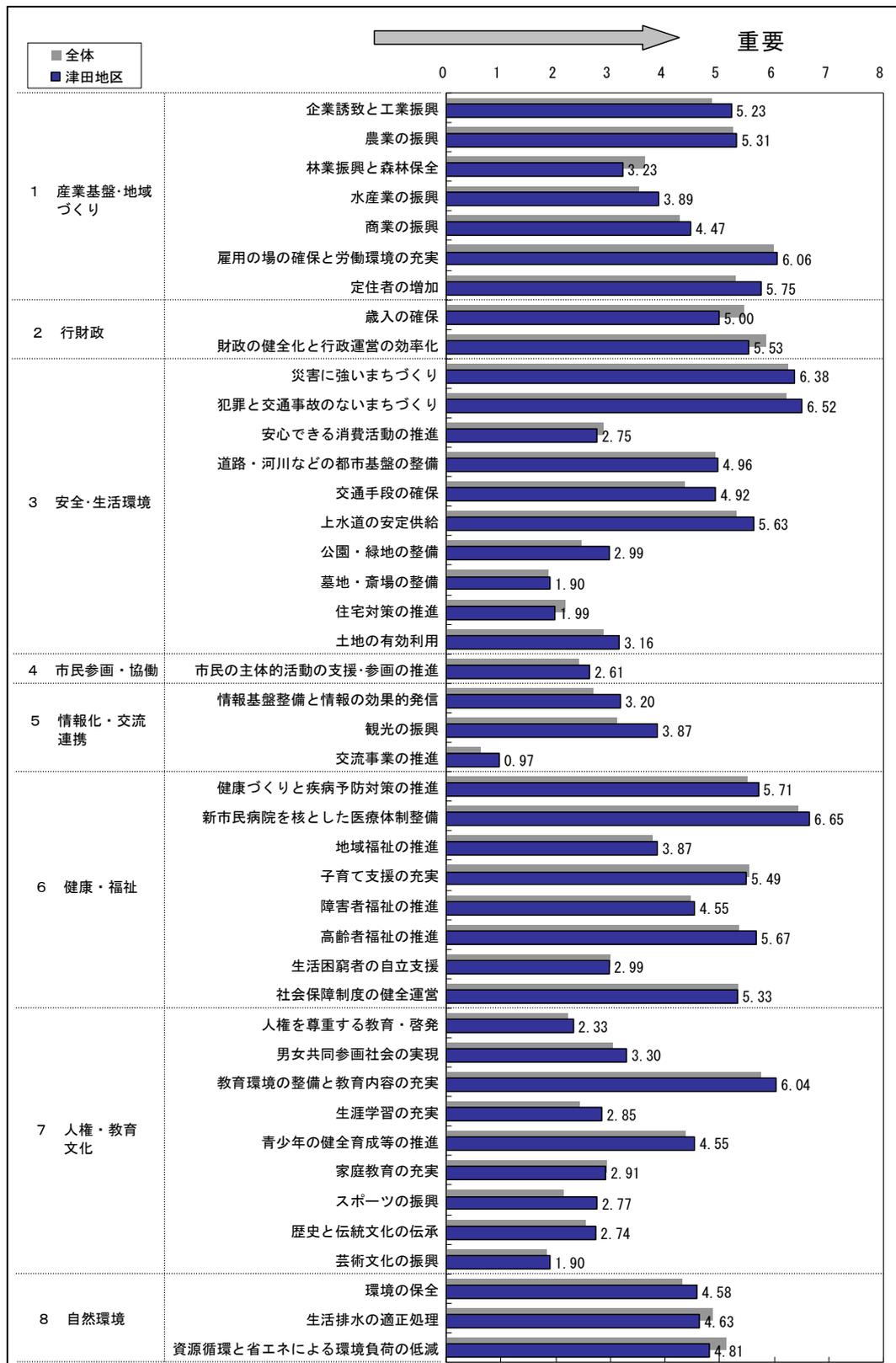
（単位：評価点）



図表 29 まちの各環境に関する重要度（居住地域別）

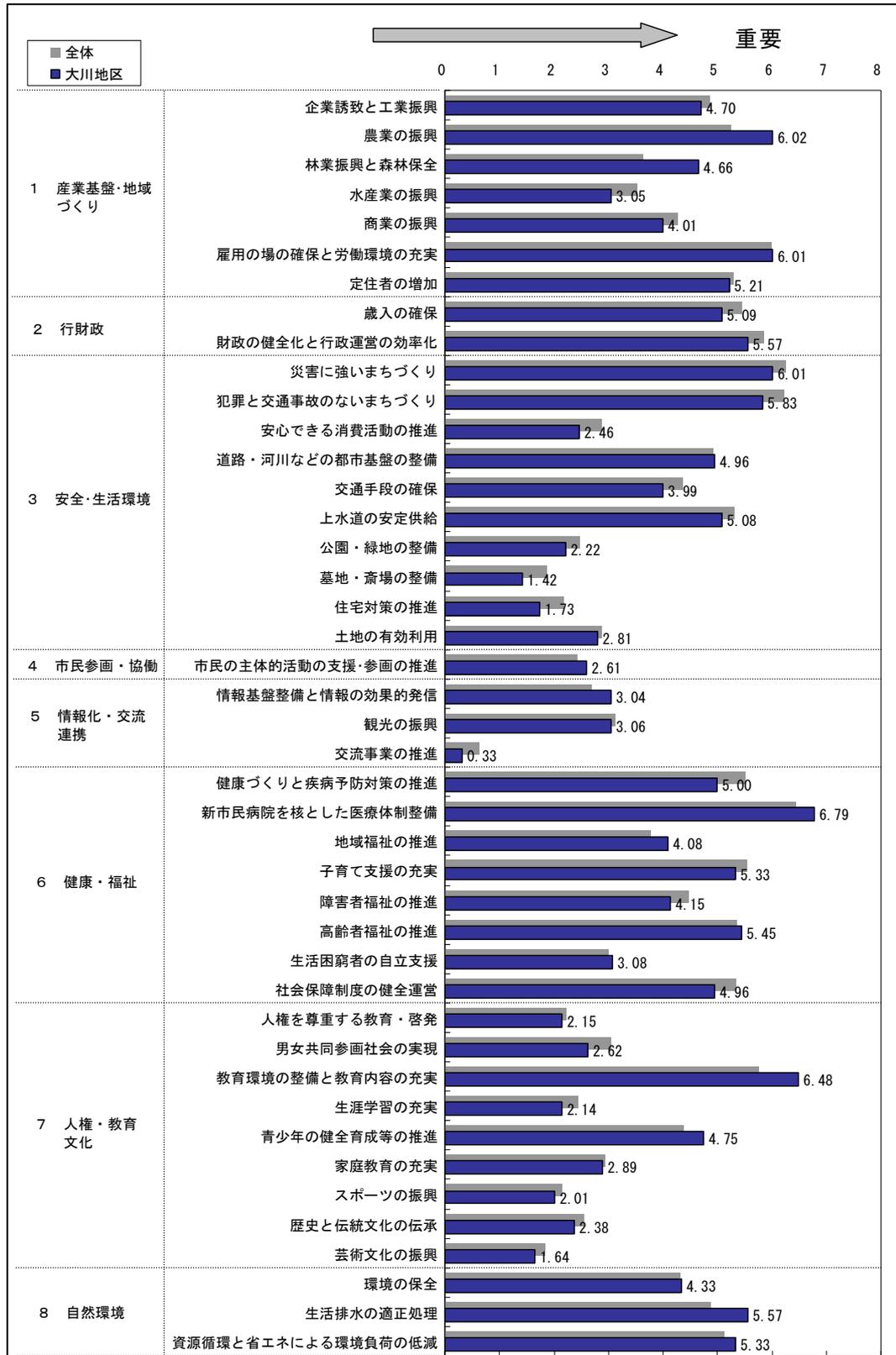
津田地区

（単位：評価点）



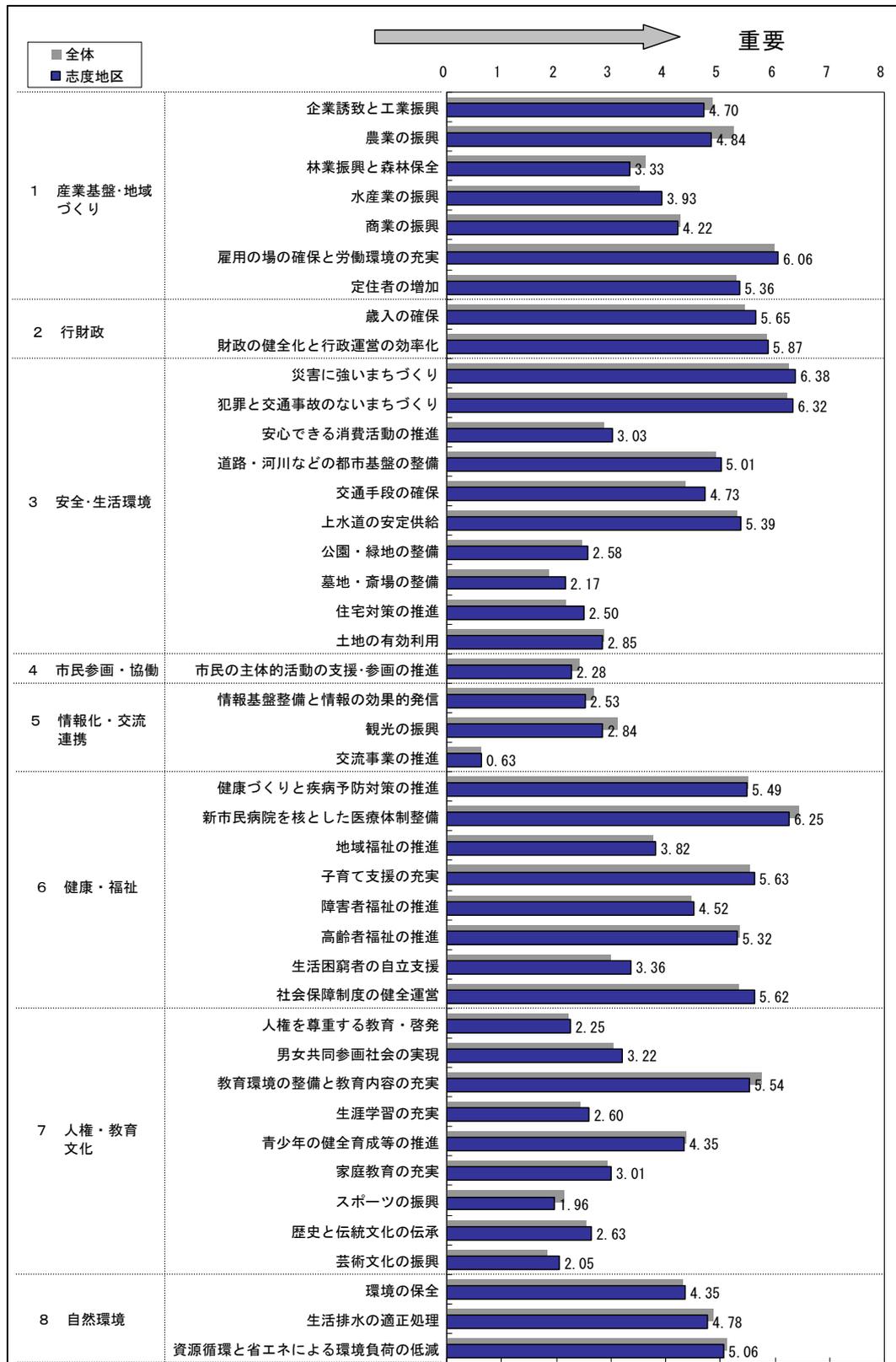
大川地区

(単位：評価点)



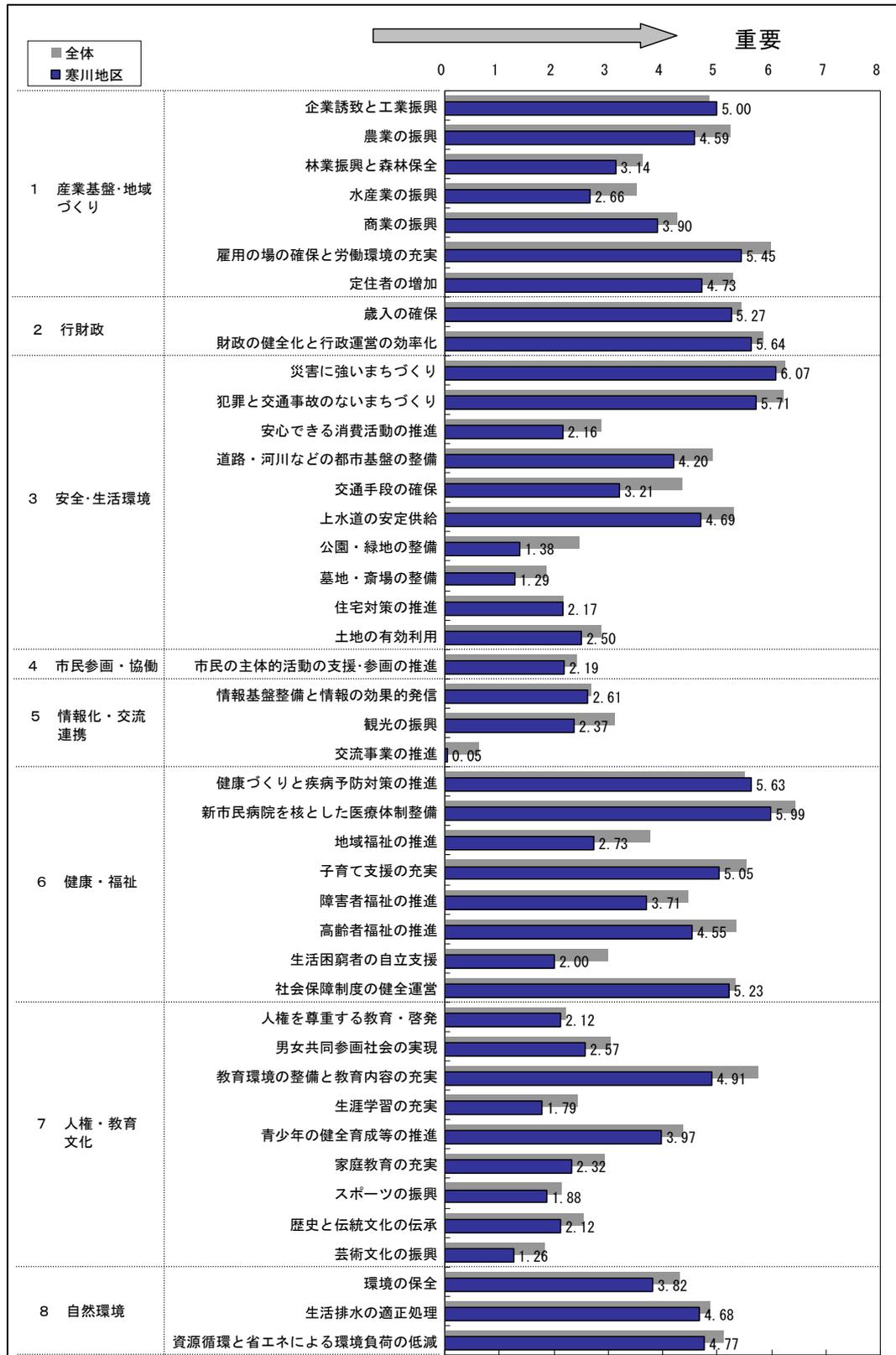
志度地区

(単位：評価点)



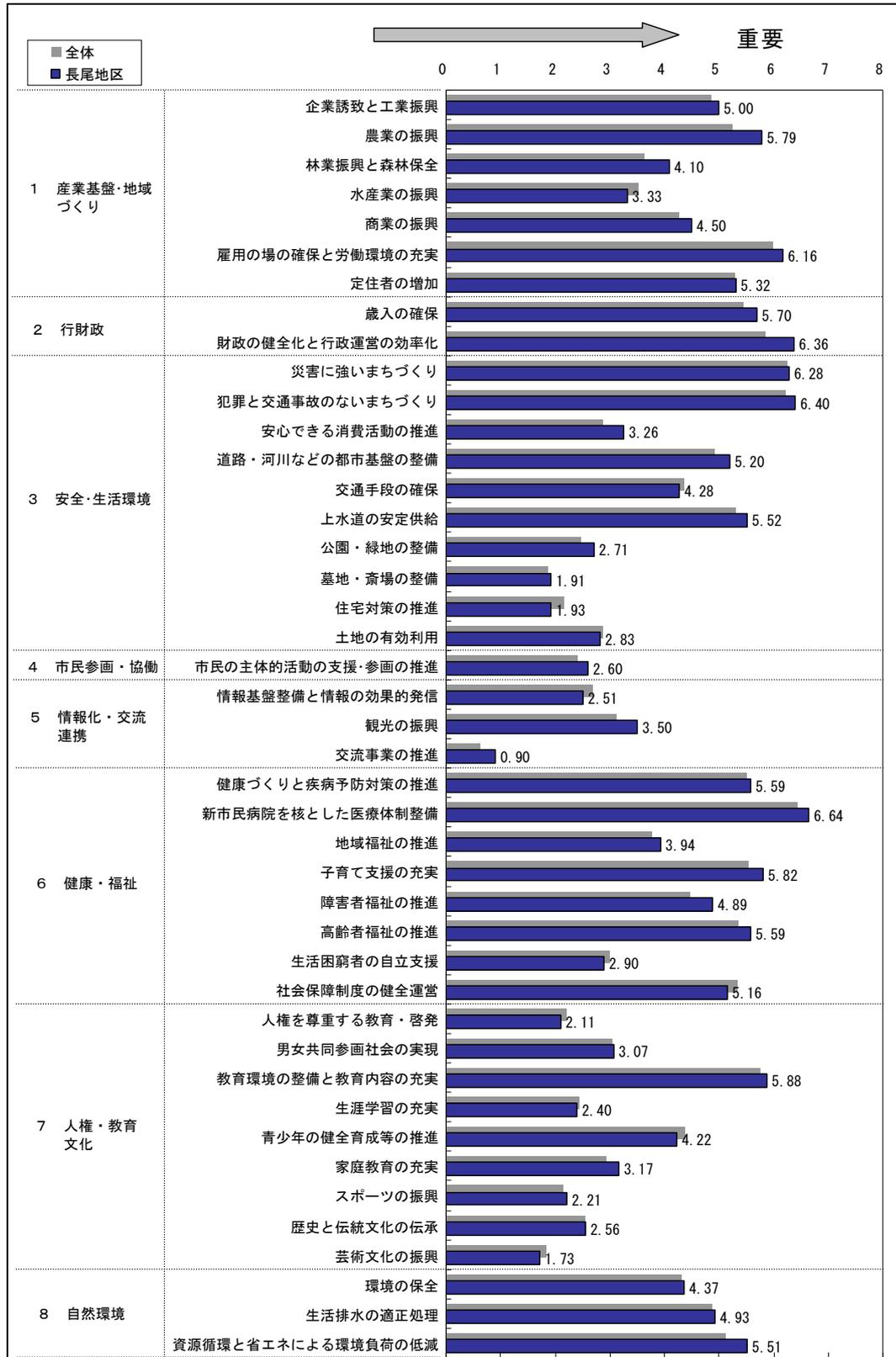
寒川地区

(単位：評価点)



長尾地区

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 優先度が最も高い項目は「雇用の場の確保と労働環境の充実」。次いで「財政の健全化と行政運営の効率化」、「農業の振興」、「歳入の確保」、「定住者の増加」の順。

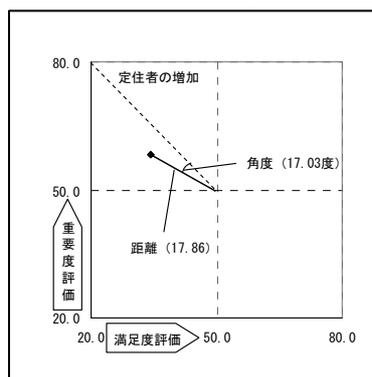
これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図からの数量化【下記参照】による分析で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」（22.48 点）が第 1 位となっており、次いで「財政の健全化と行政運営の効率化」（19.35 点）、「農業の振興」（15.80 点）、「歳入の確保」（14.95 点）、「定住者の増加」（14.48 点）、「災害に強いまちづくり」（10.67 点）、「交通手段の確保」（9.21 点）、「企業誘致と工業振興」（8.99 点）、「道路・河川などの都市基盤の整備」（6.28 点）、「商業の振興」（5.33 点）、「社会保障制度の健全運営」（5.15 点）などの順となっています。【図表 30・31 参照】

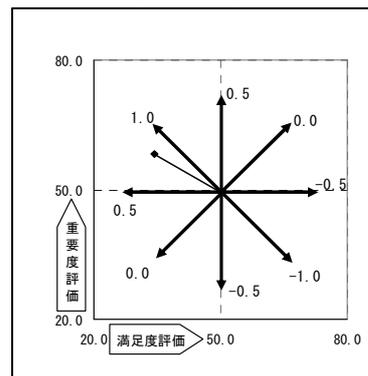
※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「定住者の増加」→満足度偏差値 34.22…、重要度偏差値 58.38…
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「定住者の増加」→ $17.86… = \sqrt{(34.22-50)^2 + (58.38-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「定住者の増加」→17.03 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
例：「定住者の増加」→ $0.8107 = (90-17.03) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「定住者の増加」→ $14.48 = 17.86… \times 0.8107…$

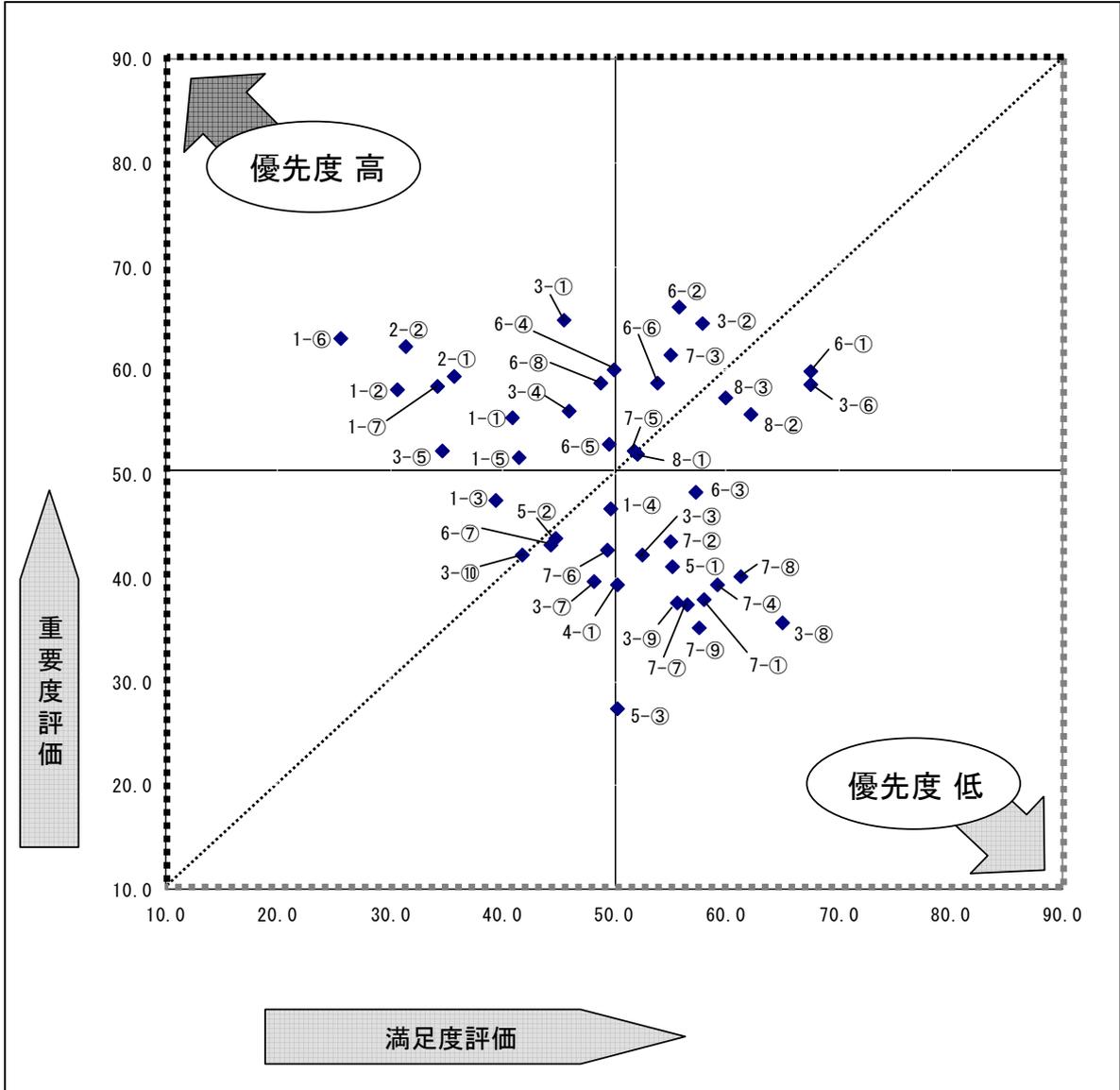
距離・角度



指数の設定



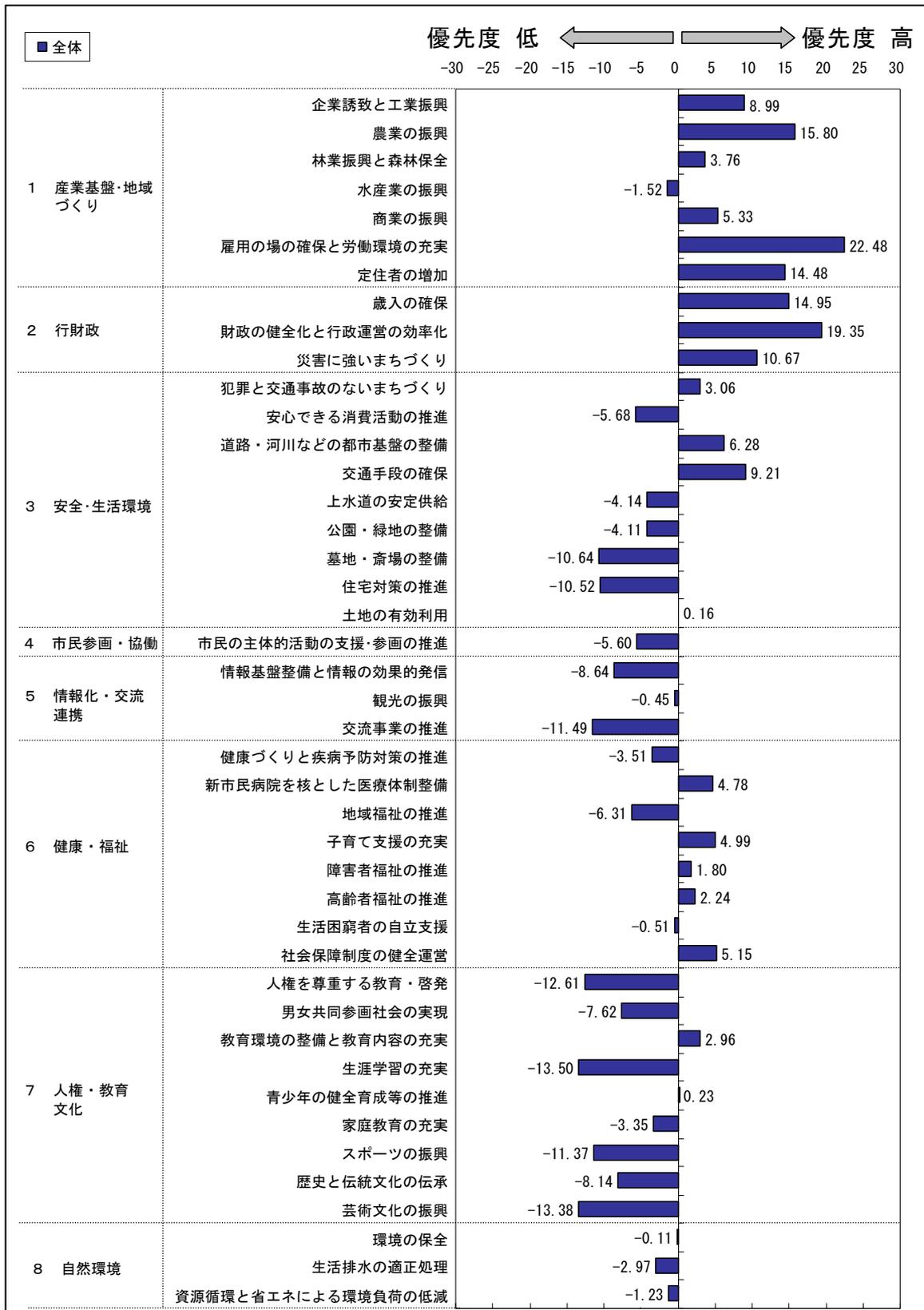
図表 30 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



優先度高い		優先度低い	
1-⑥ 雇用の場の確保と労働環境の充実	6-⑧ 社会保障制度の健全運営	7-④ 生涯学習の充実	3-⑥ 上水道の安定供給
2-② 財政の健全化と行政運営の効率化	6-④ 子育て支援の充実	7-⑨ 芸術文化の振興	3-⑦ 公園・緑地の整備
1-② 農業の振興	6-② 新市民病院を核とした医療体制整備	7-① 人権を尊重する教育・啓発	6-① 健康づくりと疾病予防対策の推進
2-① 歳入の確保	1-③ 林業振興と森林保全	5-③ 交流事業の推進	7-⑥ 家庭教育の充実
1-⑦ 定住者の増加	3-② 犯罪と交通事故のないまちづくり	7-⑦ スポーツの振興	8-② 生活排水の適正処理
3-① 災害に強いまちづくり	7-③ 教育環境の整備と教育内容の充実	3-⑧ 墓地・斎場の整備	1-④ 水産業の振興
3-⑤ 交通手段の確保	6-⑥ 高齢者福祉の推進	3-⑨ 住宅対策の推進	8-③ 資源循環と省エネによる環境負荷の低減
1-① 企業誘致と工業振興	6-⑤ 障害者福祉の推進	5-① 情報基盤整備と情報の効果的発信	6-⑦ 生活困窮者の自立支援
3-④ 道路・河川などの都市基盤の整備	7-⑤ 青少年の健全育成等の推進	7-⑧ 歴史と伝統文化の伝承	5-② 観光の振興
1-⑤ 商業の振興	3-⑩ 土地の有効利用	7-② 男女共同参画社会の実現	8-① 環境の保全
		6-③ 地域福祉の推進	
		3-③ 安心して暮らす消費活動の推進	
		4-① 市民の主体的活動の支援・参画の推進	

図表 31 満足度と重要度の相関（全体／優先度）

（単位：評価点）



5 生活や地域のことについて

問 26 あなたの生活や地域のことについて、さまざまな角度からおたずねします。
この1年くらいのことをふりかえってみてお答えください。

(1) 生活や地域のことについて

(1) 健康づくりへの取り組み

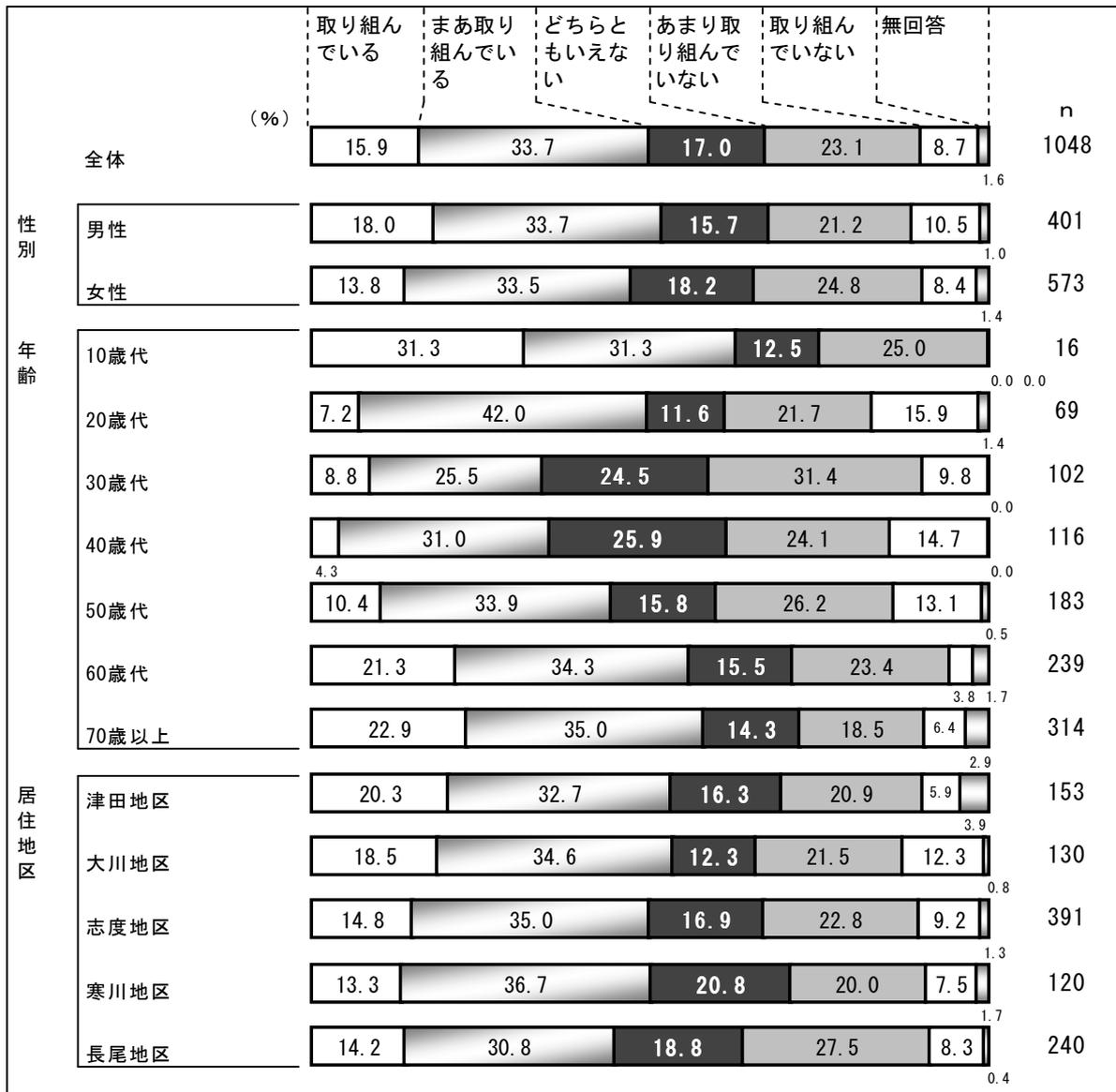
問 26 1) 健康づくりに取り組んでいますか。

- 健康づくりに“取り組んでいる”が49.6%、“取り組んでいない”が31.8%。

健康づくりについては、「まあ取り組んでいる」(33.7%)が最も多く、これに「取り組んでいる」(15.9%)を合わせた“取り組んでいる”と回答した割合は49.6%となっています。一方、「あまり取り組んでいない」(23.1%)と「取り組んでいない」(8.7%)を合わせた“取り組んでいない”と回答した割合は31.8%となっています。「どちらともいえない」は17.0%でした。

属性別で“取り組んでいる”率をみると、年齢別では、30代・40代で比較的少なく、35%程度となっています。[図表 32 参照]

図表 32 健康づくりへの取り組み（全体・性別・年齢・居住地区）



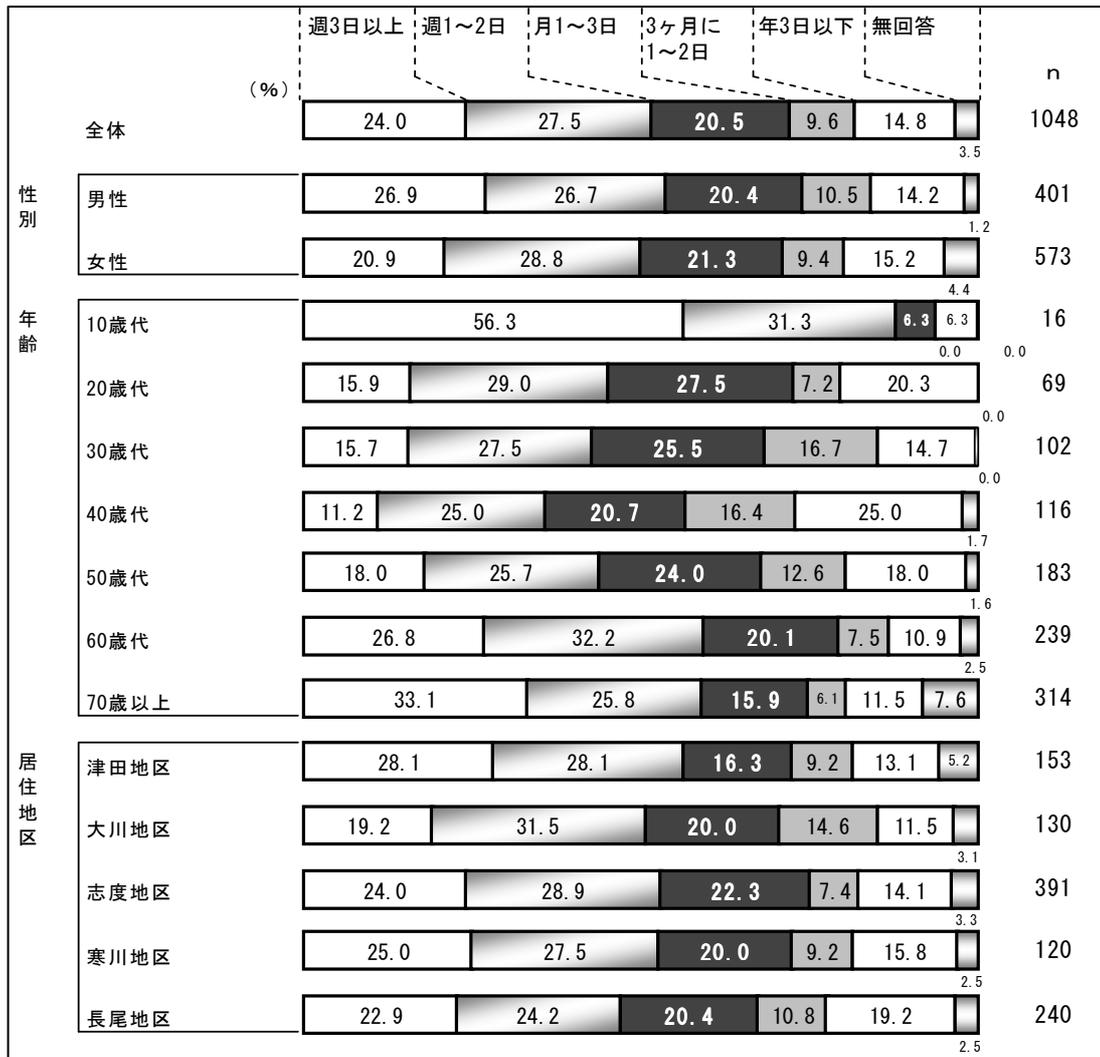
(2) 運動・スポーツを行った日数

問 26 2) 運動・スポーツ（通勤途上に意識的にウォーキングをする場合なども含む）を行った日数はどのくらいですか。

● “週1日以上”が51.5%。

運動・スポーツを行った日数については、「週1～2日」(27.5%)、「週3日以上」(24.0%)、「月1～3日」(20.5%)、「年3日以下」(14.8%)、「3ヶ月に1～2日」(9.6%)の順となっています。[図表33参照]

図表33 運動・スポーツを行った日数（全体・性別・年齢・居住地区）



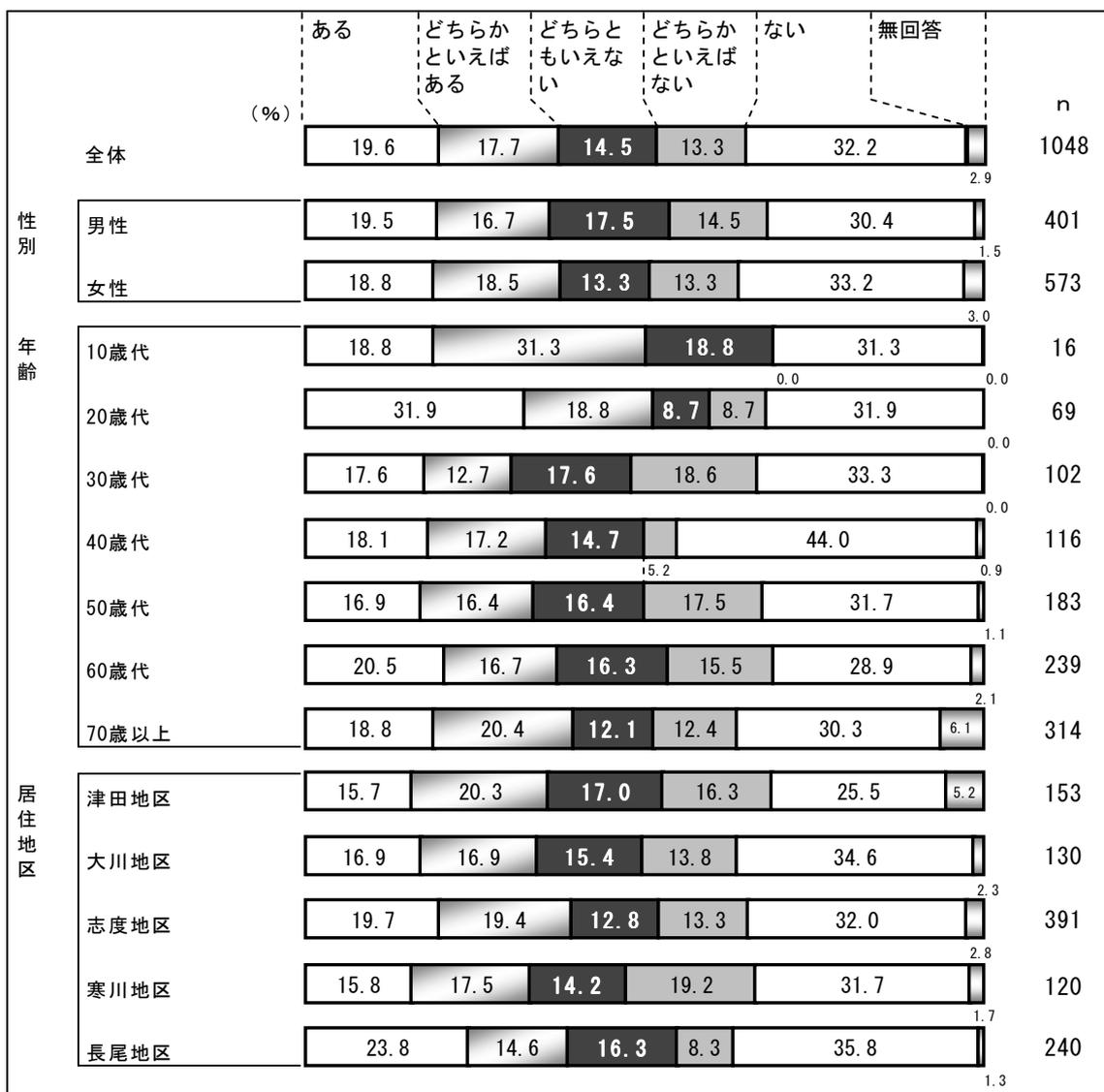
(3) 目的をもって学んでいるもの

問 26 3) 目的をもって学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で。)

- “ある” が 37.3%、“ない” が 45.5%。

目的をもって学んでいるものがあるかどうかについては、「ない」(32.2%)、「ある」(19.6%)、「どちらかといえばある」(17.7%)、「どちらともいえない」(14.5%)、「どちらかといえはない」(13.3%)の順となっています。[図表 34 参照]

図表 34 目的をもって学んでいるもの（全体・性別・年齢・居住地区）



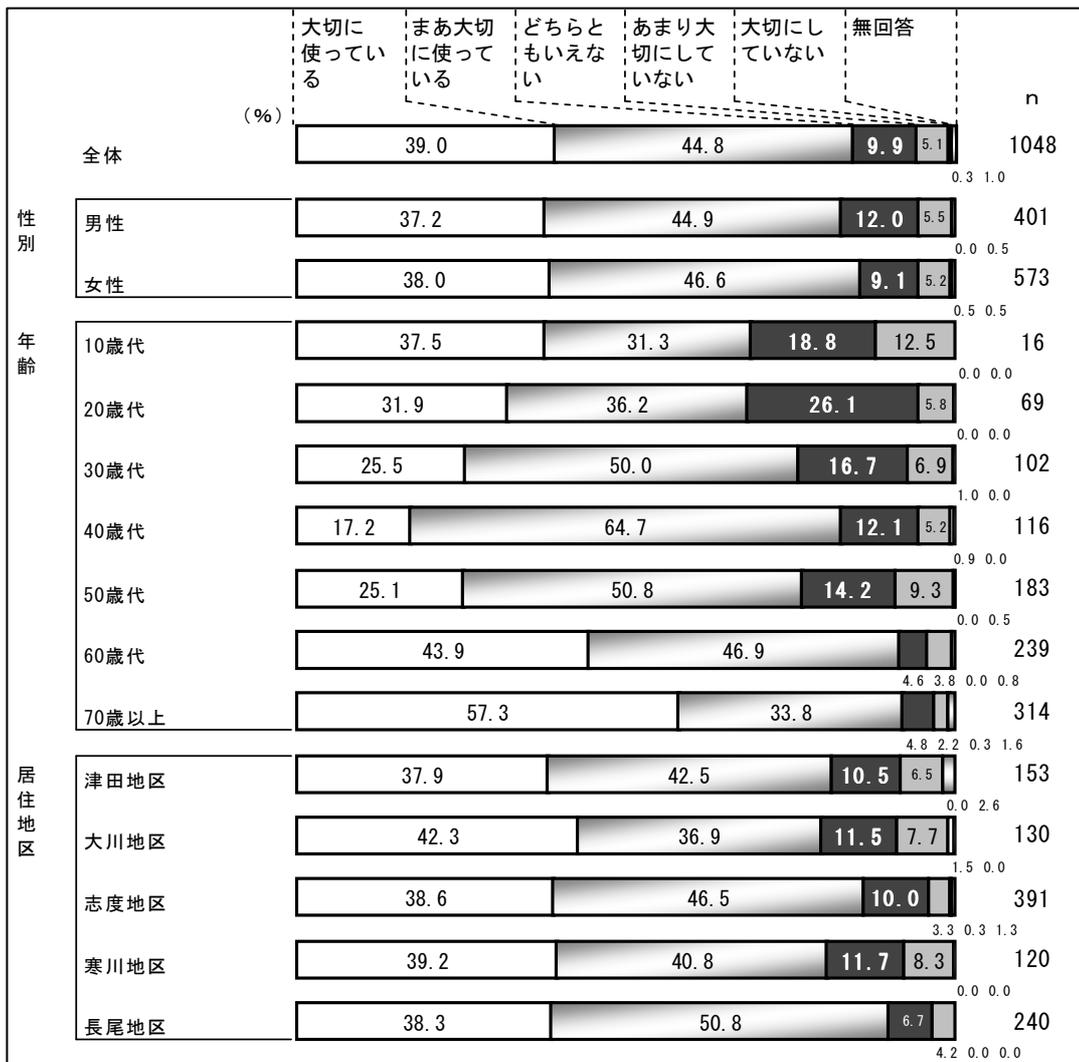
(4) 水を大切に使用しているか

問 26 4) 水を大切に使用していますか。

- “大切に使用している”が83.8%、“大切に使用していない”が5.4%。

水を大切に使用しているかどうかについては、「まあ大切に使用している」(44.8%)、「大切に使用している」(39.0%)、「どちらともいえない」(9.9%)、「あまり大切にしていない」(5.1%)、「大切にしていない」(0.3%)の順となっています。[図表 35 参照]

図表 35 水を大切に使用しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(5) ごみ分別やリサイクルへの協力状況

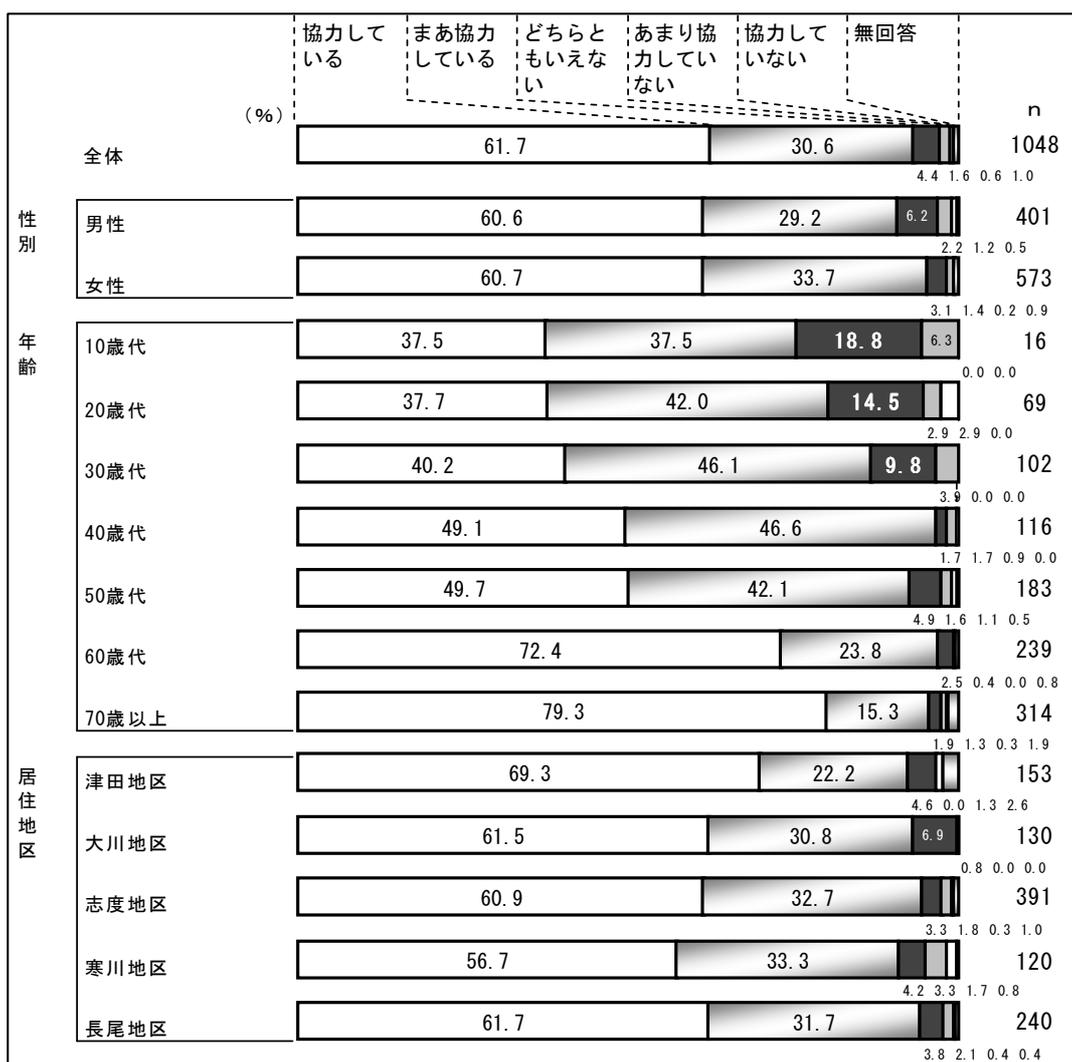
問 26 5) ごみの分別やリサイクルに協力していますか。

- “協力している” が 92.3%、“協力していない” が 2.2%。

ごみ分別やリサイクルへの協力状況については、「協力している」(61.7%)、「まあ協力している」(30.6%)、「どちらともいえない」(4.4%)、「あまり協力していない」(1.6%)、「協力していない」(0.6%)の順となっています。

「あまり協力していない」、「協力していない」という回答はありませんでした。[図表 36 参照]

図表 36 ごみ分別やリサイクルへの協力状況（全体・性別・年齢・居住地区）



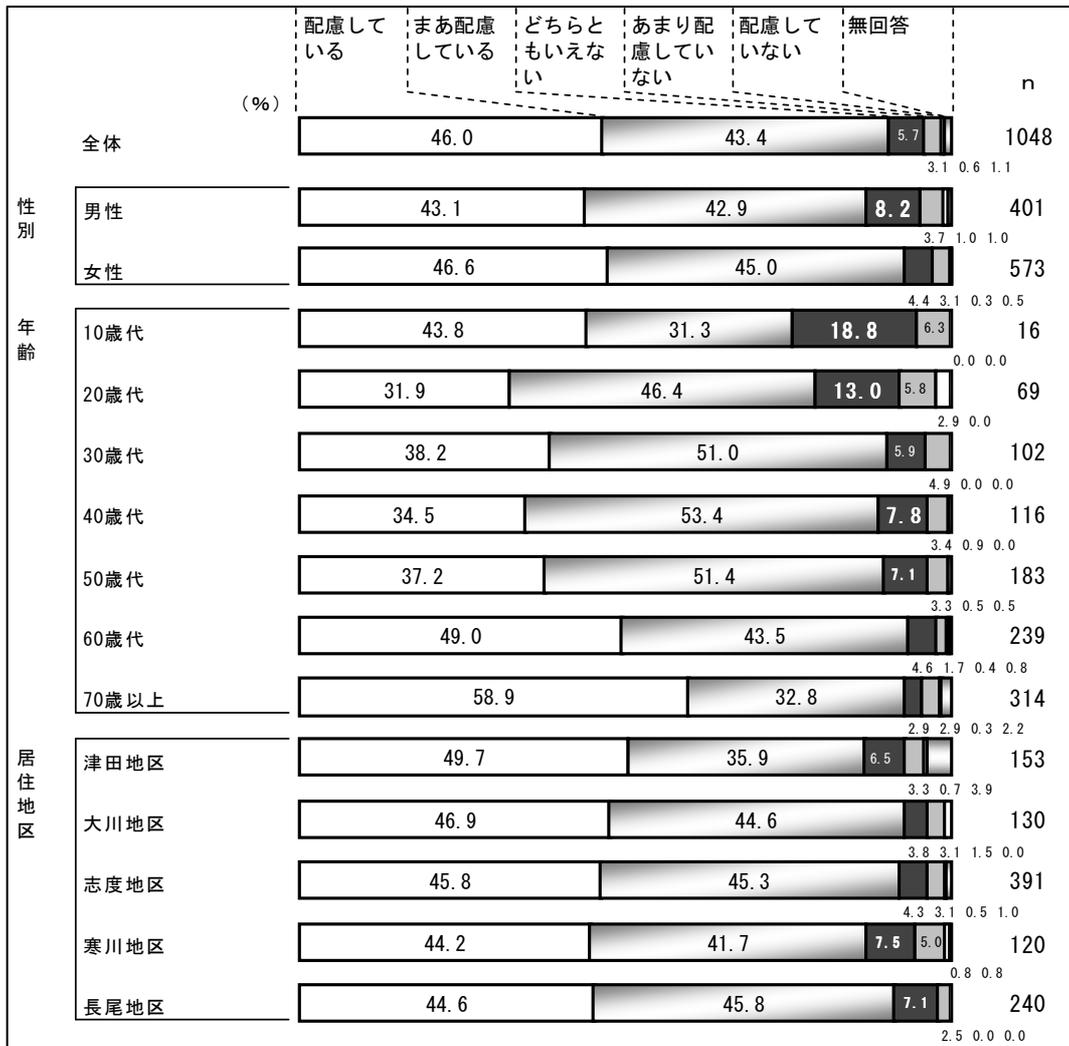
(6) 環境に配慮しているか

問 26 6) 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

- “配慮している” が 89.4%、“配慮していない” が 3.7%。

環境に配慮しているかどうかについては、「配慮している」(46.0%)、「まあ配慮している」(43.4%)、「どちらともいえない」(5.7%)、「あまり配慮していない」(3.1%)、「配慮していない」(0.6%)の順となっています。[図表 37 参照]

図表 37 環境に配慮しているか (全体・性別・年齢・居住地区)



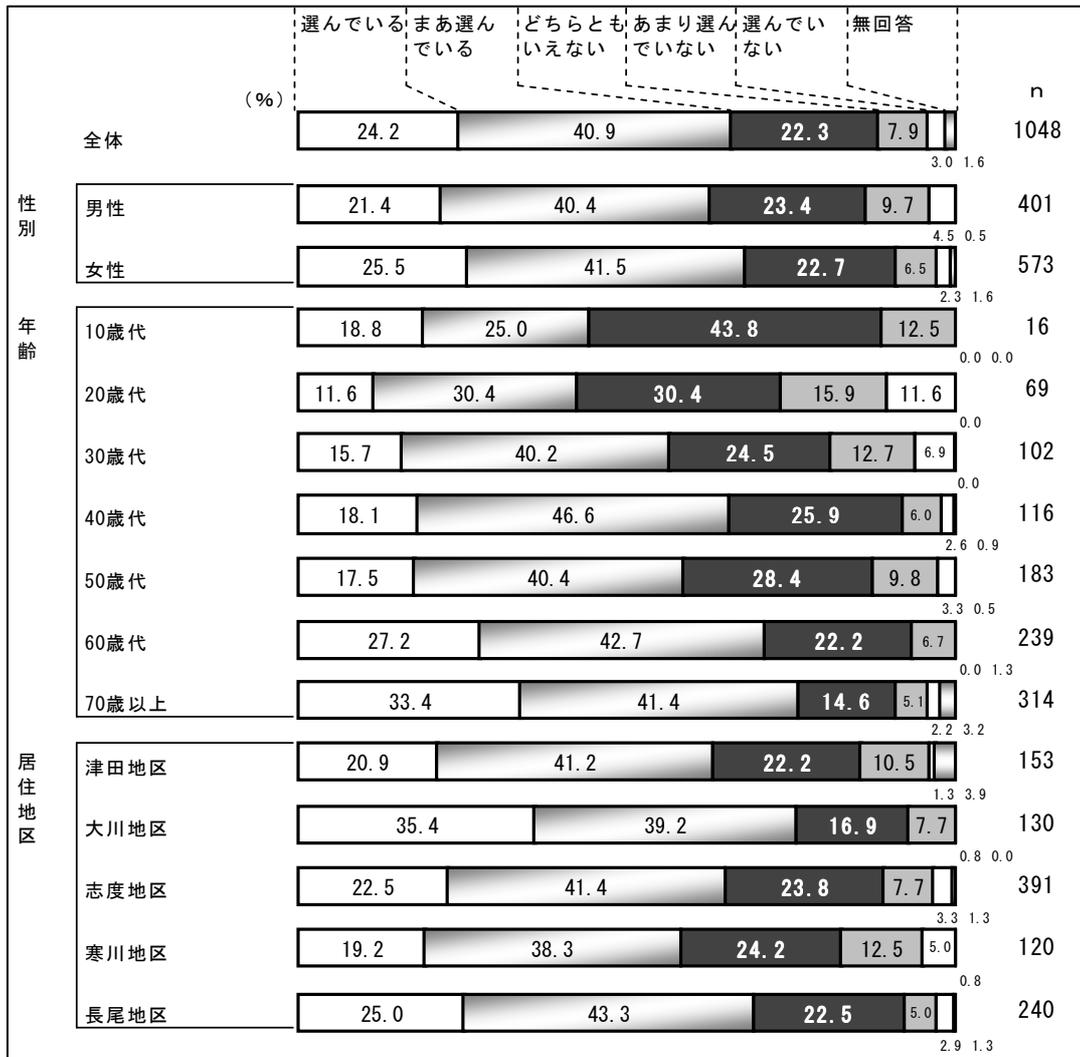
(7) 環境に配慮した製品を選んで購入しているか

問 26 7) 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいきますか。

- “選んでいる” が 65.1%、“選んでいない” が 10.9%。

環境に配慮した製品を選んで購入しているかどうかについては、「まあ選んでいる」(40.9%)、「選んでいる」(24.2%)、「どちらともいえない」(22.3%)、「あまり選んでいない」(7.9%)、「選んでいない」(3.0%)の順となっています。[図表 38 参照]

図表 38 環境に配慮した製品を選んで購入しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



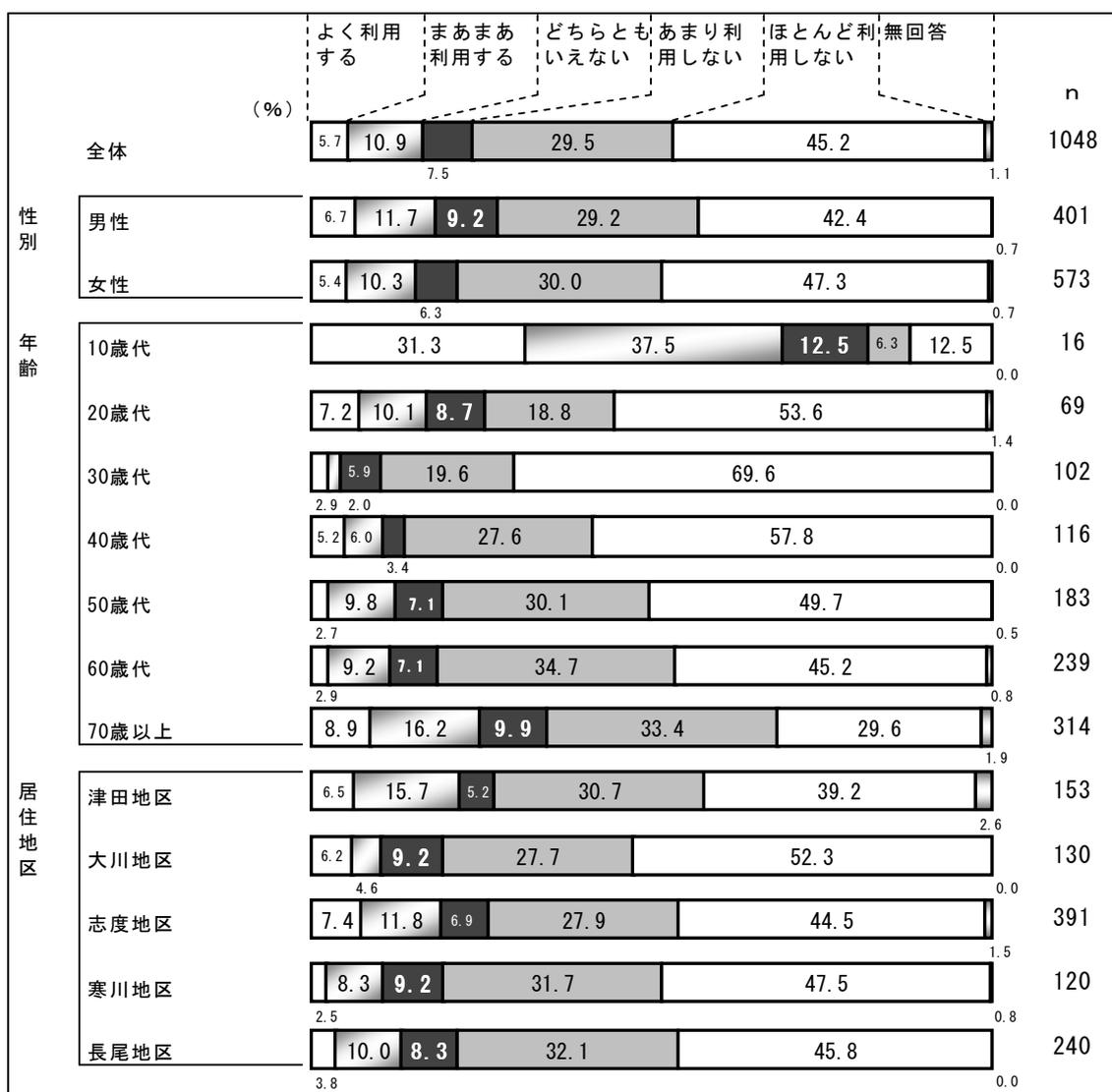
(8) できるだけ公共交通機関を利用しているか

問 26 8) ふだんは、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

- “利用する” が 16.6%、“利用しない” が 74.7%。

できるだけ公共交通機関を利用しているかどうかについては、「ほとんど利用しない」(45.2%)、「あまり利用しない」(29.5%)、「まあまあ利用する」(10.9%)、「どちらともいえない」(7.5%)、「よく利用する」(5.7%) の順となっています。[図表 39 参照]

図表 39 できるだけ公共交通機関を利用しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



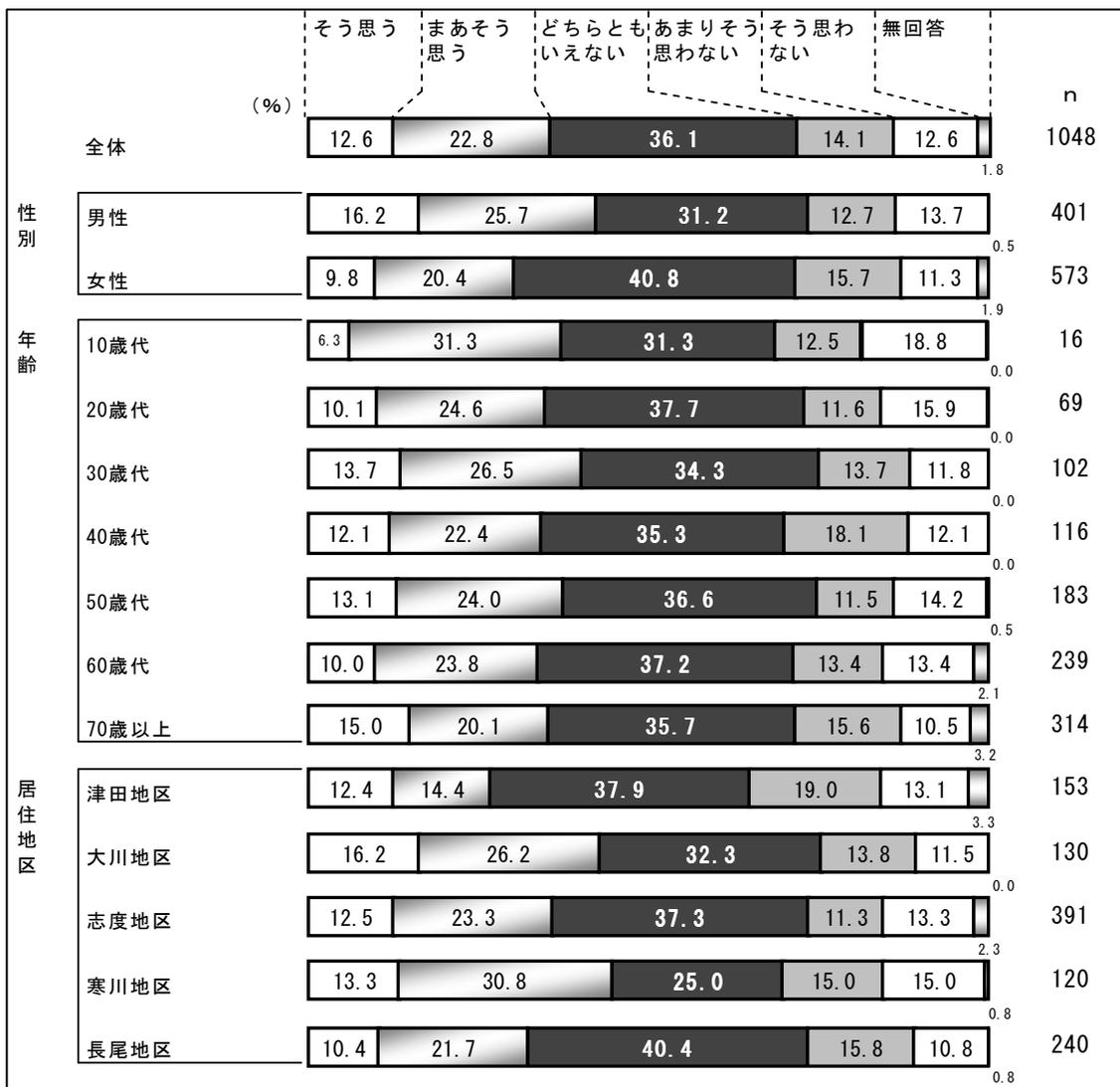
(9) 再生可能エネルギー利用のための費用負担の可否

問 26 9) 太陽光などの再生可能エネルギーを利用するために、費用を負担してもよいと思いますか。

● “そう思う” が 35.4%、“そう思わない” が 26.7%。

再生可能エネルギーを利用するために、費用を負担してもよいと思うかどうかたずねたところ、「どちらともいえない」(36.1%)、「まあそう思う」(22.8%)、「あまりそう思わない」(14.1%)、「そう思う」(12.6%)、「そう思わない」(12.6%)の順となっています。[図表 40 参照]

図表 40 再生可能エネルギー利用のための費用負担の可否 (全体・性別・年齢・居住地区)



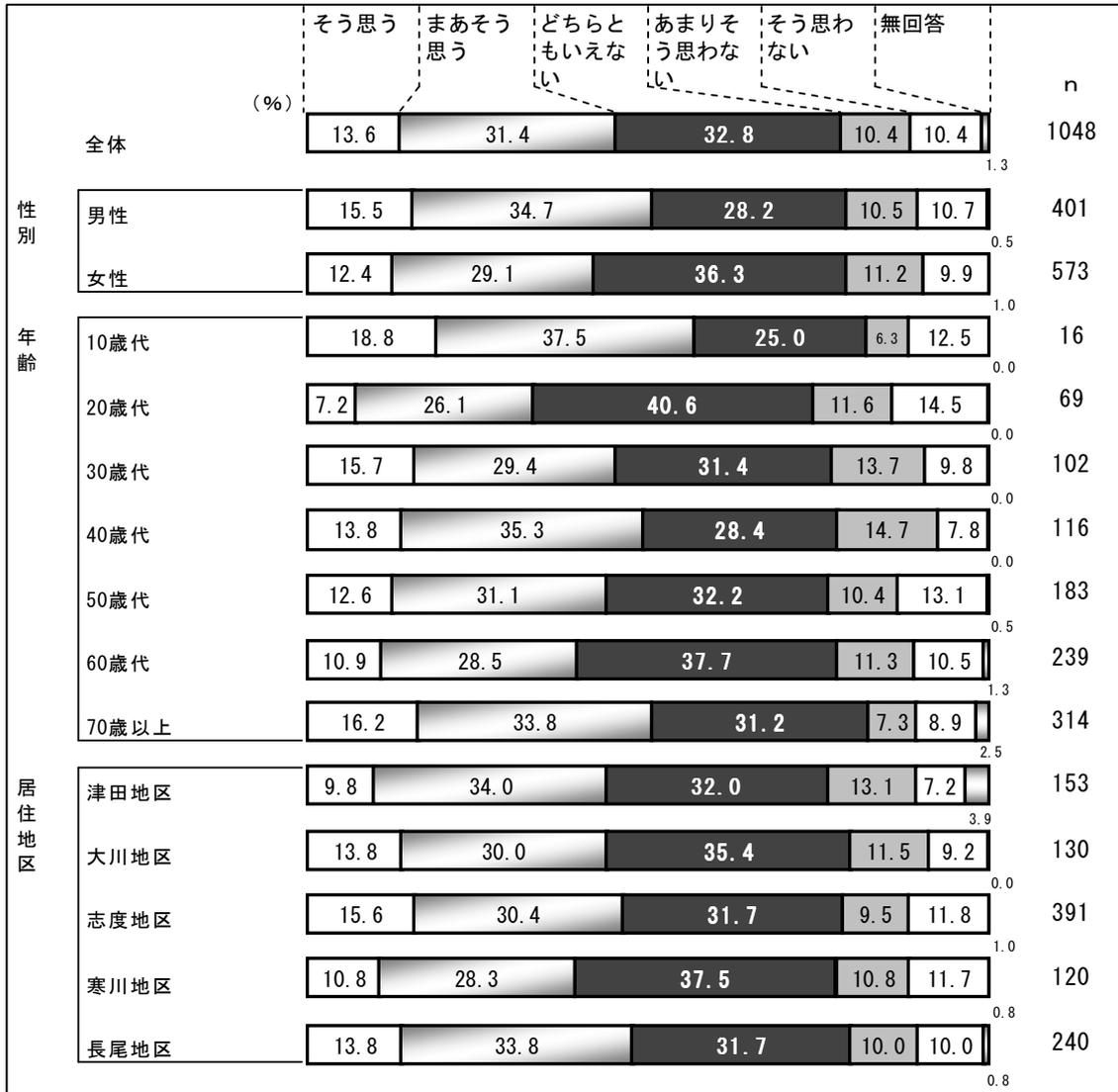
(10) 自然を守るためなら生活が不便でもよいか

問 26 10) 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか。

- “そう思う” が 45.0%、 “そう思わない” が 20.8%。

自然を守るためなら生活が不便でもよいかどうかについては、「どちらともいえない」(32.8%)、「まあそう思う」(31.4%)、「そう思う」(13.6%)、「あまりそう思わない」(10.4%)、「そう思わない」(10.4%)の順となっています。[図表 41 参照]

図表 41 自然を守るためなら生活が不便でもよいか (全体・性別・年齢・居住地区)



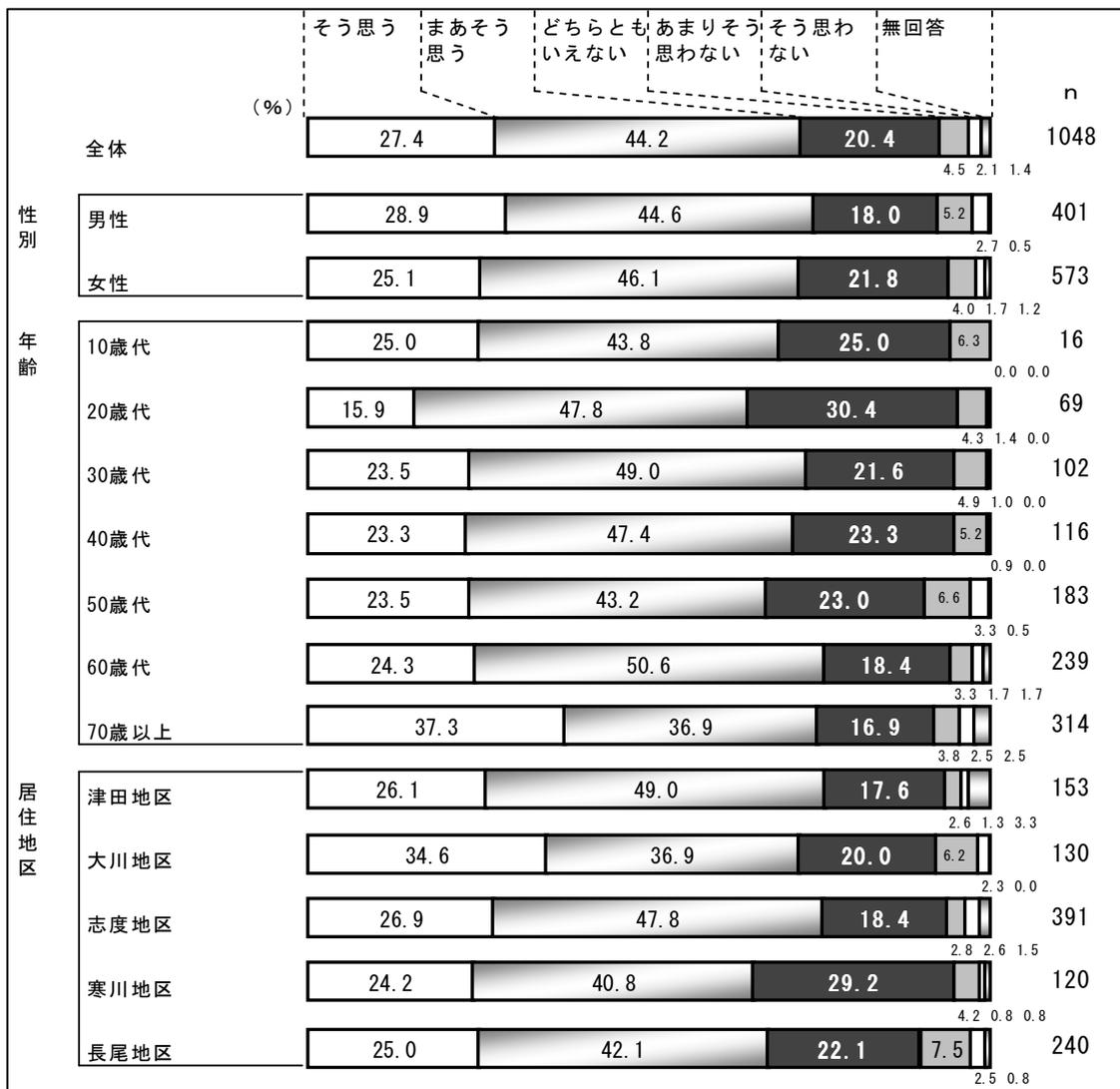
(11) 森・海を守るための取り組みに協力したいか

問 26 11) 森・海を守るための取り組みに協力したいと思いますか。

- “そう思う” が 71.6%、“そう思わない” が 6.6%。

森・海を守るための取り組みに協力したいかどうかについては、「まあそう思う」(44.2%)、「そう思う」(27.4%)、「どちらともいえない」(20.4%)、「あまりそう思わない」(4.5%)、「そう思わない」(2.1%)の順となっています。[図表 42 参照]

図表 42 森・海を守るための取り組みに協力したいか（全体・性別・年齢・居住地区）



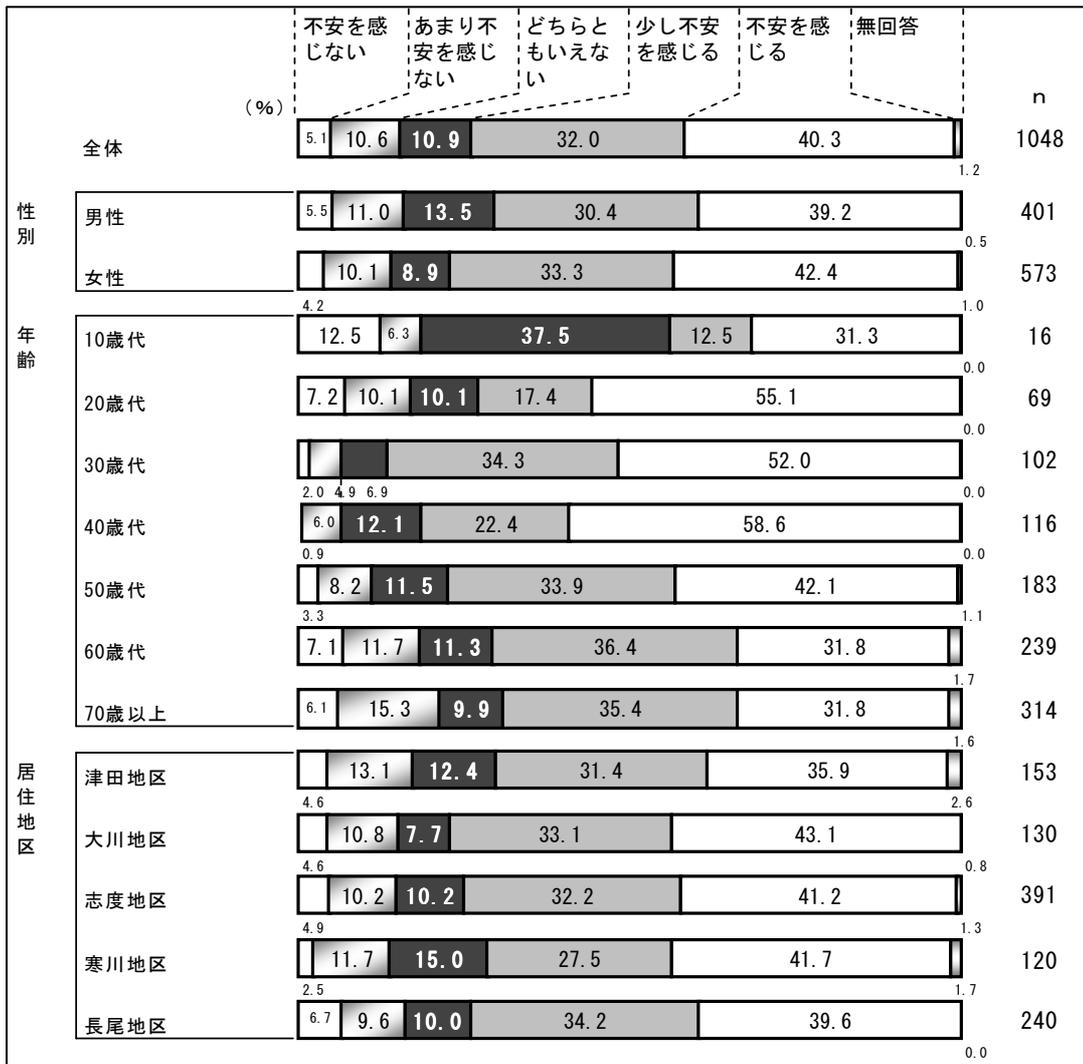
(12) 老後に不安を感じるか

問 26 12) 老後に不安を感じますか。

- “不安を感じない” が 15.7%、“不安を感じる” が 72.3%。

老後に不安を感じるかどうかについては、「不安を感じる」(40.3%)、「少し不安を感じる」(32.0%)、「どちらともいえない」(10.9%)、「あまり不安を感じない」(10.6%)、「不安を感じない」(5.1%) の順となっています。[図表 43 参照]

図表 43 老後に不安を感じるか (全体・性別・年齢・居住地区)



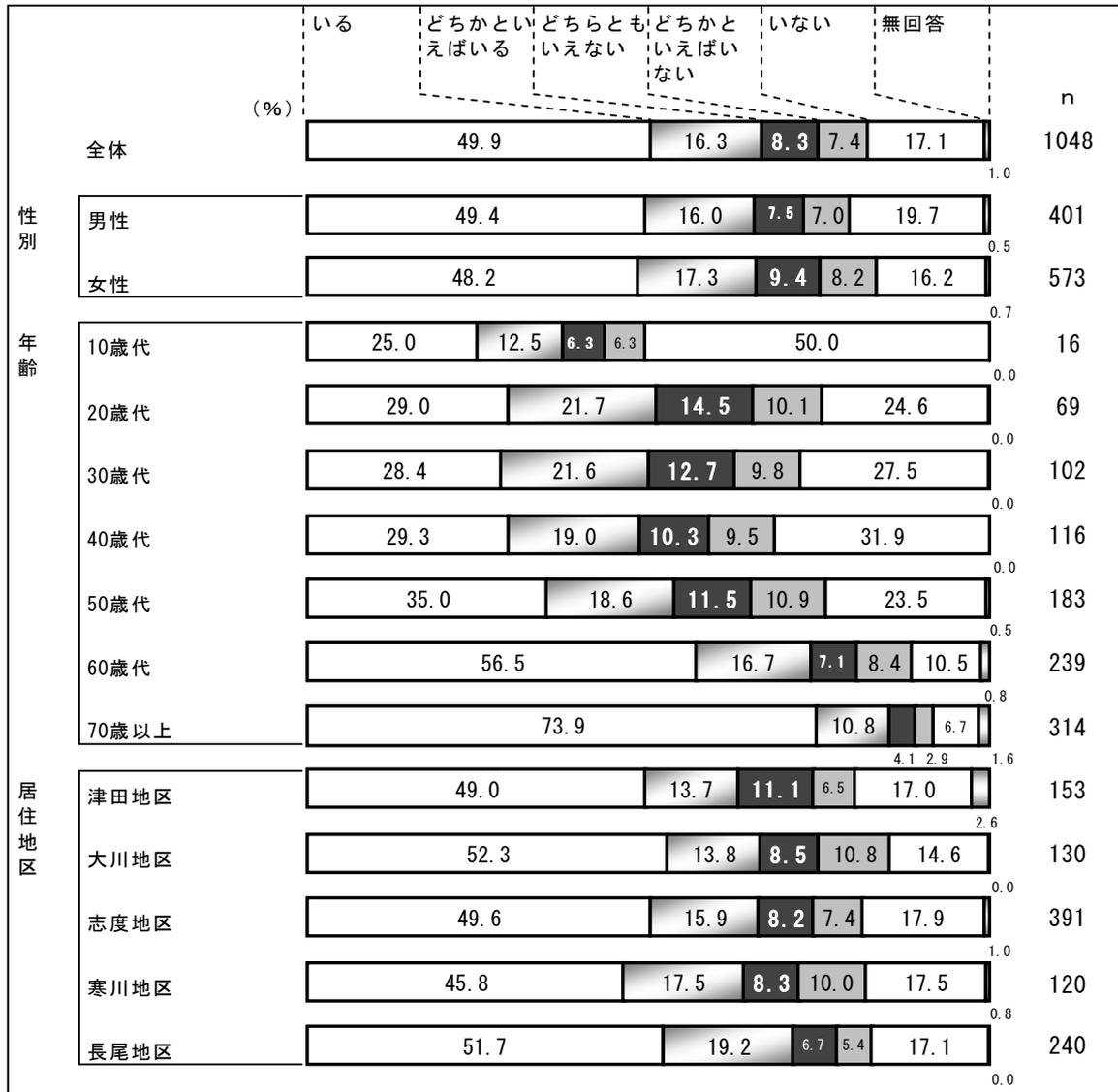
(13) かかりつけ医はいるか

問 26 13) かかりつけの医者はいますか。

- “いる” が 66.2%、“いない” が 24.5%。

かかりつけの医者があるかどうかについては、「いる」(49.9%)、「いない」(17.1%)、「どちらかといえはいる」(16.3%)、「どちらともいえない」(8.3%)、「どちらかといえはいない」(7.4%) の順となっています。[図表 44 参照]

図表 44 かかりつけ医はいるか（全体・性別・年齢・居住地区）



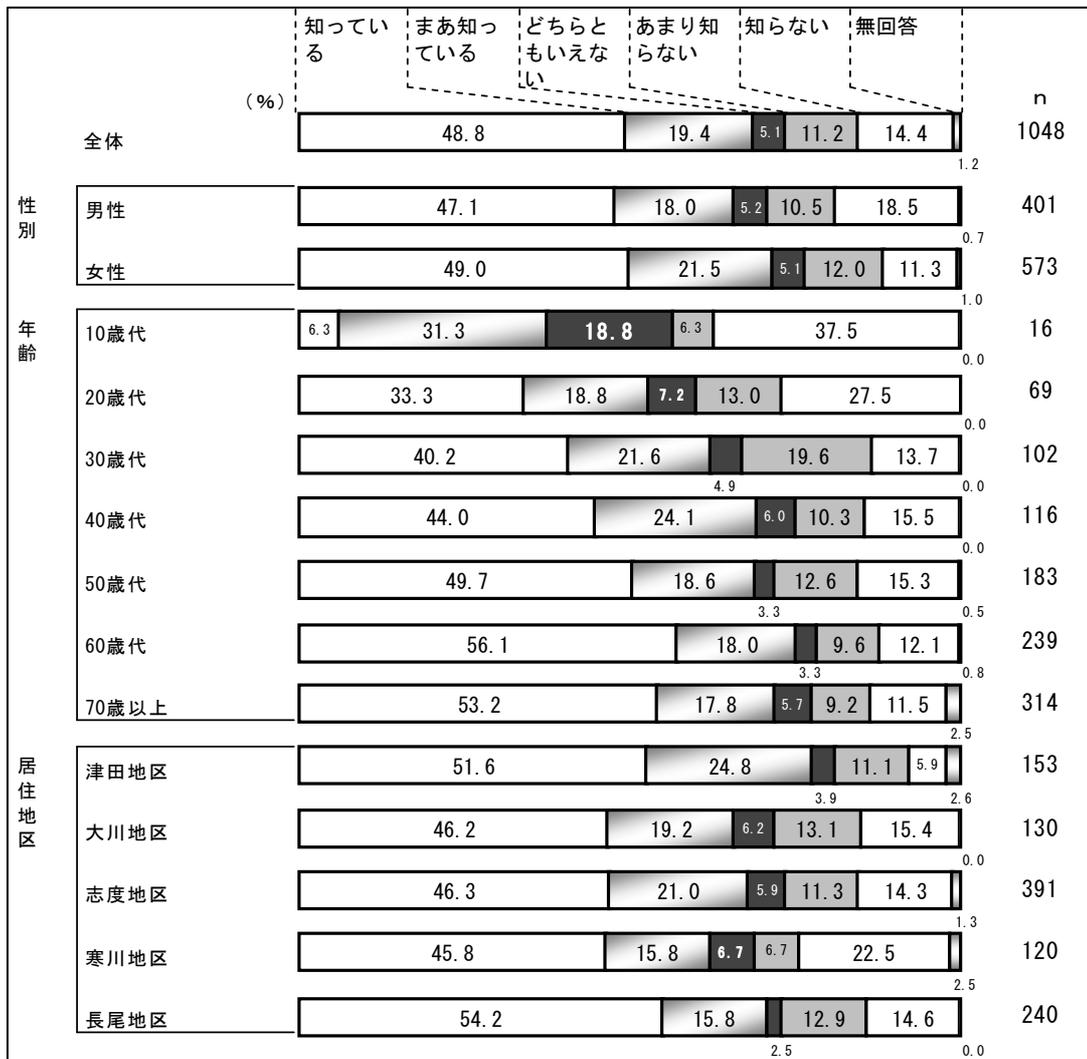
(14) 災害時の避難場所を知っているか

問 26 14) 災害時の避難場所を知っていますか。

- “知っている” が 68.2%、“知らない” が 25.6%。

災害時の避難場所を知っているかどうかについては、「知っている」(48.8%)、「まあ知っている」(19.4%)、「どちらともいえない」(5.1%)、「あまり知らない」(11.2%)、「知らない」(14.4%)、「無回答」(1.2%) の順となっています。[図表 45 参照]

図表 45 災害時の避難場所を知っているか (全体・性別・年齢・居住地区)



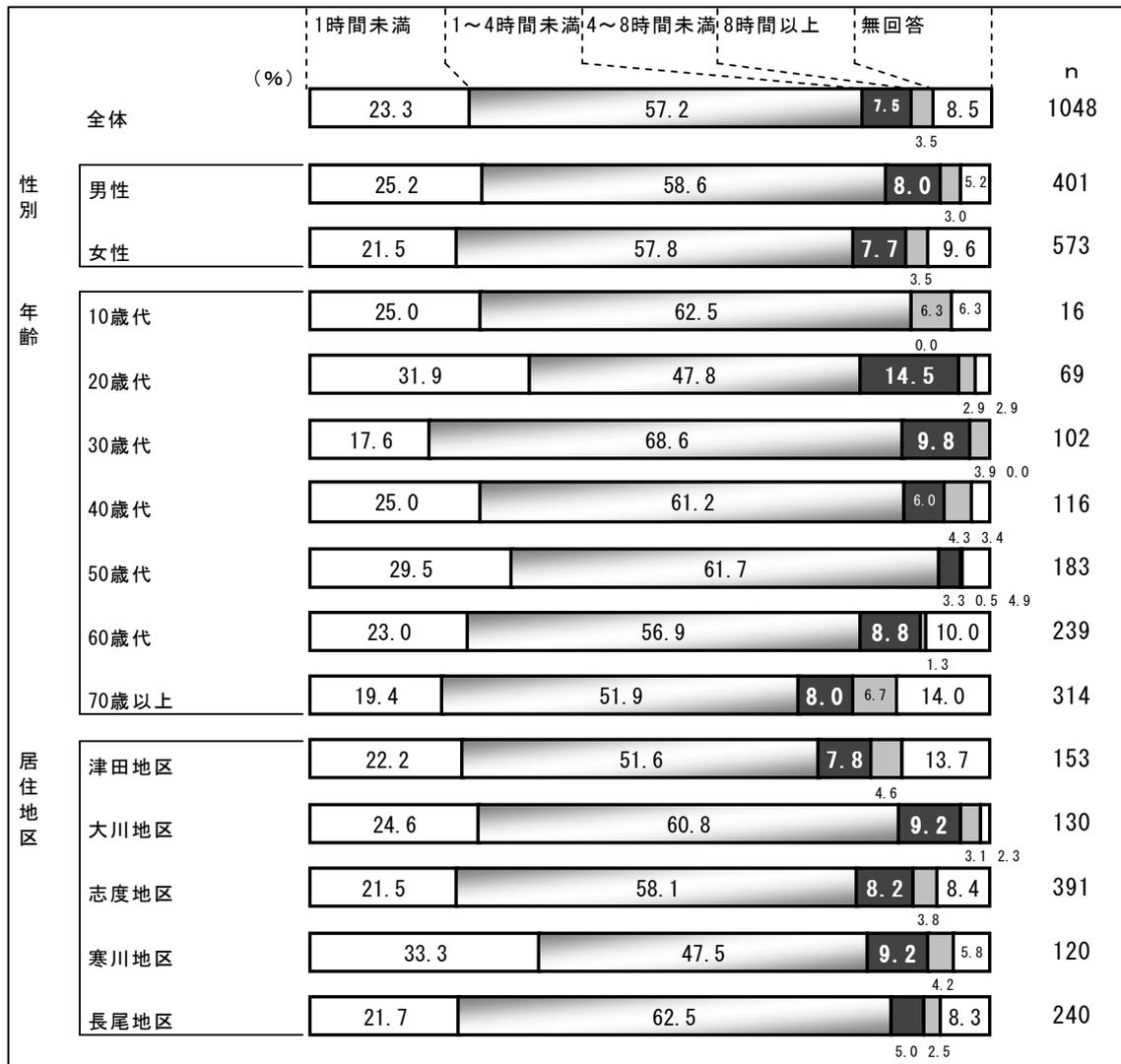
(15) 平日に家族で話をする時間

問7 15) 平日に家族で話をする時間はどのくらいですか。

- 「1～4時間未満」が57.2%で第1位。

平日に家族で話をする時間がどのくらいあるかについては、「1～4時間未満」(57.2%)、「1時間未満」(23.3%)、「4～8時間未満」(7.5%)、「8時間以上」(3.5%)の順となっています。[図表46参照]

図表46 平日に家族で話をする時間（全体・性別・年齢・居住地区）



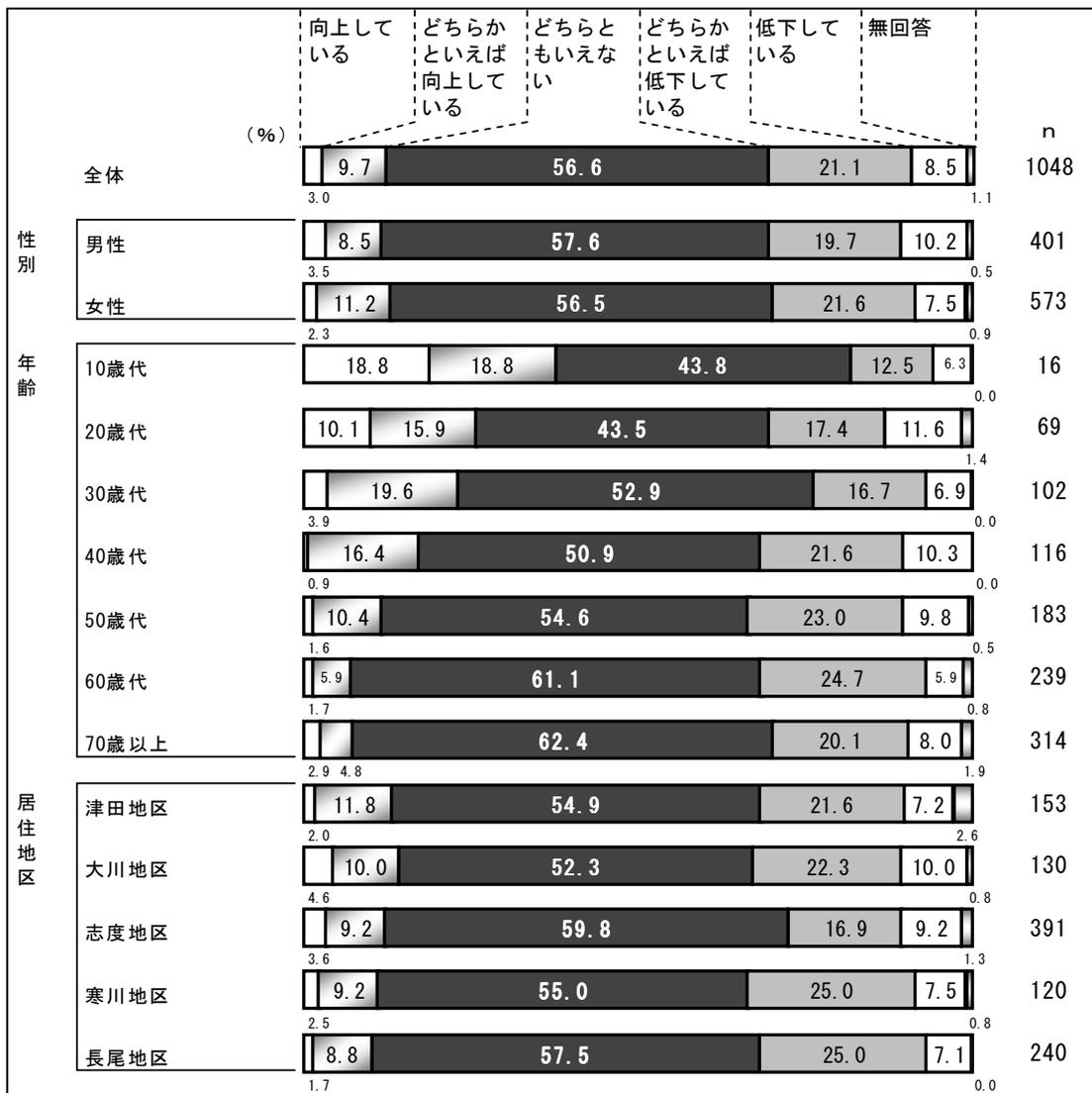
(16) 生活の状況は去年の今頃と比べてどうか

問 26 16) あなたの生活は、全体として、去年の今頃と比べてどうでしょうか。

- “向上している”が12.7%、“低下している”が29.6%。

生活の状況は、全体として、去年の今頃と比べてどうかについては、「どちらともいえない」(56.6%)、「どちらかといえば低下している」(21.1%)、「どちらかといえば向上している」(9.7%)、「低下している」(8.5%)、「向上している」(3.0%)の順となっています。[図表 47 参照]

図表 47 生活の状況は去年の今頃と比べてどうか（全体・性別・年齢・居住地区）



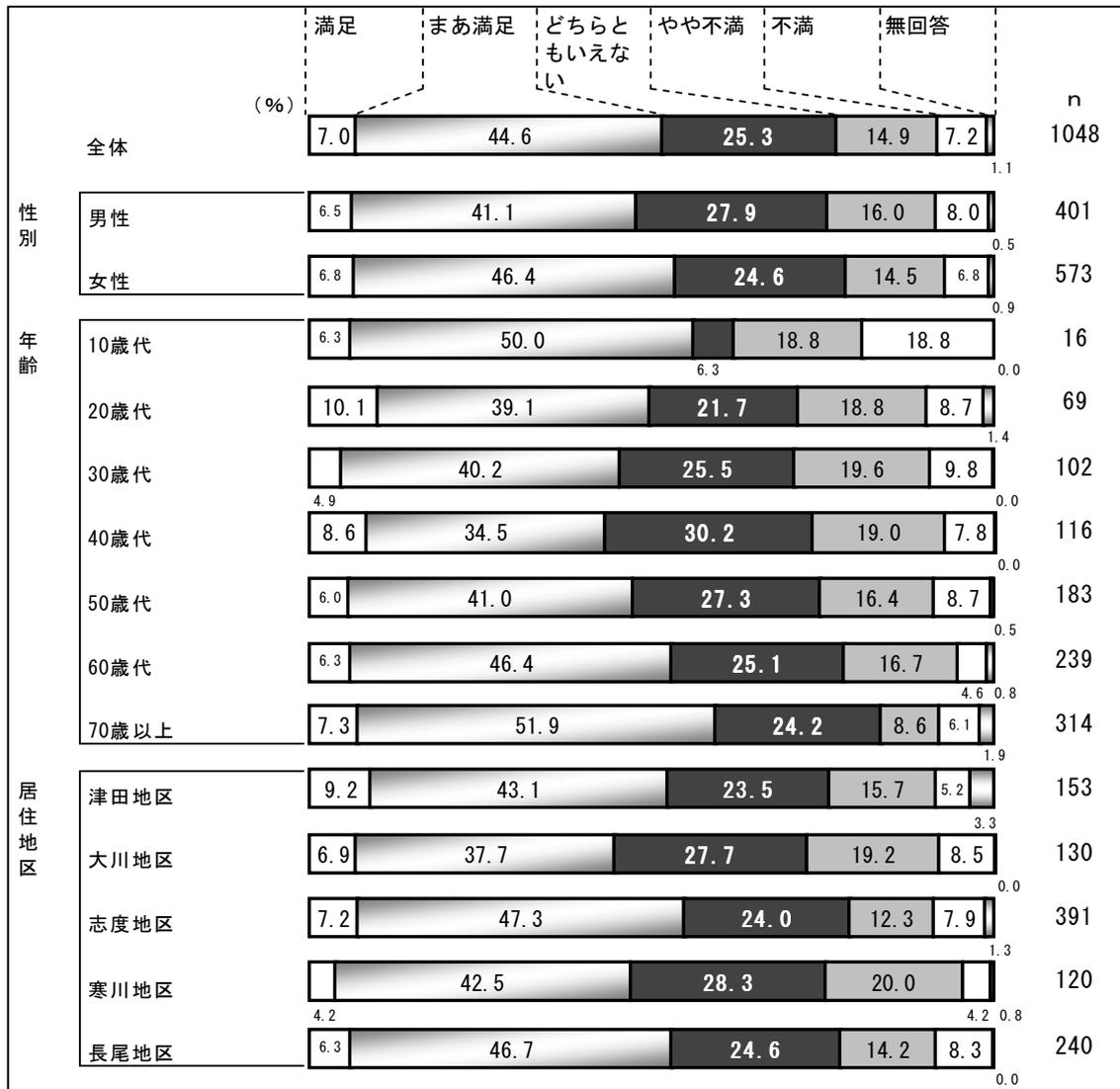
(17) 全体として今の生活にどの程度満足か

問 26 17) あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。

● “満足” が 51.6%、“不満” が 22.1%。

全体として今の生活にどの程度満足かは、「まあ満足」(44.6%)、「どちらともいえない」(25.3%)、「やや不満」(14.9%)、「不満」(7.2%)、「満足」(7.0%)の順となっています。[図表 48 参照]

図表 48 全体として今の生活にどの程度満足か（全体・性別・年齢・居住地区）



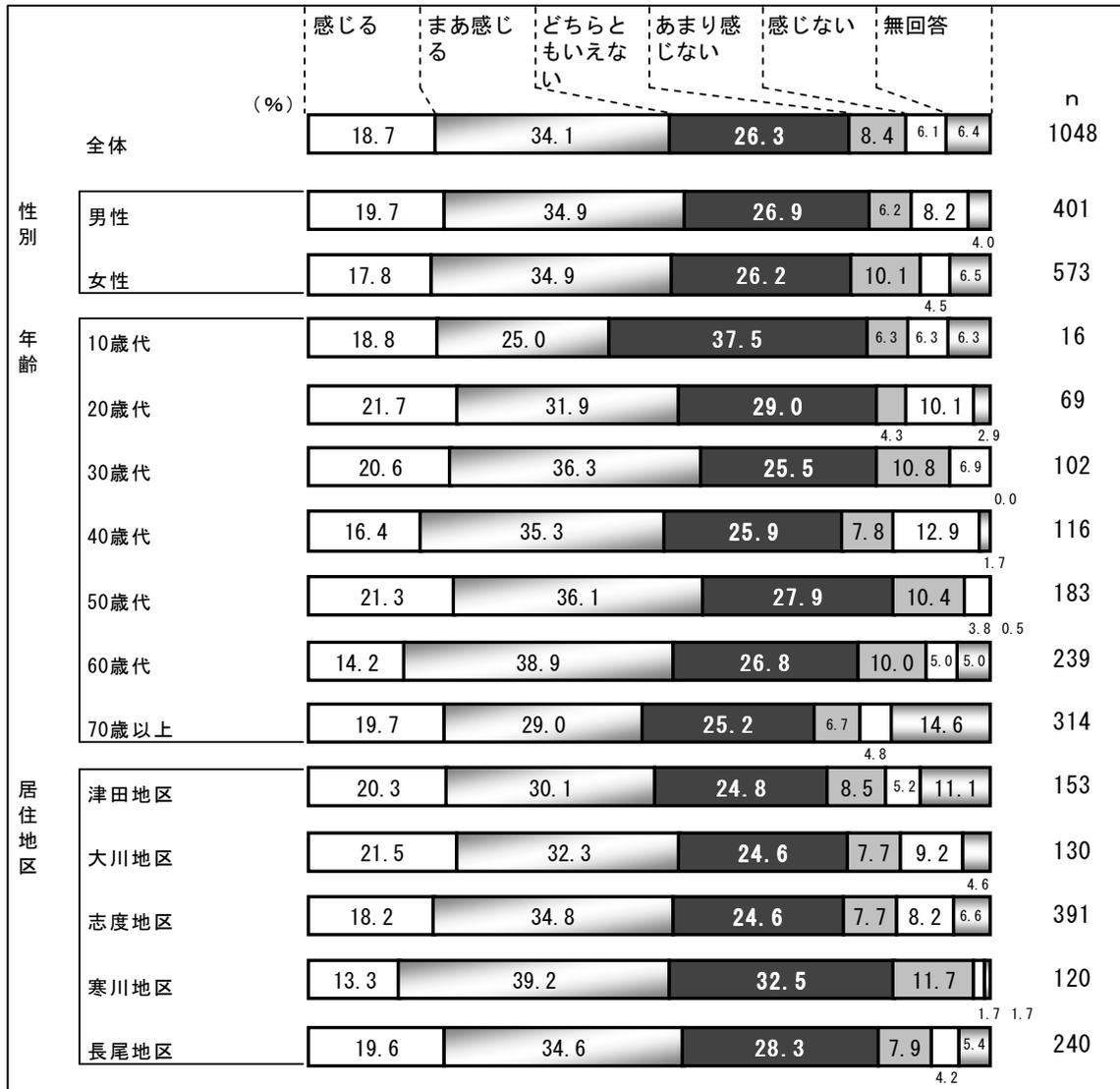
(18) 自分のしごとにやりがいを感じるか

問 26 18) 自分のしごとにやりがいを感じますか。

- “感じる” が 52.8%、“感じない” が 14.5%。

自分のしごとにやりがいを感じるかについては、「まあ感じる」(34.1%)、「どちらともいえない」(26.3%)、「感じる」(18.7%)、「あまり感じない」(8.4%)、「感じない」(6.1%)の順となっています。[図表 49 参照]

図表 49 自分のしごとにやりがいを感じるか (全体・性別・年齢・居住地区)



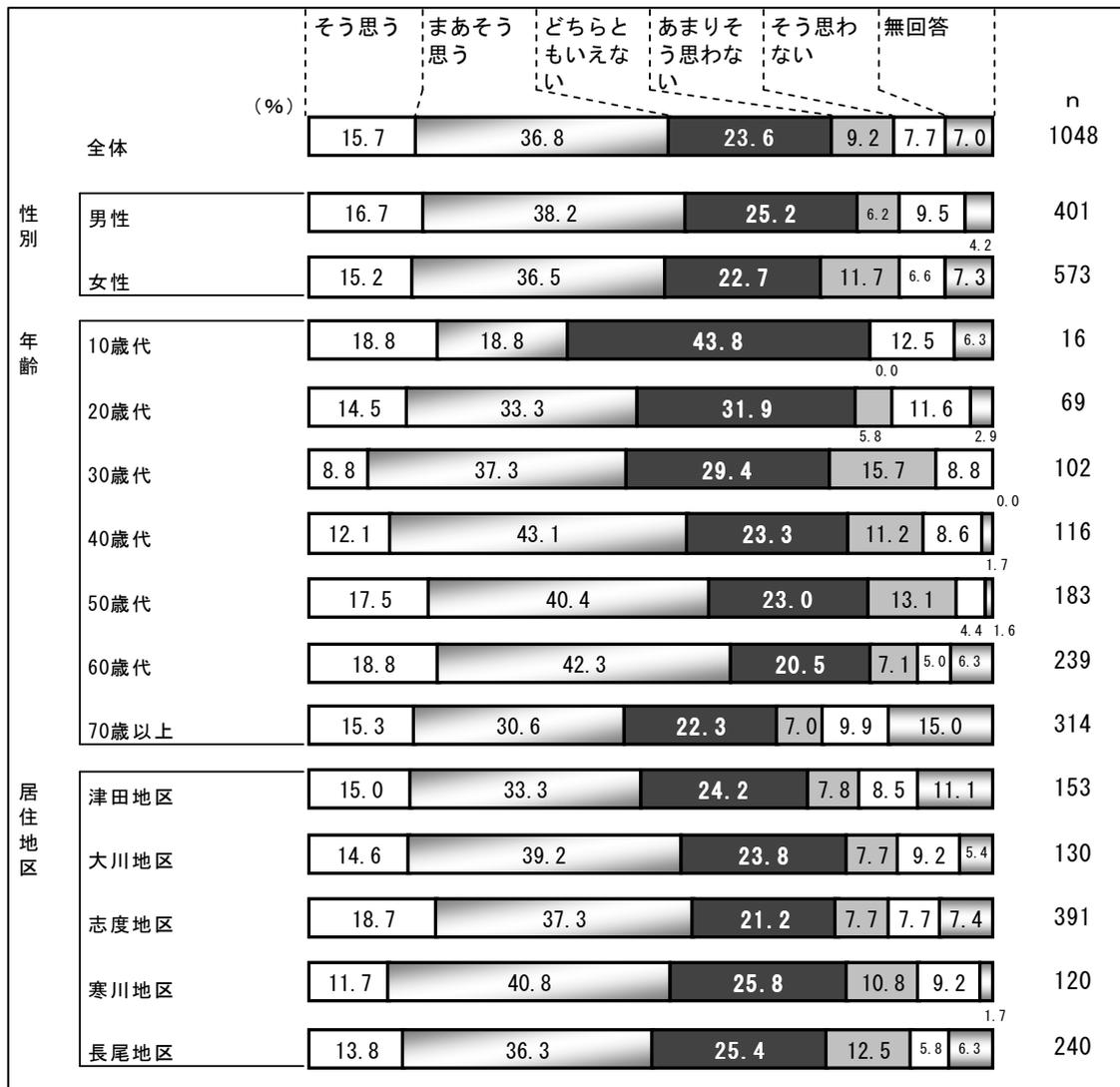
(19) しごとと自分の生活の両立ができているか

問 26 19) しごとと自分の生活の両立ができていると思いますか。

- “そう思う” が 52.5%、“そう思わない” が 16.9%。

しごとと自分の生活の両立ができているかどうかについては、「まあそう思う」(36.8%)、「どちらともいえない」(23.6%)、「そう思う」(15.7%)、「あまりそう思わない」(9.2%)、「そう思わない」(7.7%)の順となっています。[図表 50 参照]

図表 50 しごとと自分の生活の両立ができているか（全体・性別・年齢・居住地区）



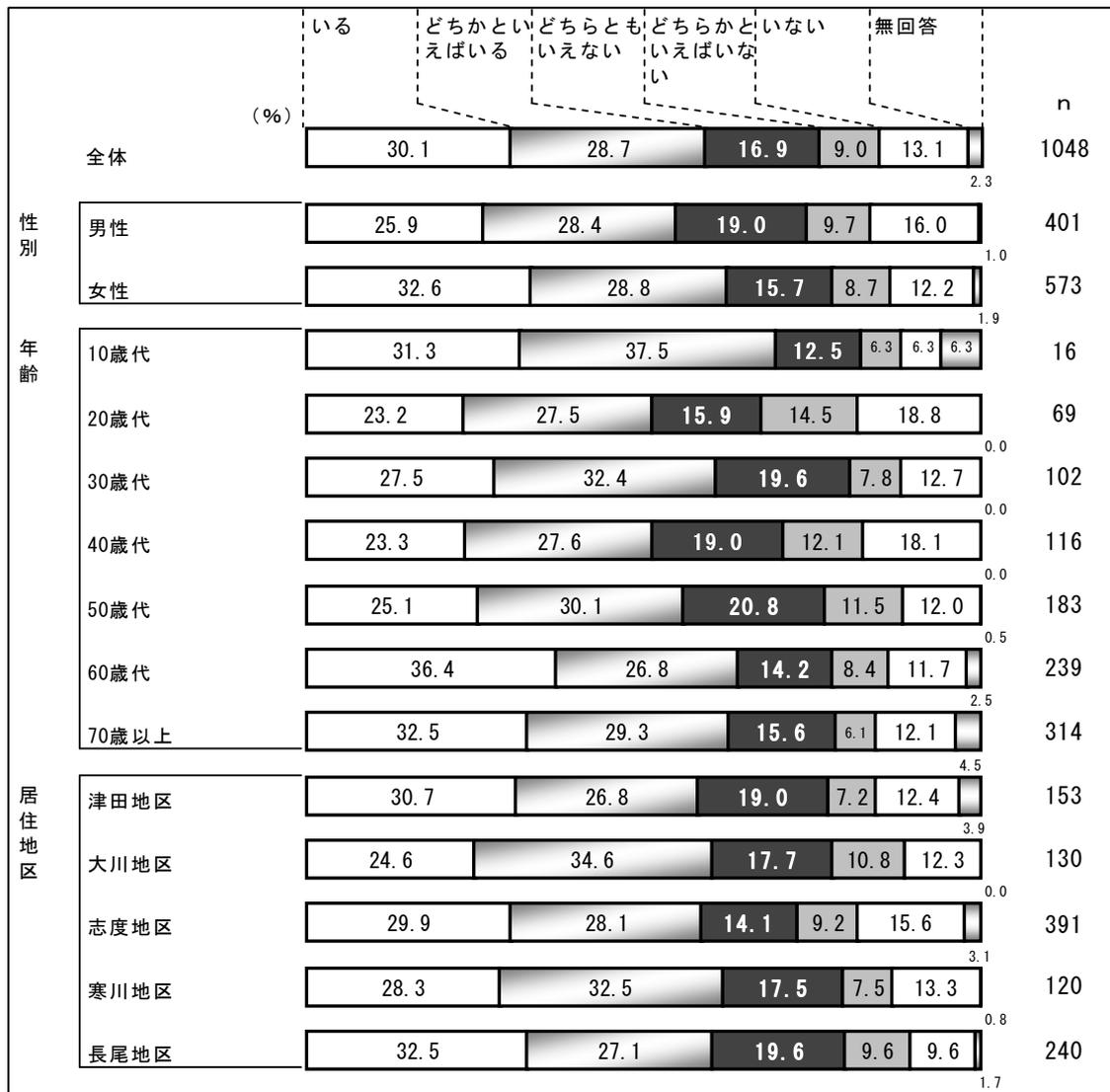
(20) 頼りになる知り合いが近所にいるか

問 26 20) 頼りになる知り合いが近所にいますか。

- “いる” が 58.8%、“いない” が 22.1%。

頼りになる知り合いが近所にいるかどうかについては、「いる」(30.1%)、「どちらかといえばいる」(28.7%)、「どちらともいえない」(16.9%)、「いない」(9.0%)、「どちらかといえばいない」(13.1%)、「無回答」(2.3%)の順となっています。[図表 51 参照]

図表 51 頼りになる知り合いが近所にいるか (全体・性別・年齢・居住地区)



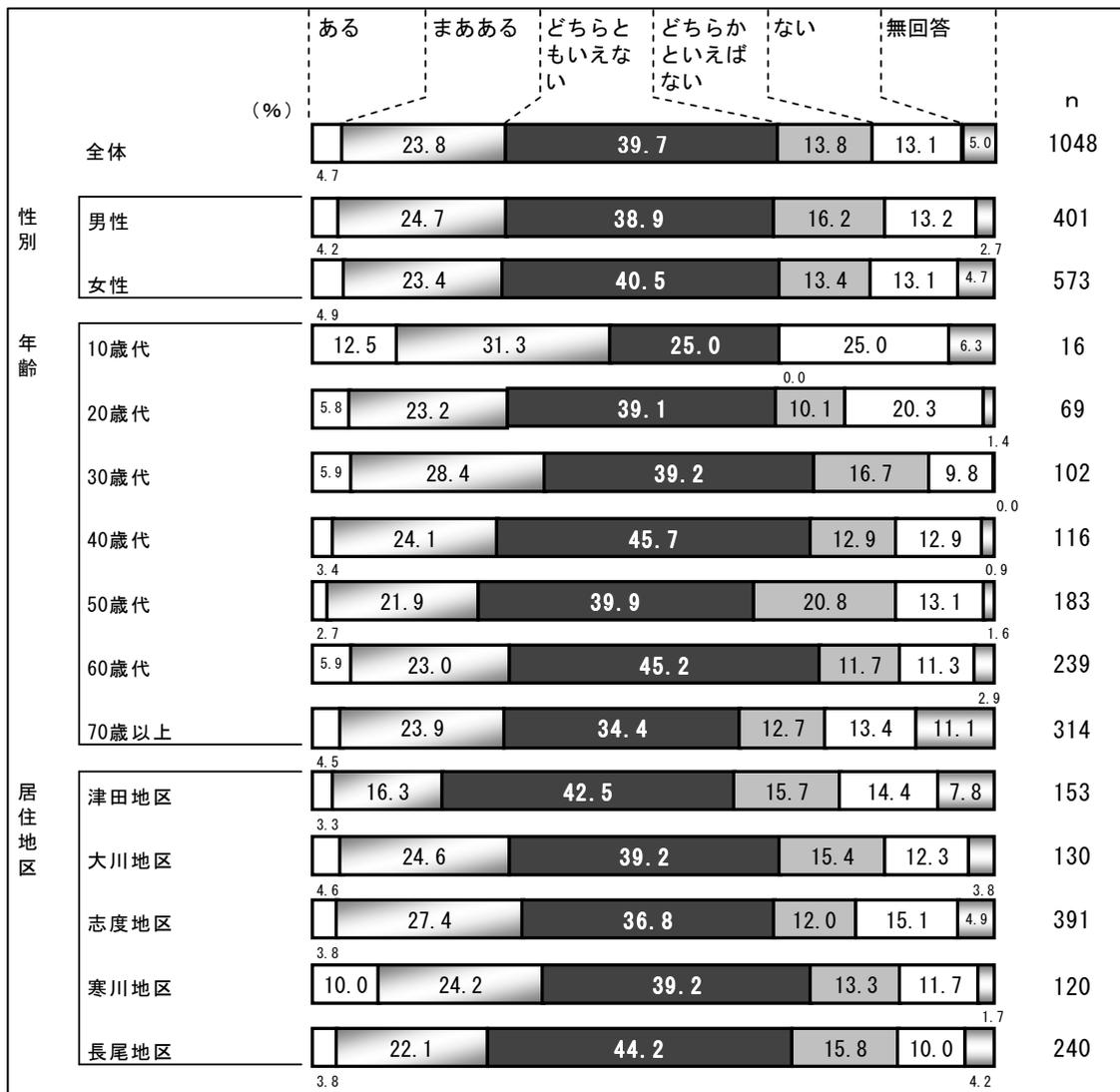
(21) 子育てを地域で支え合う雰囲気があるか

問 26 21) 子育てについて地域で支え合う雰囲気がありますか。

- “ある” が 28.5%、“ない” が 26.9%。

子育てを地域で支え合う雰囲気があるかどうかについては、「どちらともいえない」(39.7%)、「まあある」(23.8%)、「どちらかといえはない」(13.8%)、「ない」(13.1%)、「ある」(4.7%) の順となっています。[図表 52 参照]

図表 52 子育てを地域で支え合う雰囲気があるか（全体・性別・年齢・居住地区）



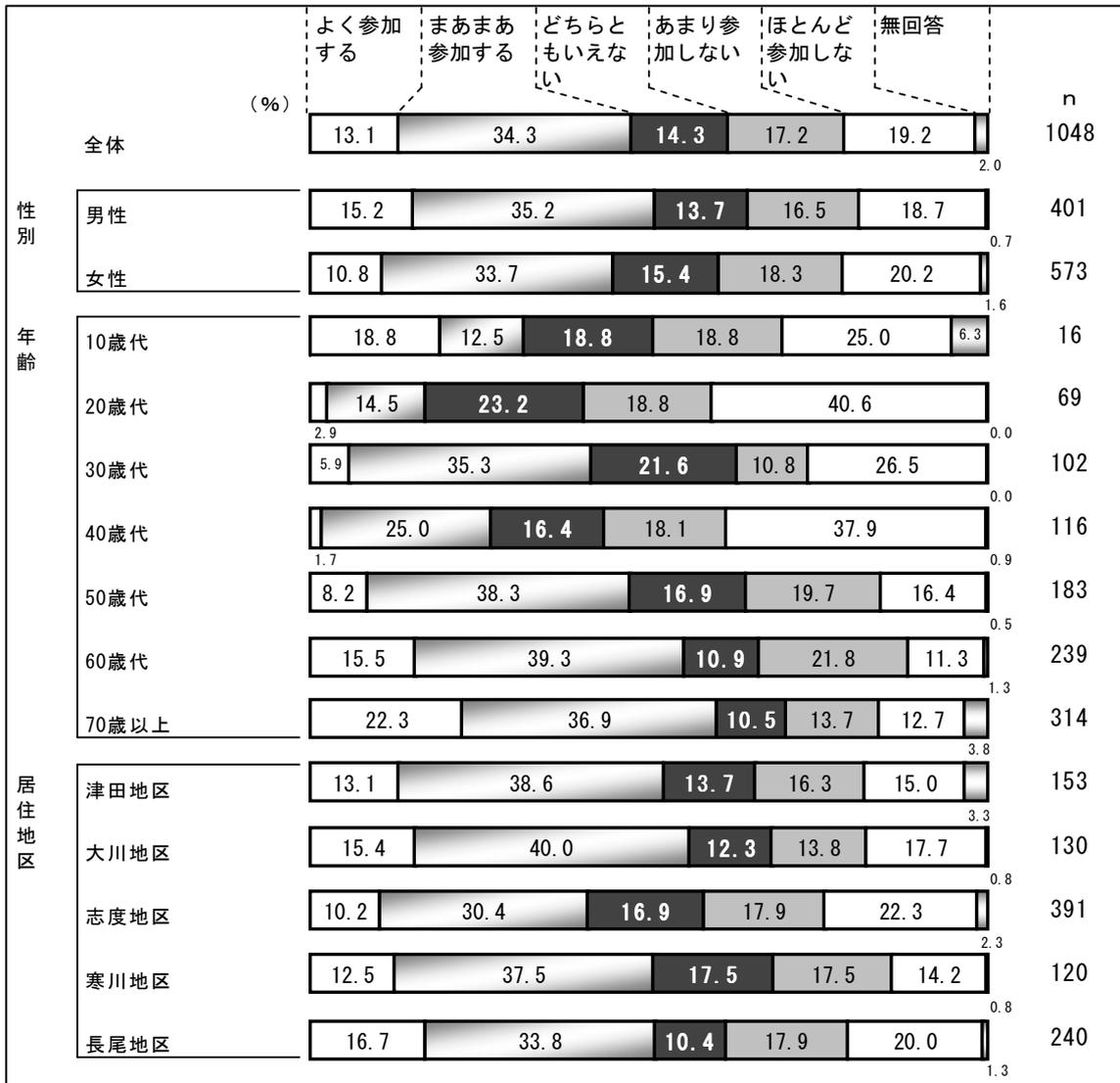
(22) 地域の行事によく参加するか

問 26 22) 地域の行事によく参加しますか。

- “参加する” が 47.4%、“参加しない” が 36.4%。

地域の行事によく参加するかどうかについては、「まあまあ参加する」(34.3%)、「ほとんど参加しない」(19.2%)、「あまり参加しない」(17.2%)、「どちらともいえない」(14.3%)、「よく参加する」(13.1%) の順となっています。[図表 53 参照]

図表 53 地域の行事によく参加するか（全体・性別・年齢・居住地区）



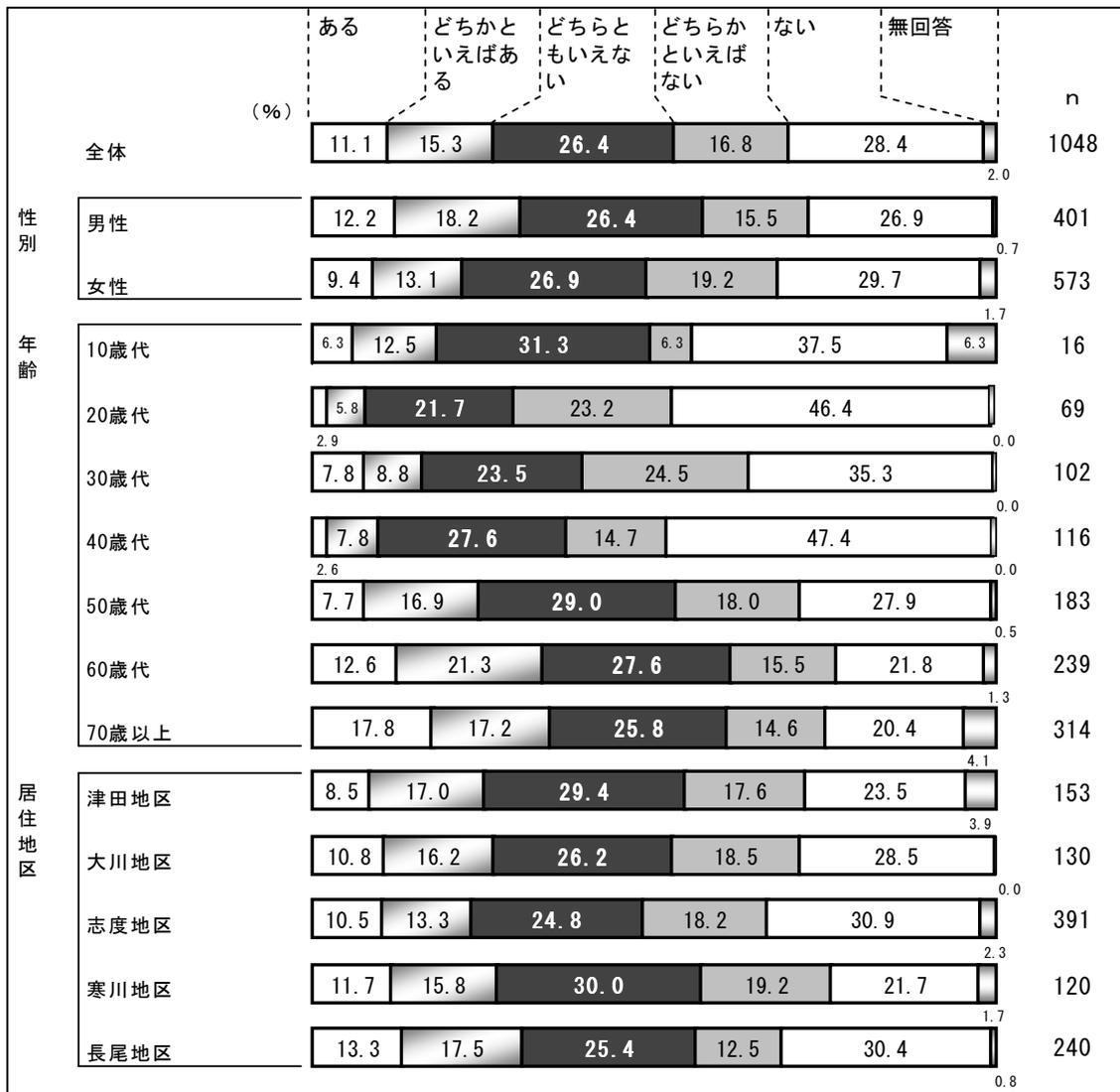
(23) 地域に自分の活躍の場があるか

問 26 23) 地域に自分の活躍の場がありますか。

- “ある” が 26.4%、“ない” が 45.2%。

地域に自分の活躍の場があるかどうかについては、「ない」(28.4%)、「どちらともいえない」(26.4%)、「どちらかといえばない」(16.8%)、「どちらかといえばある」(15.3%)、「ある」(11.1%)の順となっています。[図表 54 参照]

図表 54 地域に自分の活躍の場があるか（全体・性別・年齢・居住地区）



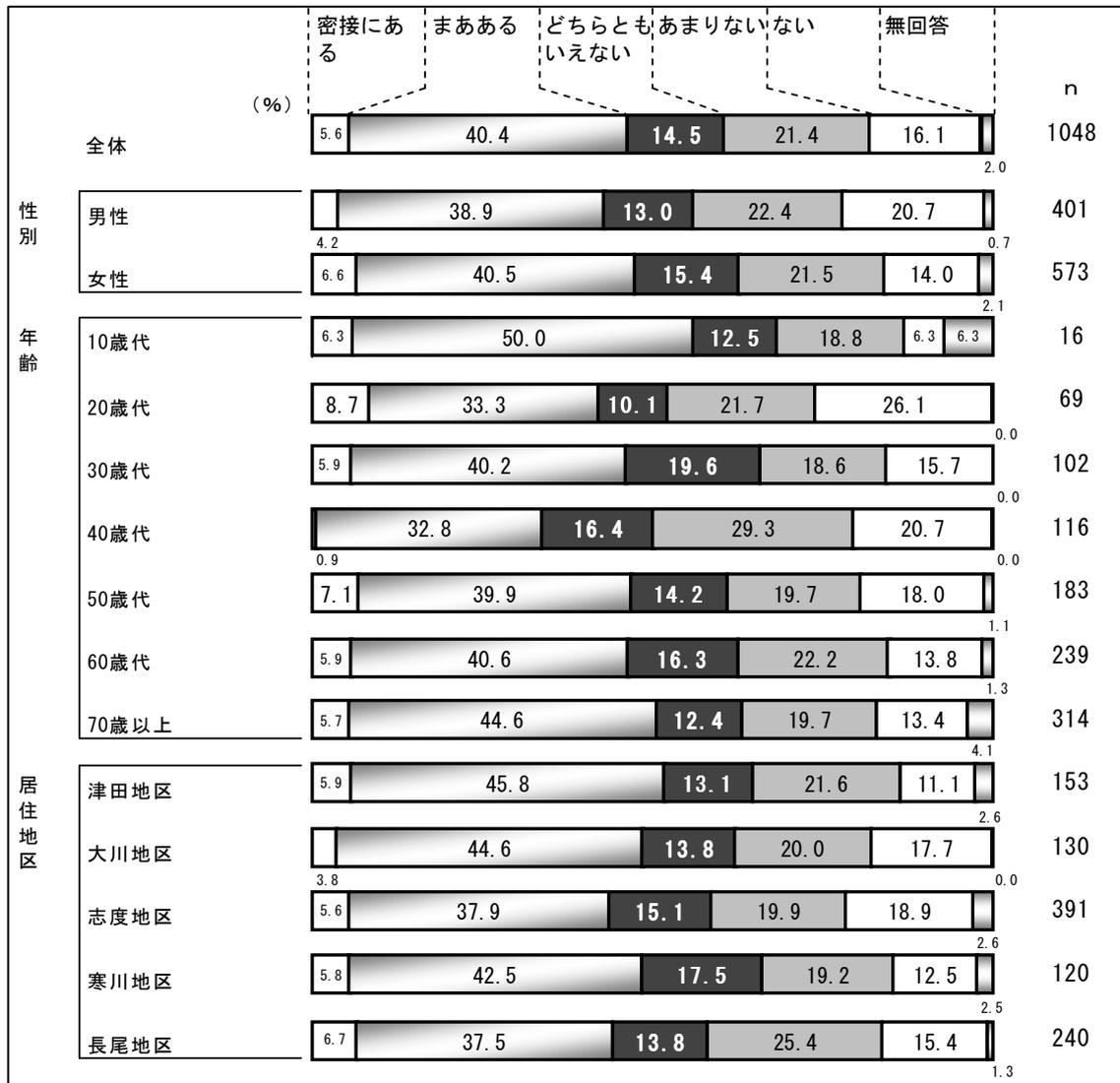
(24) 地域内の異なる世代の人とのつきあいの程度

問 26 24) 地域内の異なる世代の人とつきあいがありますか。

- “ある” が 46.0%、“ない” が 37.5%。

地域の異なる世代の人とつきあいがあるかどうかについては、「まあある」(40.4%)、「あまりない」(21.4%)、「ない」(16.1%)、「どちらともいえない」(14.5%)、「密接にある」(5.6%) の順となっています。[図表 55 参照]

図表 55 地域内の異なる世代の人とのつきあいの程度 (全体・性別・年齢・居住地区)



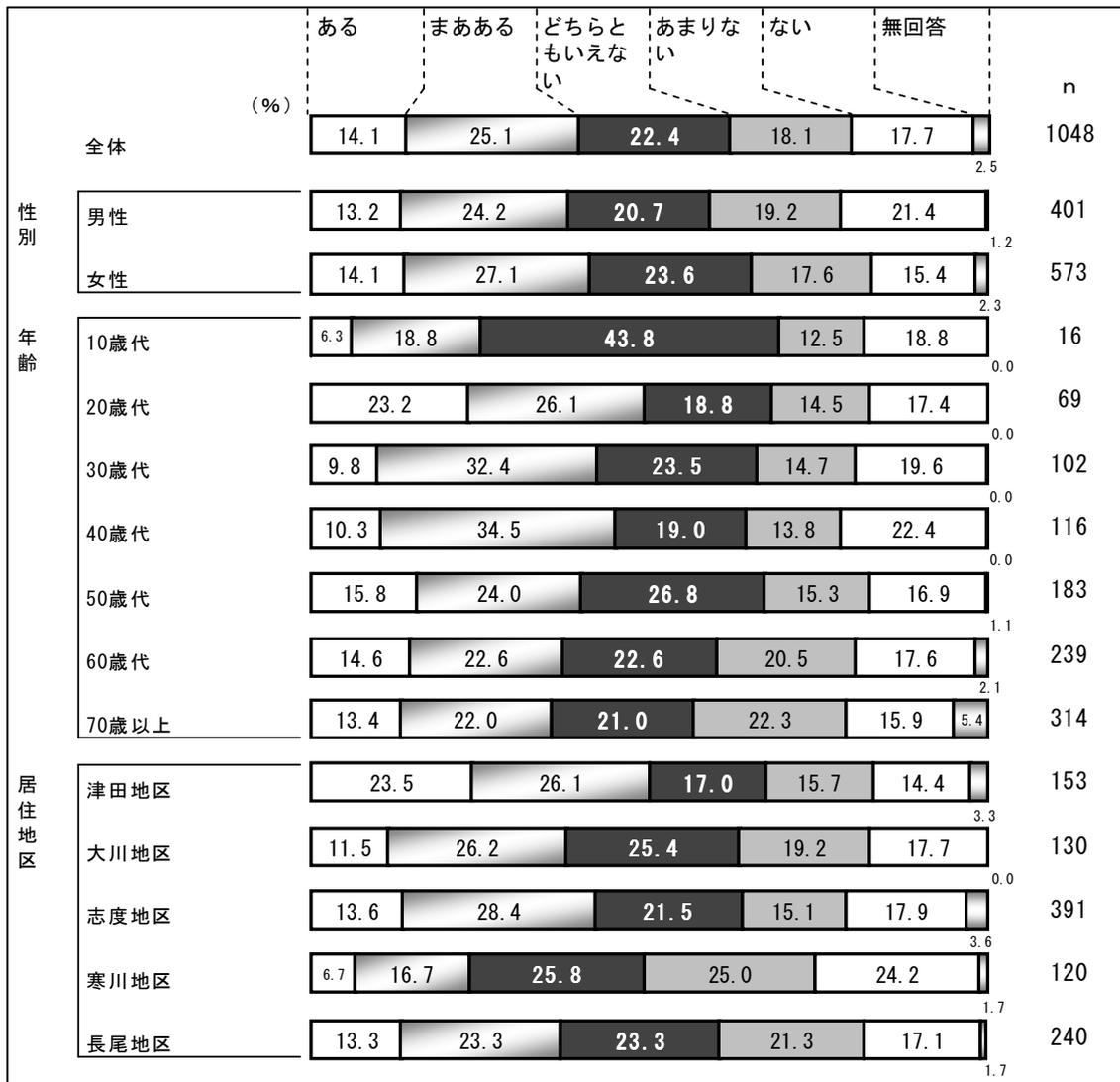
(25) 自慢したい地域の風景や名所があるか

問 26 25) 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

- “ある” が 39.2%、“ない” が 35.8%。

自慢したい地域の風景や名所があるかどうかについては、「まあある」(25.1%)、「どちらともいえない」(22.4%)、「あまりない」(18.1%)、「ない」(17.7%)、「ある」(14.1%) の順となっています。[図表 56 参照]

図表 56 自慢したい地域の風景や名所があるか (全体・性別・年齢・居住地区)



(26) 地元や県内産農・水産物を購入しているか

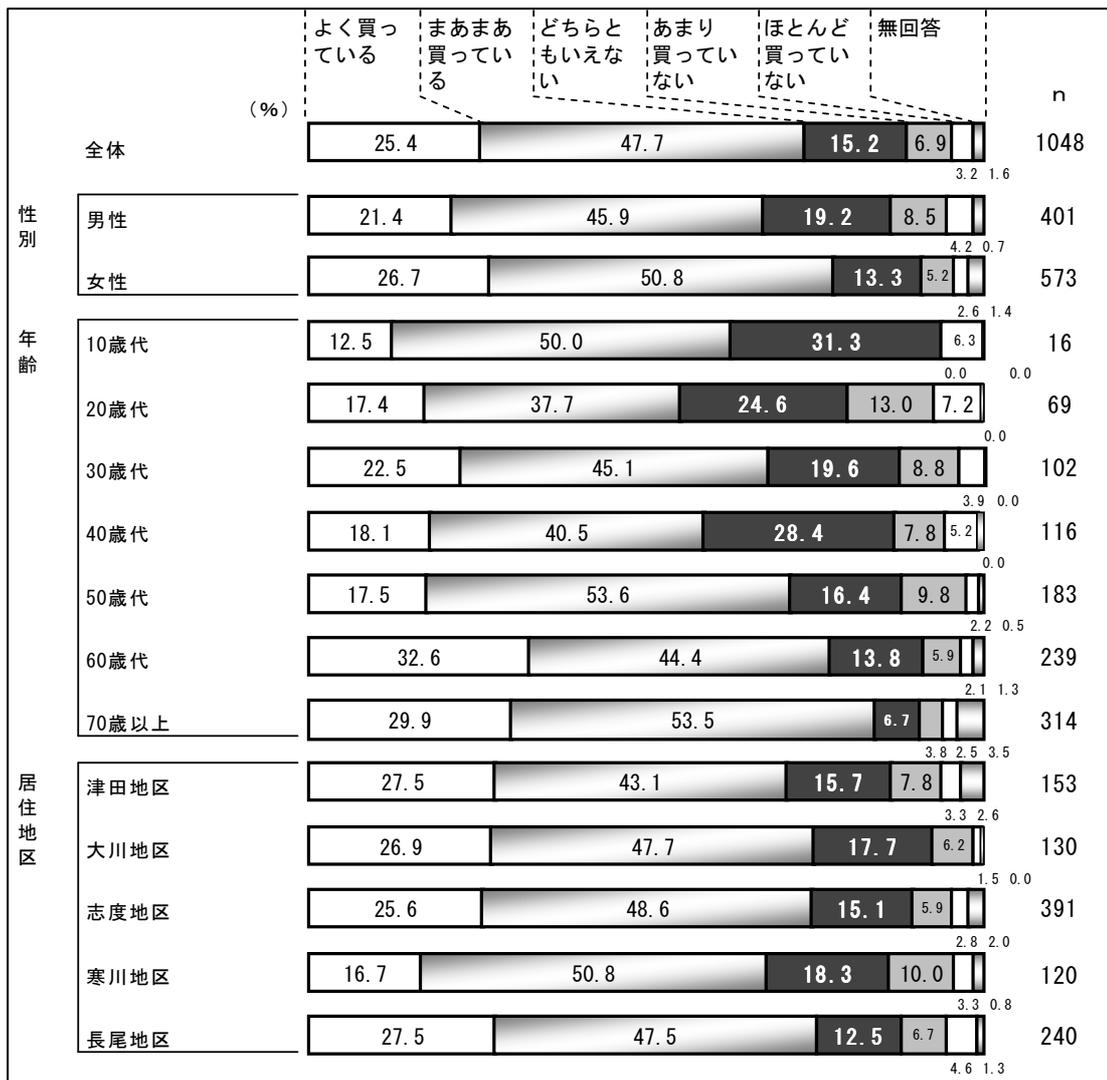
問 26 26) 地元や県内でとれた農・水産物を買っていますか。

- “買っている” が 73.1%、“買っていない” が 10.1%。

地元や県内産農・水産物を購入しているかどうかについては、「まあまあ買っている」(47.7%)、「よく買っている」(25.4%)、「どちらともいえない」(15.2%)、「あまり買っていない」(6.9%)、「ほとんど買っていない」(3.2%) の順となっています。

[図表 57 参照]

図表 57 地元や県内産農・水産物を購入しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



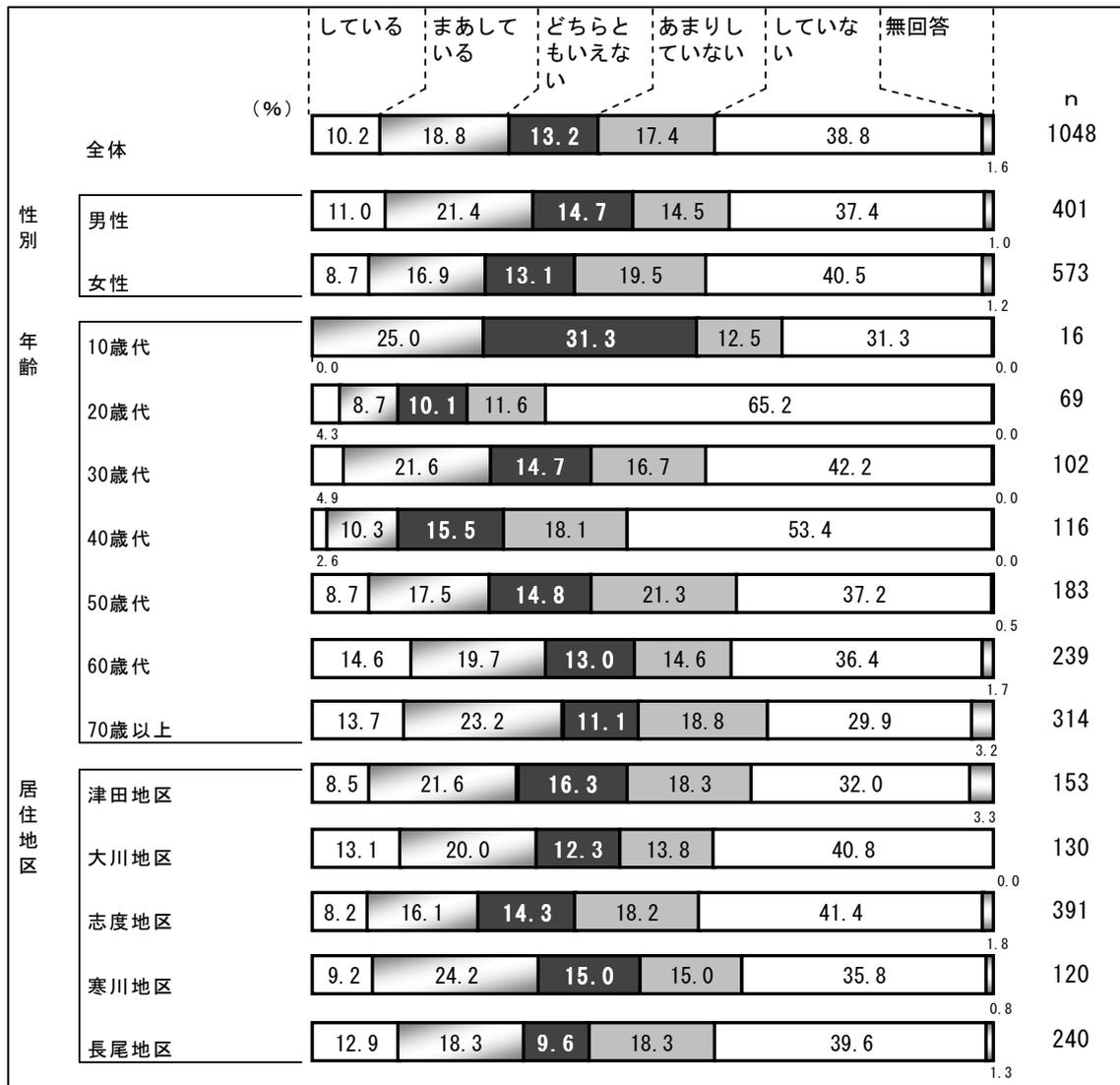
(27) 地域活動やボランティア活動の実施状況

問 26 27) 地域活動やボランティア活動をしていますか。

- “している” が 28.9%、“していない” が 56.2%。

地域活動やボランティア活動の実施状況については、「していない」(38.8%)、「まあしている」(18.8%)、「あまりしていない」(17.4%)、「どちらともいえない」(13.2%)、「している」(10.2%)の順となっています。[図表 58 参照]

図表 58 地域活動やボランティア活動の実施状況（全体・性別・年齢・居住地区）



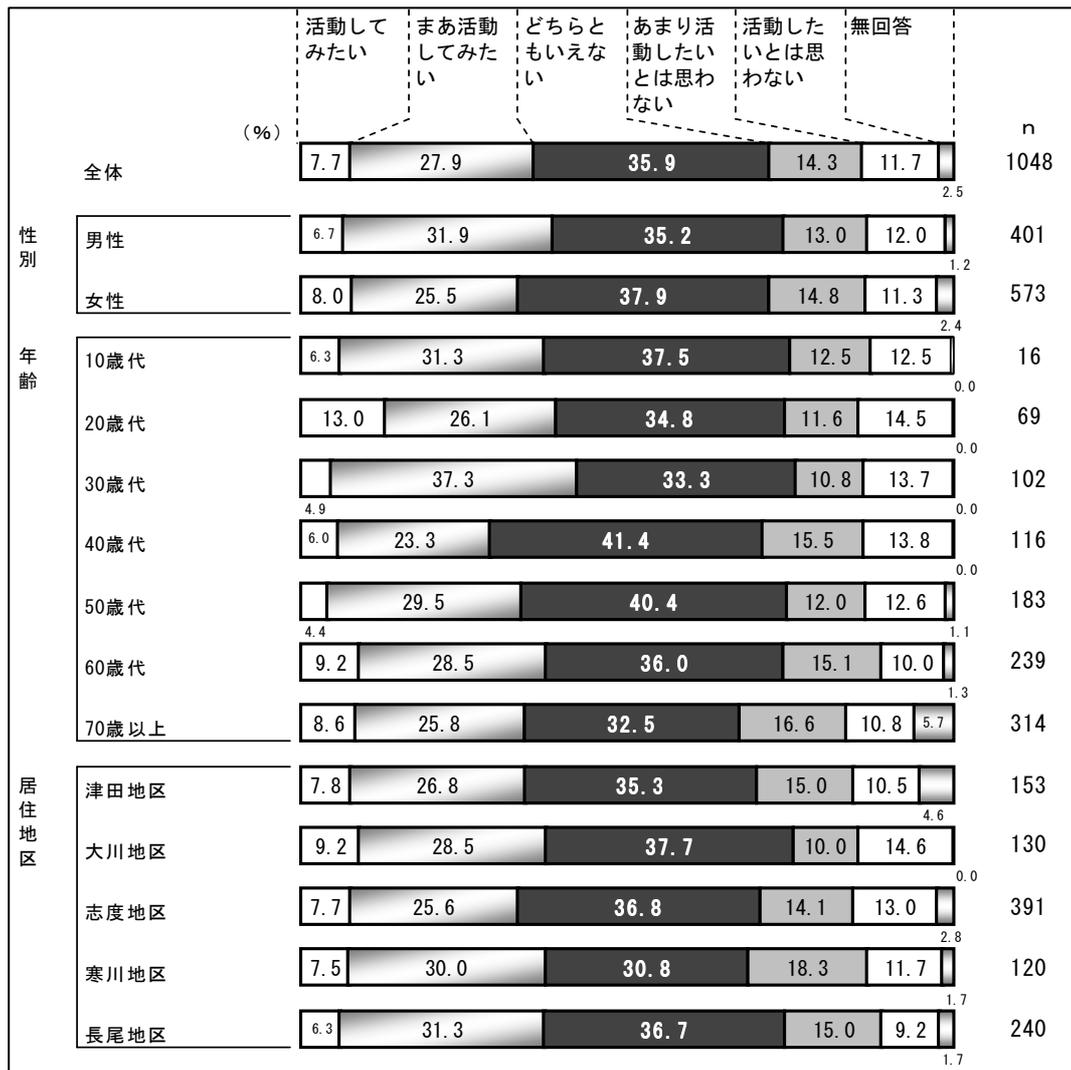
(28) 地域活動やボランティア活動をしてみたいか

問 26 28) 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいですか。

- “活動してみたい”が35.6%、“活動したいとは思わない”が26.0%。

地域活動やボランティア活動をしてみたいかどうかについては、「どちらともいえない」(35.9%)、「まあ活動してみたい」(27.9%)、「あまり活動したいとは思わない」(14.3%)、「活動したいとは思わない」(11.7%)、「活動してみたい」(7.7%)の順となっています。[図表 59 参照]

図表 59 地域活動やボランティア活動をしてみたいか（全体・性別・年齢・居住地区）



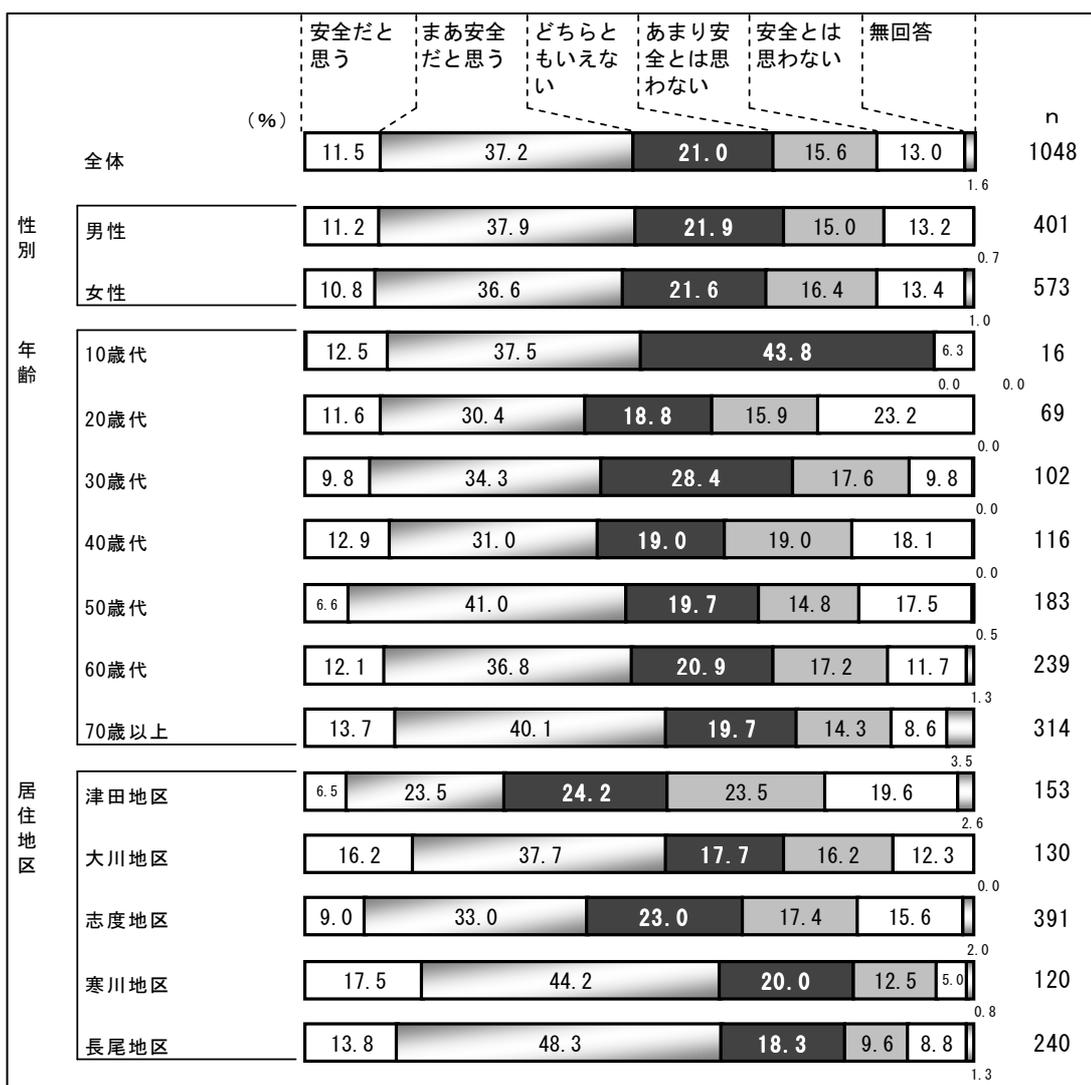
(29) 災害に対して地域は安全だと思うか

問 26 29) 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

- “安全だと思う” が 48.1%、“安全とは思わない” が 28.6%。

災害に対して地域は安全かどうかについては、「まあ安全だと思う」(37.2%)、「どちらともいえない」(21.0%)、「あまり安全とは思わない」(15.6%)、「安全とは思わない」(13.0%)、「安全だと思う」(11.5%)の順となっています。[図表 60 参照]

図表 60 災害に対して地域は安全だと思うか（全体・性別・年齢・居住地区）



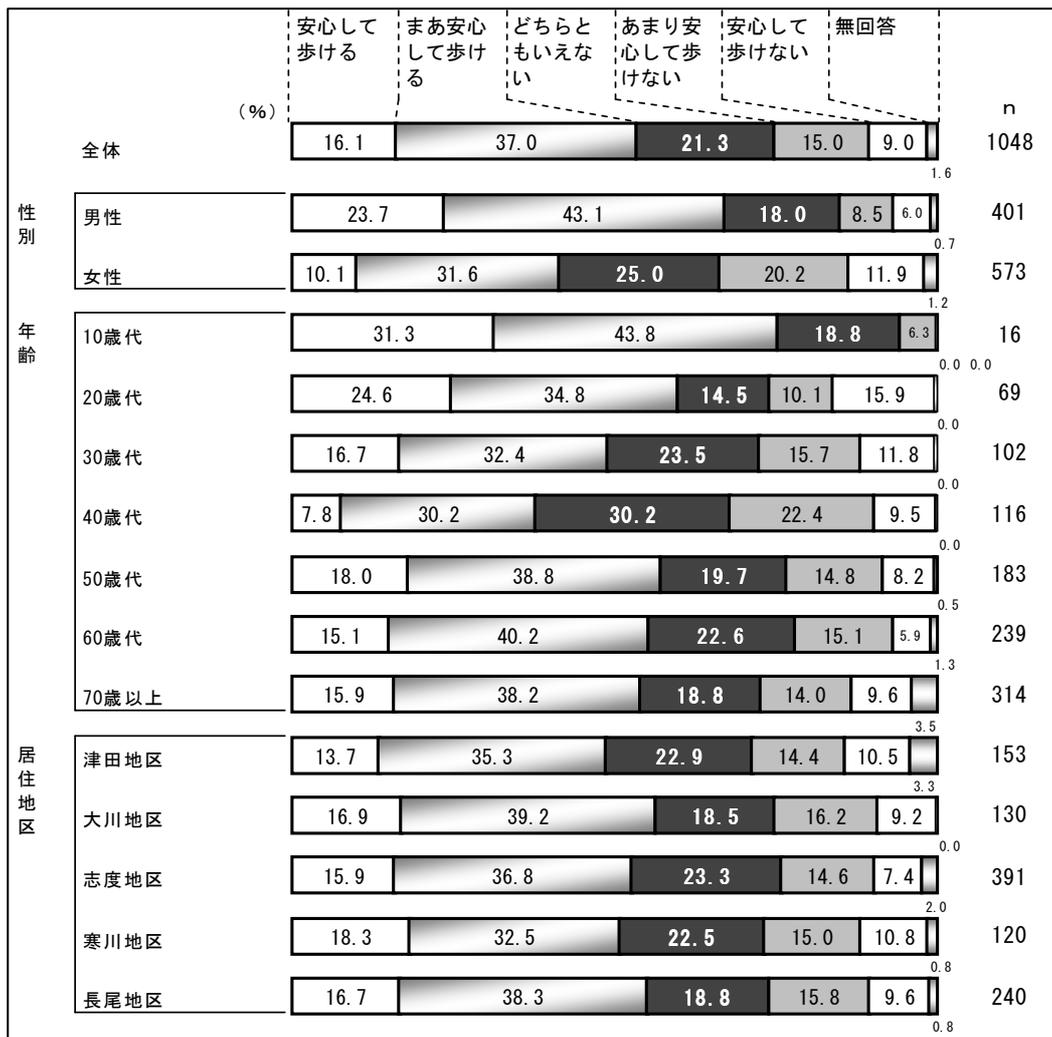
(30) 夜9時以降に地域を安心して歩けるか

問 26 30) 夜9時以降に住んでいる地域を安心して歩けますか。

- “安心して歩ける”が53.1%、“安心して歩けない”が24.0%。

夜9時以降に地域を安心して歩けるかどうかについては、「まあ安心して歩ける」(37.0%)、「どちらともいえない」(21.3%)、「安心して歩ける」(16.1%)、「あまり安心して歩けない」(15.0%)、「安心して歩けない」(9.0%)の順となっています。[図表 61 参照]

図表 61 夜9時以降に地域を安心して歩けるか（全体・性別・年齢・居住地区）



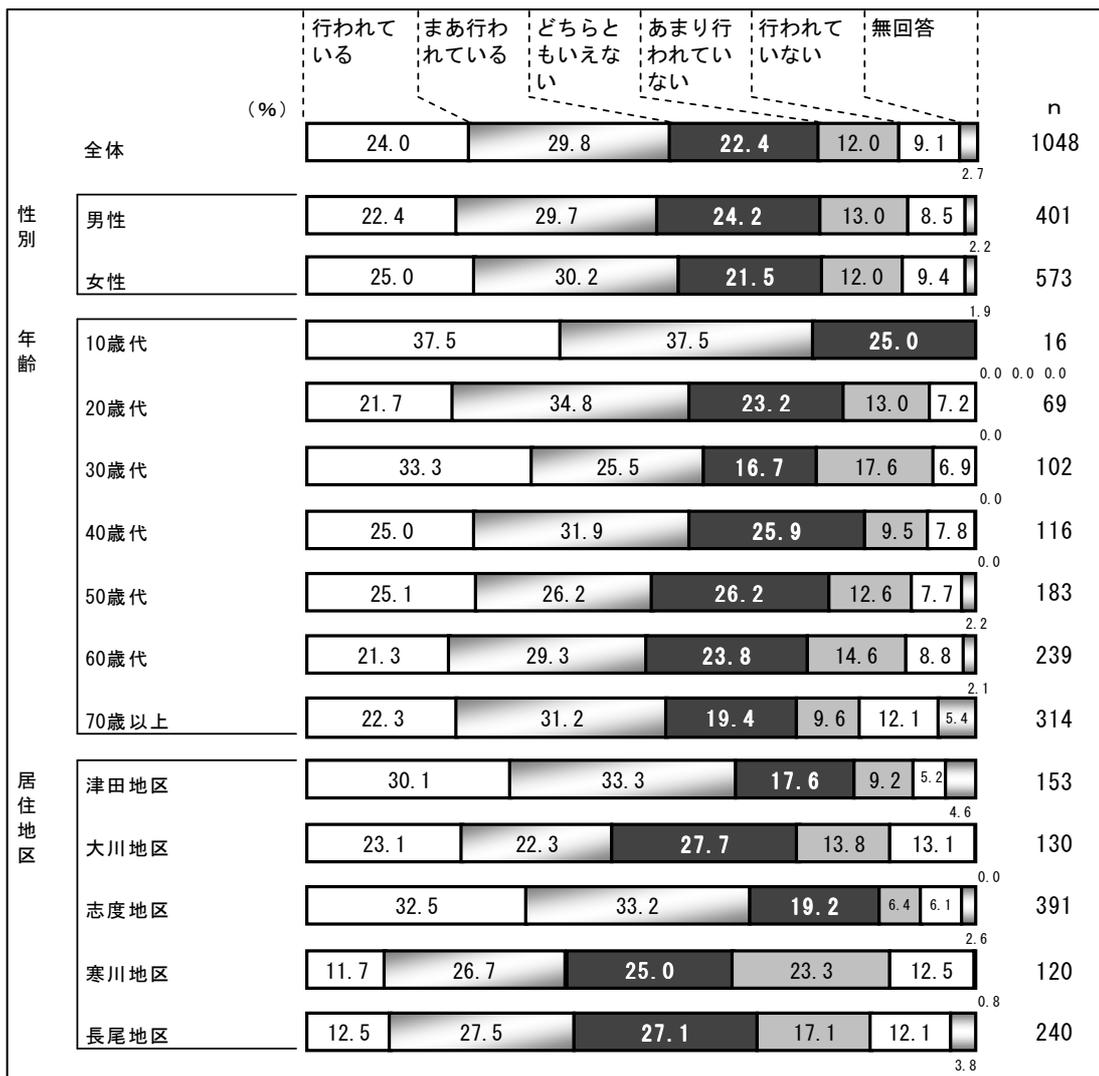
(31) 安全・安心を守る取り組みが行われているか

問 26 31) 住んでいる地域で登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取組が行われていますか。

- “行われている” が 53.8%、“行われていない” が 21.1%。

安全・安心を守る取り組みが行われているかどうかについては、「まあ行われている」(29.8%)、「行われている」(24.0%)、「どちらともいえない」(22.4%)、「あまり行われていない」(12.0%)、「行われていない」(9.1%)の順となっています。[図表 62 参照]

図表 62 安全・安心を守る取り組みが行われているか（全体・性別・年齢・居住地区）



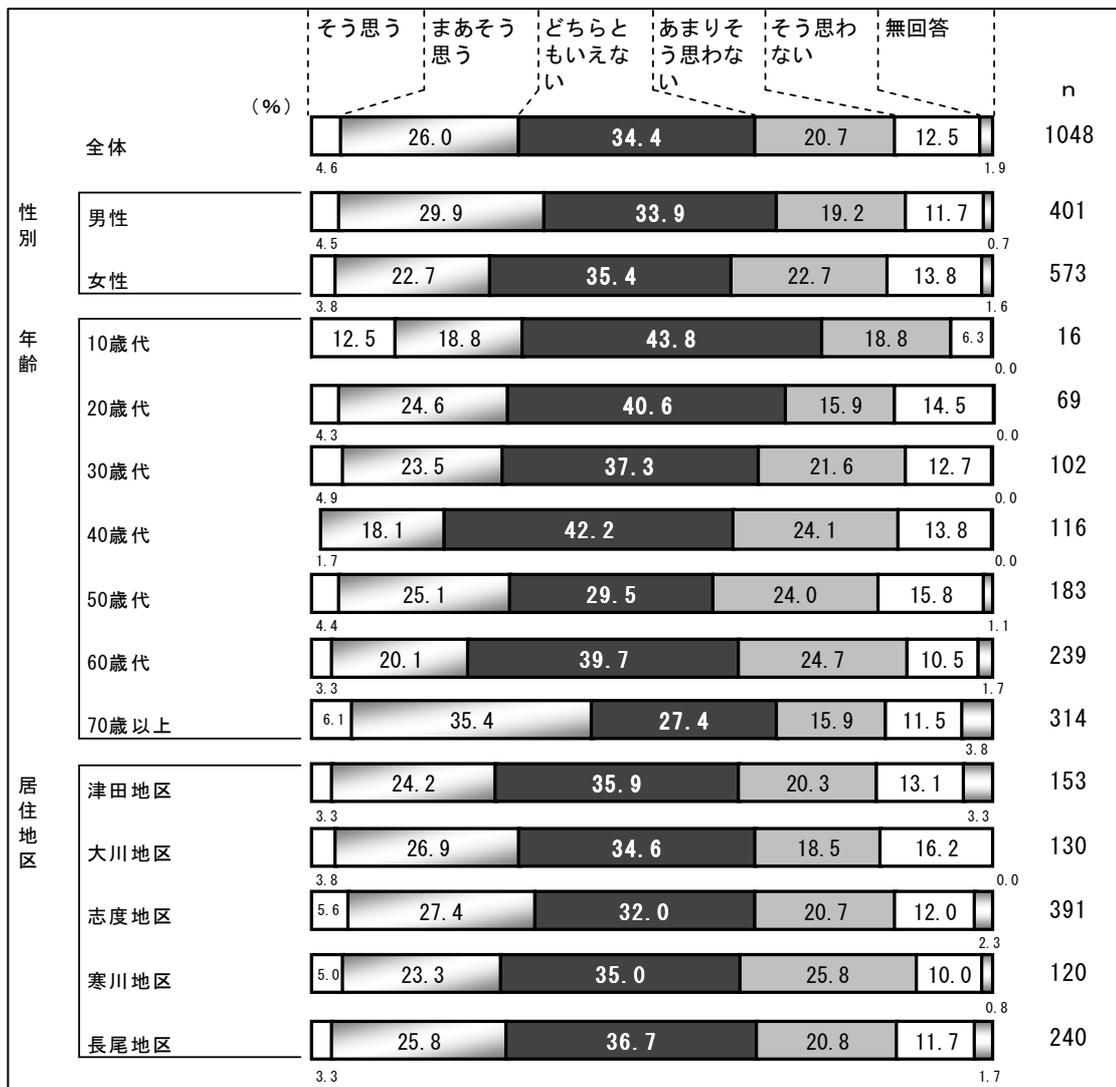
(32) 地域は高齢者や障害者にも暮らしやすいか

問 26 32) 住んでいる地域は高齢者や障害者にも暮らしやすいと思いますか。

- “そう思う” が 30.6%、“そう思わない” が 33.2%。

地域は高齢者や障害者にも暮らしやすいかどうかについては、「どちらともいえない」(34.4%)、「まあそう思う」(26.0%)、「あまりそう思わない」(20.7%)、「そう思わない」(12.5%)、「そう思う」(4.6%) の順となっています。[図表 63 参照]

図表 63 地域は高齢者や障害者にも暮らしやすいか (全体・性別・年齢・居住地区)



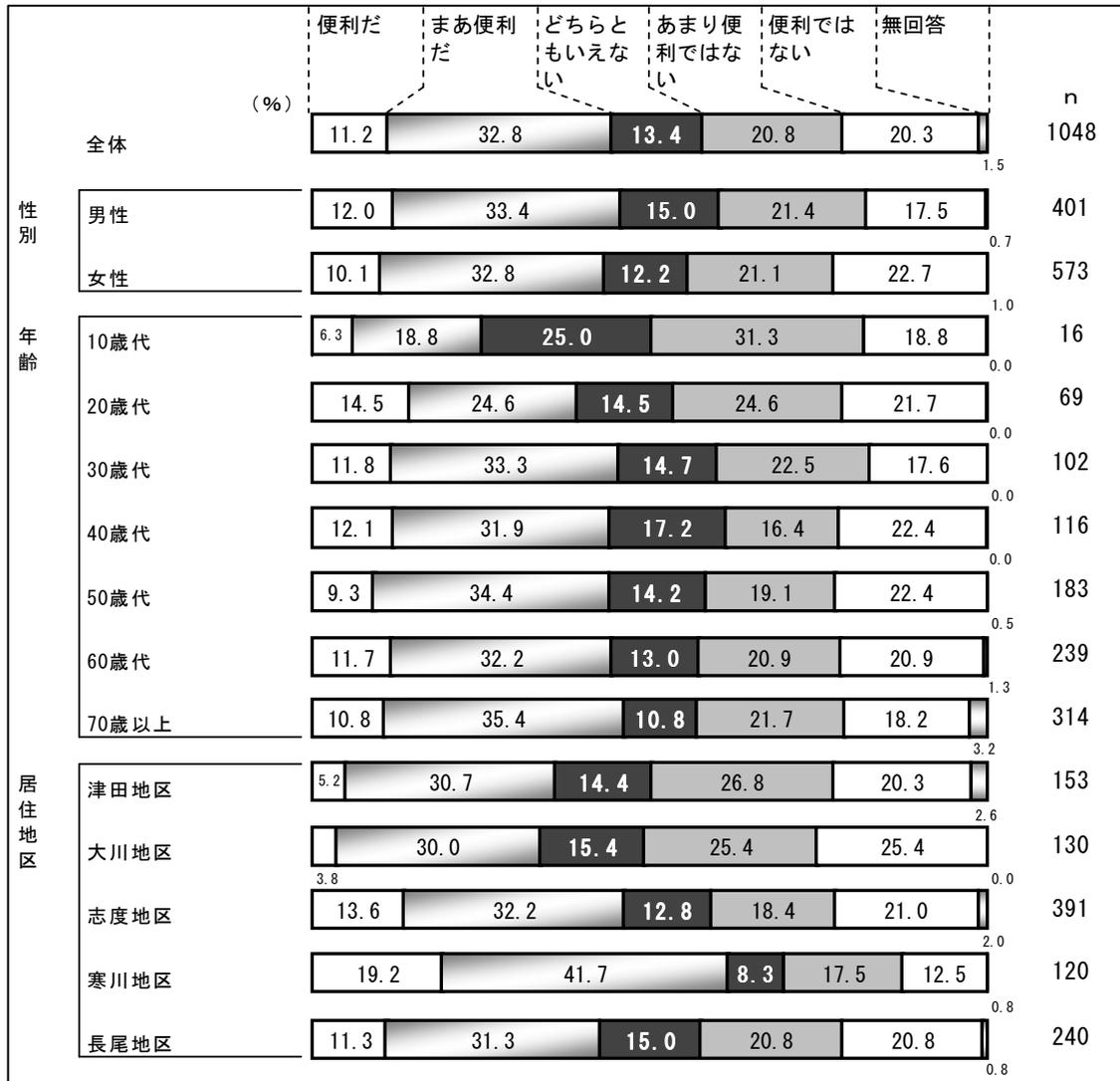
(33) 住んでいる地域は買い物・通院に便利か

問 26 33) 住んでいる地域は買い物や通院に便利ですか。

- “便利だ” が 44.0%、“便利ではない” が 41.1%。

住んでいる地域は買い物・通院に便利かどうかについては、「まあ便利だ」(32.8%)、「あまり便利ではない」(20.8%)、「便利ではない」(20.3%)、「どちらともいえない」(13.4%)、「便利だ」(11.2%)の順となっています。[図表 64 参照]

図表 64 住んでいる地域は買い物・通院に便利か（全体・性別・年齢・居住地区）



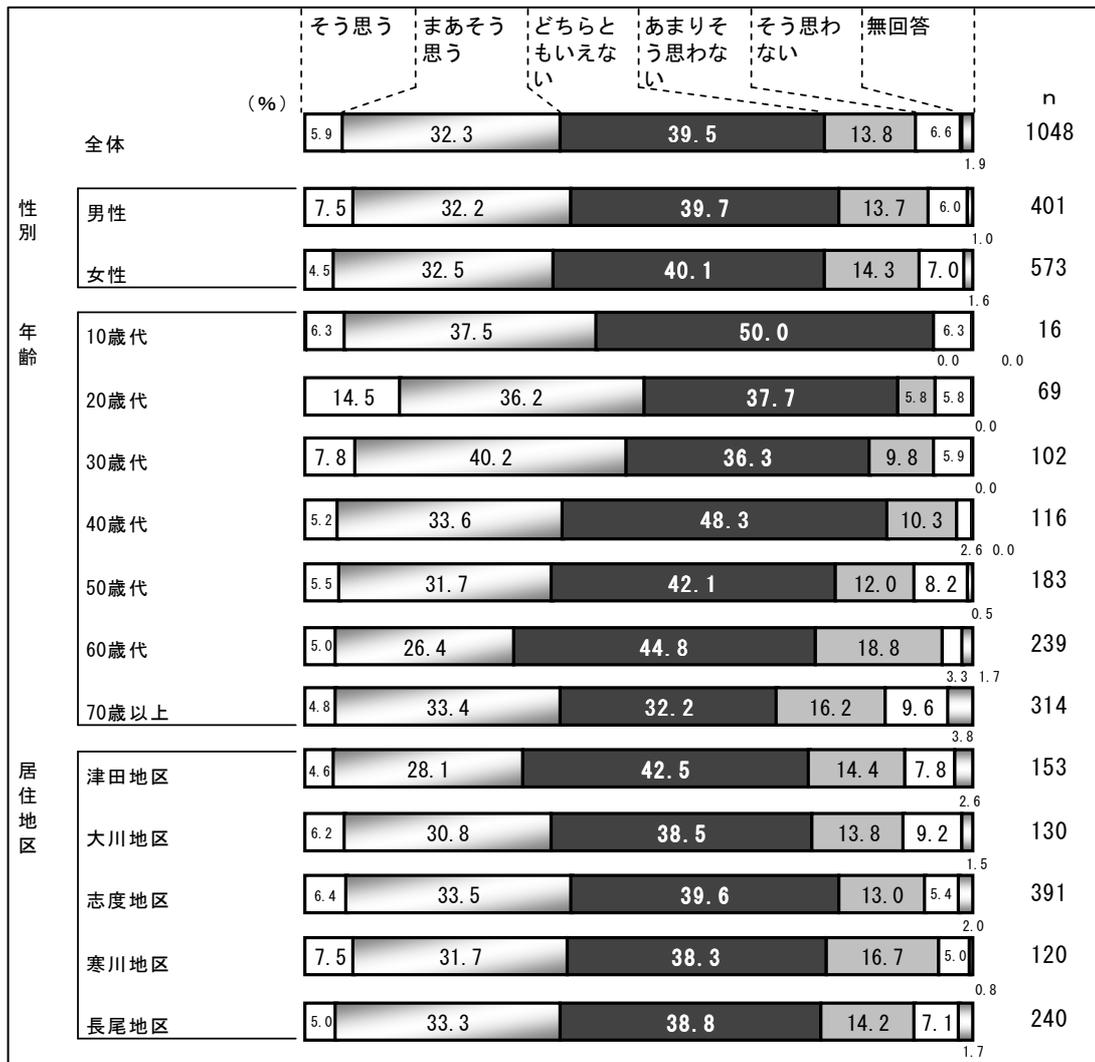
(34) 地域の高齢者はいきいきと暮らしているか

問 26 34) 住んでいる地域の高齢者はいきいきと暮らしていると思いますか。

- “そう思う” が 38.2%、“そう思わない” が 20.4%。

地域の高齢者はいきいきと暮らしているかどうかについては、「どちらともいえない」(39.5%)、「まあそう思う」(32.3%)、「あまりそう思わない」(13.8%)、「そう思わない」(6.6%)、「そう思う」(5.9%) の順となっています。[図表 65 参照]

図表 65 地域の高齢者はいきいきと暮らしているか (全体・性別・年齢・居住地区)



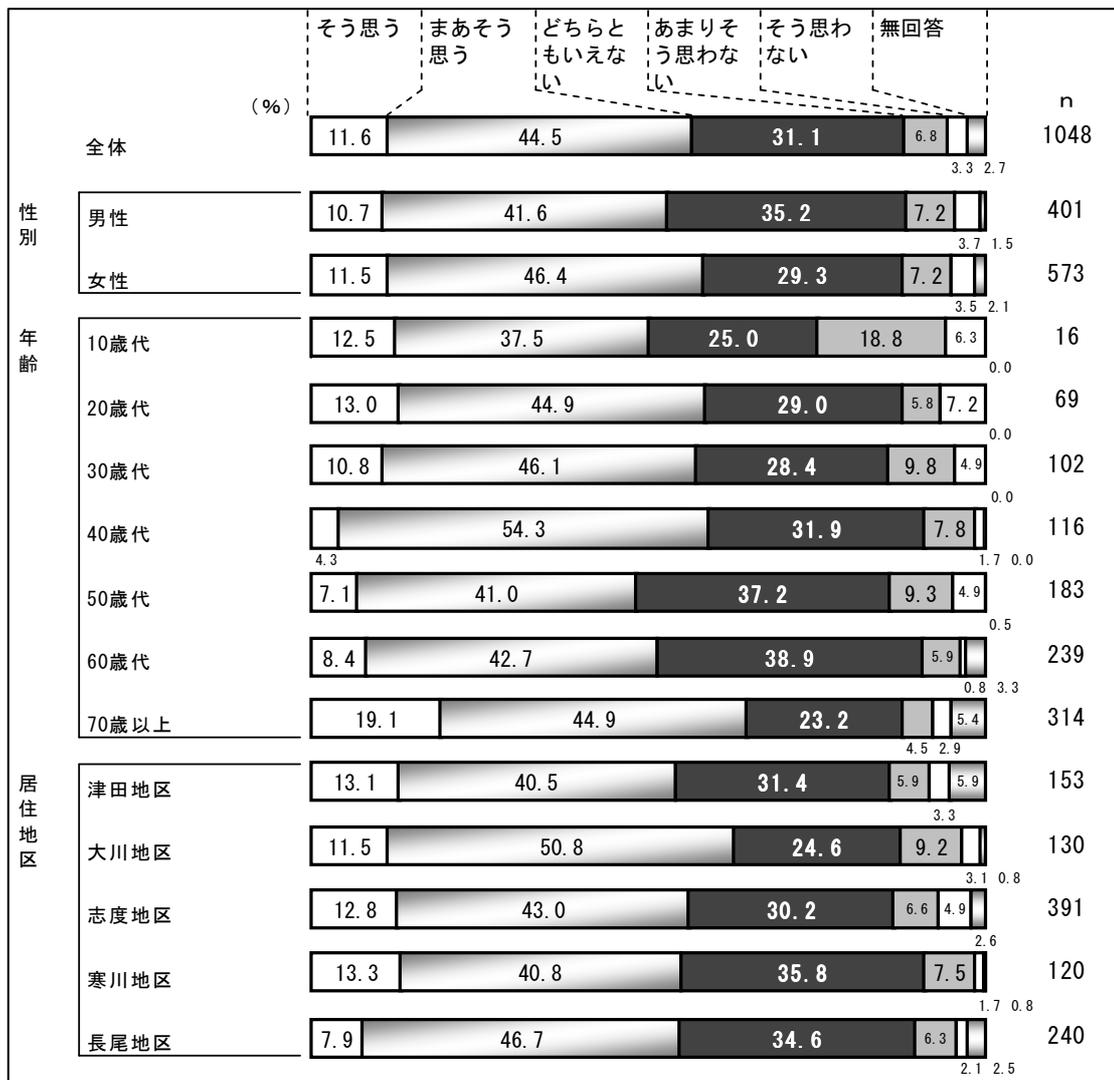
(35) 地域の子どもは伸び伸びと育っているか

問 26 35) 住んでいる地域の子どもは伸び伸びと育っていると思いますか。

- “そう思う” が 56.1%、 “そう思わない” が 10.1%。

地域の子どもは伸び伸びと育っているかどうかについては、「まあそう思う」(44.5%)、「どちらともいえない」(31.1%)、「そう思う」(11.6%)、「あまりそう思わない」(6.8%)、「そう思わない」(3.3%)の順となっています。[図表 66 参照]

図表 66 地域の子どもは伸び伸びと育っているか (全体・性別・年齢・居住地区)



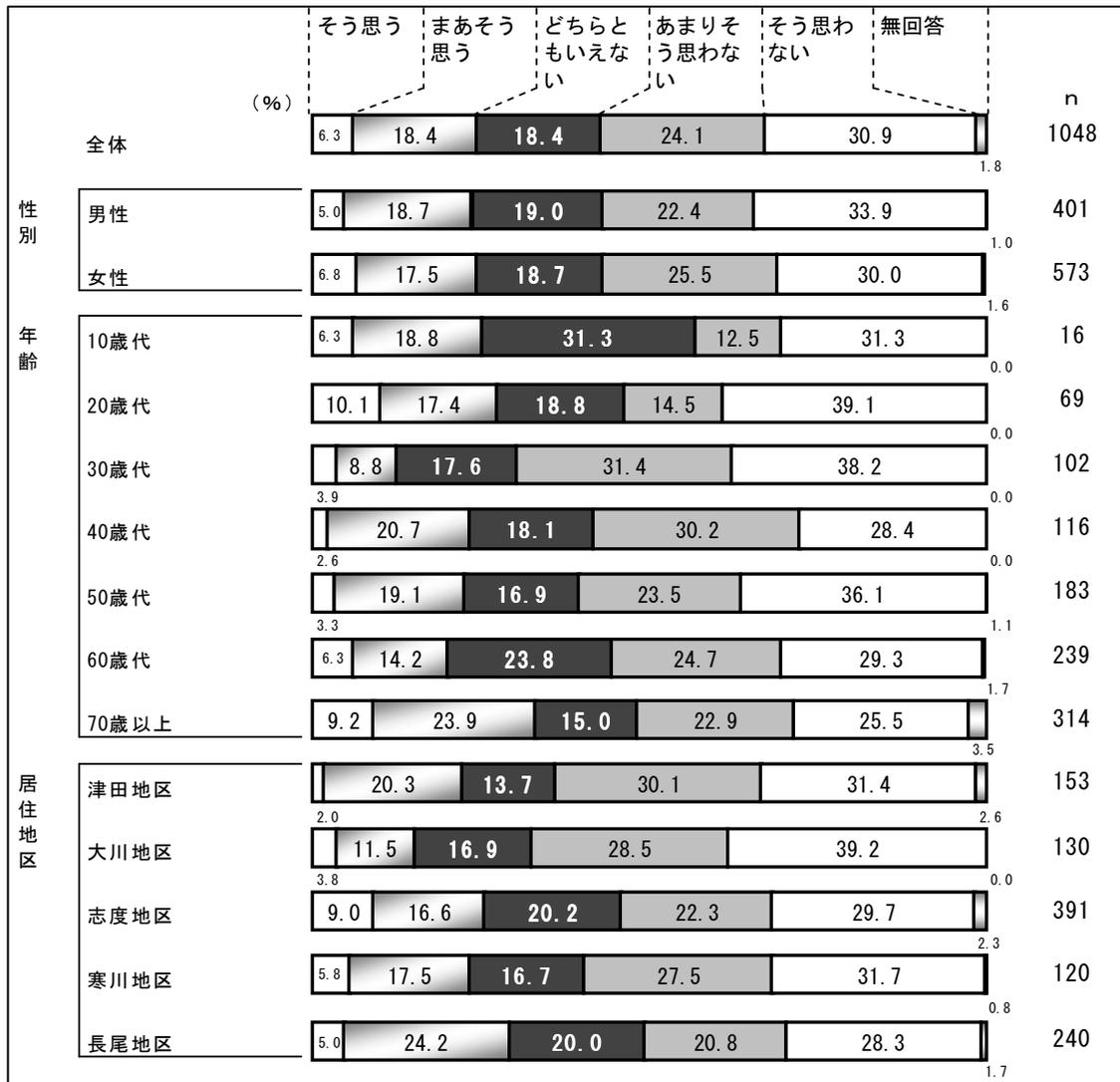
(36) 住んでいる地域の公共交通等は便利か

問 26 36) 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

- “そう思う” が 24.7%、“そう思わない” が 55.0%。

住んでいる地域の公共交通等は便利かどうかについては、「そう思わない」(30.9%)、「あまりそう思わない」(24.1%)、「まあそう思う」(18.4%)、「どちらともいえない」(18.4%)、「そう思う」(6.3%) の順となっています。[図表 67 参照]

図表 67 住んでいる地域の公共交通等は便利か（全体・性別・年齢・居住地区）



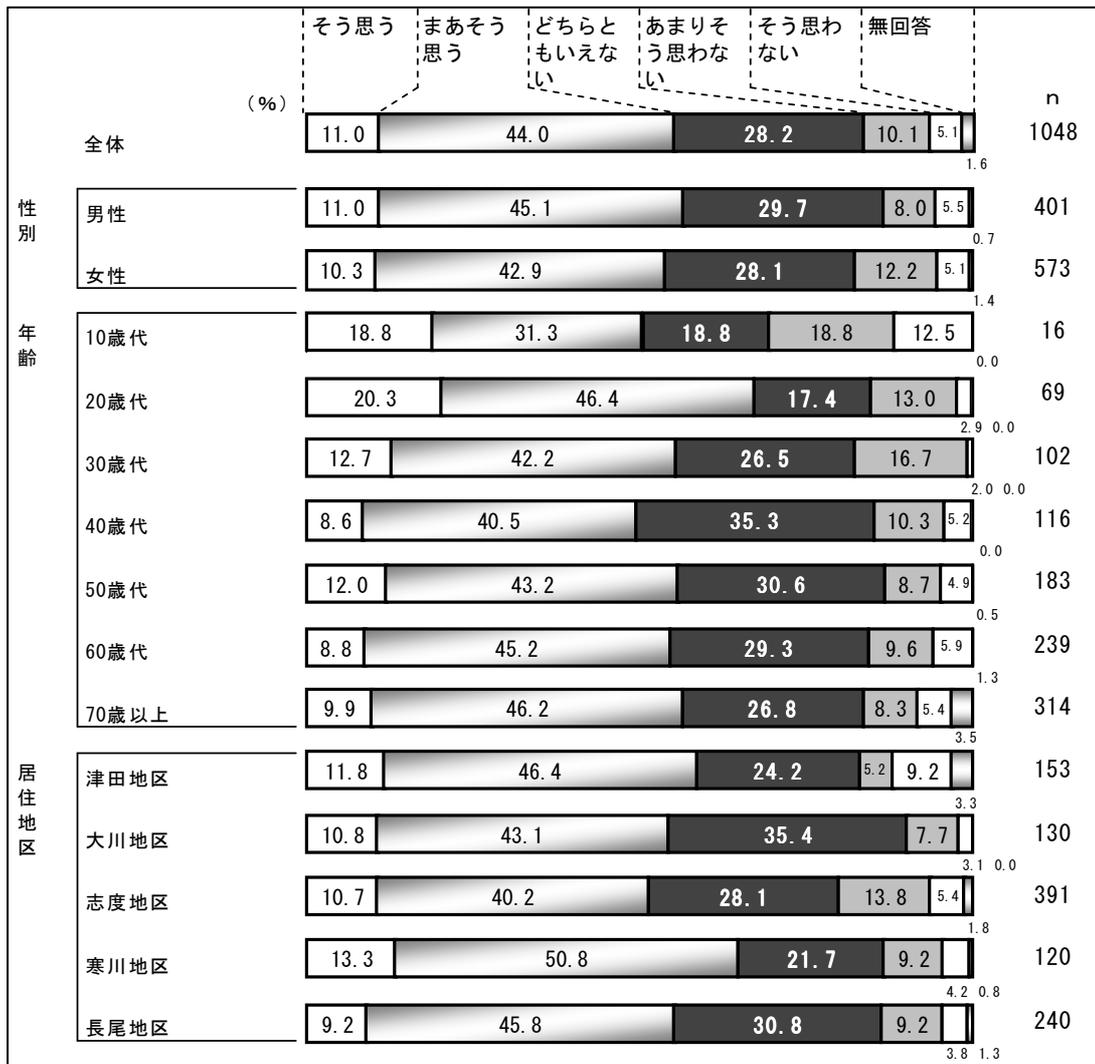
(37) 住んでいる地域はきれいか

問 26 37) 住んでいる地域はきれいだと思いますか。

- “そう思う” が 55.0%、 “そう思わない” が 15.2%。

住んでいる地域はきれいかどうかについては、「まあそう思う」(44.0%)、「どちらともいえない」(28.2%)、「そう思う」(11.0%)、「あまりそう思わない」(10.1%)、「そう思わない」(5.1%)の順となっています。[図表 68 参照]

図表 68 住んでいる地域はきれいか (全体・性別・年齢・居住地区)



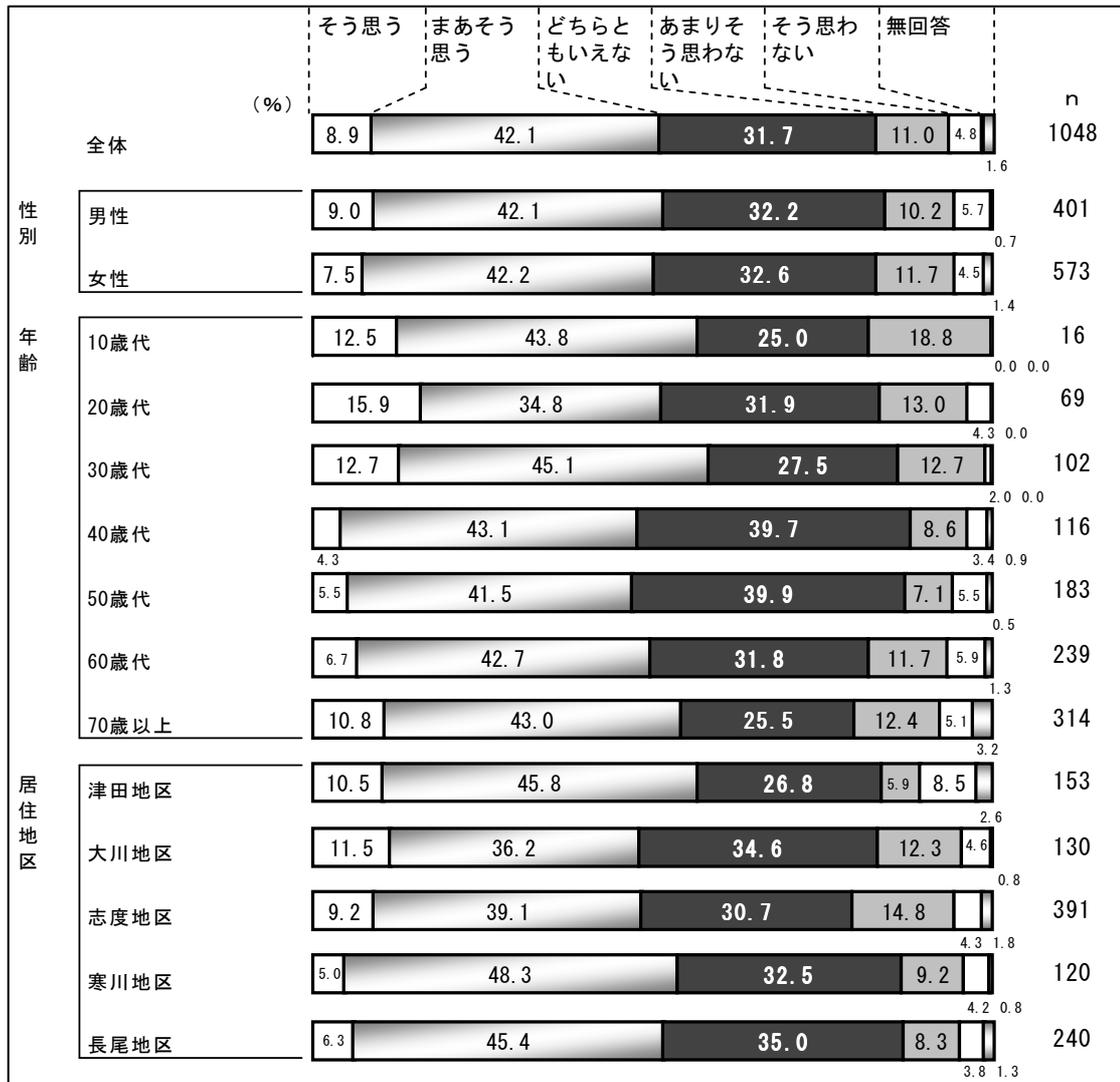
(38) 地域の自然環境は守られているか

問 26 38) 住んでいる地域の自然環境は守られていると思いますか。

- “そう思う” が 51.0%、 “そう思わない” が 15.8%。

地域の自然環境は守られているかどうかについては、「まあそう思う」(42.1%)、「どちらともいえない」(31.7%)、「あまりそう思わない」(11.0%)、「そう思う」(8.9%)、「そう思わない」(4.8%)の順となっています。[図表 69 参照]

図表 69 地域の自然環境は守られているか (全体・性別・年齢・居住地区)



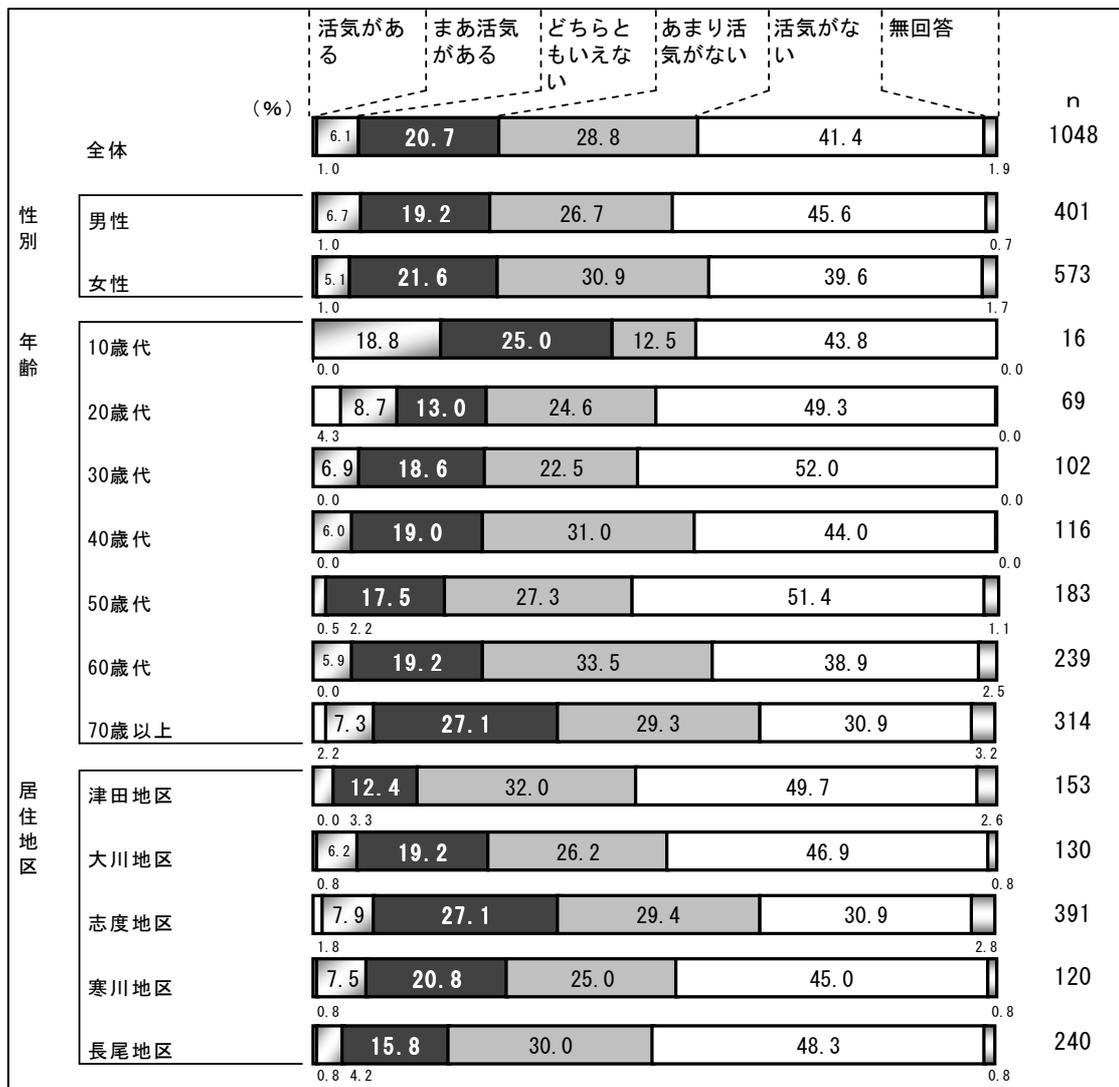
(39) 住んでいる地域に活気があるか

問 26 39) 住んでいる地域の商店街や駅前に活気がありますか。

- “活気がある” が 7.1%、 “活気がない” が 70.2%。

住んでいる地域の商店街や駅前に活気があるかどうかについては、「活気がない」(41.4%)、「あまり活気がない」(28.8%)、「どちらともいえない」(20.7%)、「まあ活気がある」(6.1%)、「活気がある」(1.0%) の順となっています。[図表 70 参照]

図表 70 住んでいる地域に活気があるか（全体・性別・年齢・居住地区）



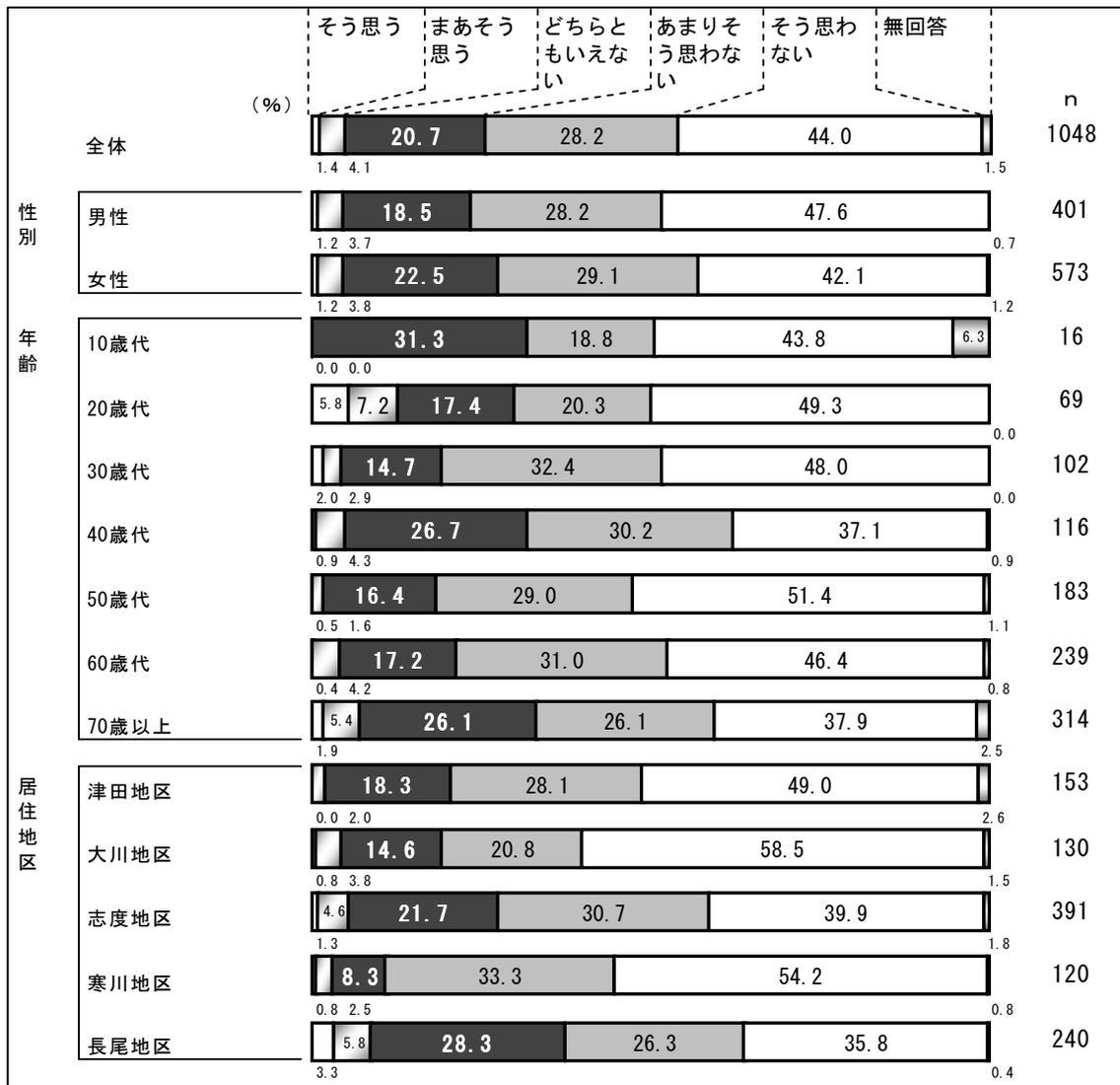
(40) 地域に観光などの訪問客が増えているか

問 26 40) 住んでいる地域に観光などの訪問客が増えていると思いますか。

- “そう思う” が 5.5%、 “そう思わない” が 72.2%。

地域に観光などの訪問客が増えているかどうかについては、「そう思わない」(44.0%)、「あまりそう思わない」(28.2%)、「どちらともいえない」(20.7%)、「まあそう思う」(4.1%)、「そう思う」(1.4%)の順となっています。[図表 71 参照]

図表 71 地域に観光などの訪問客が増えているか (全体・性別・年齢・居住地区)



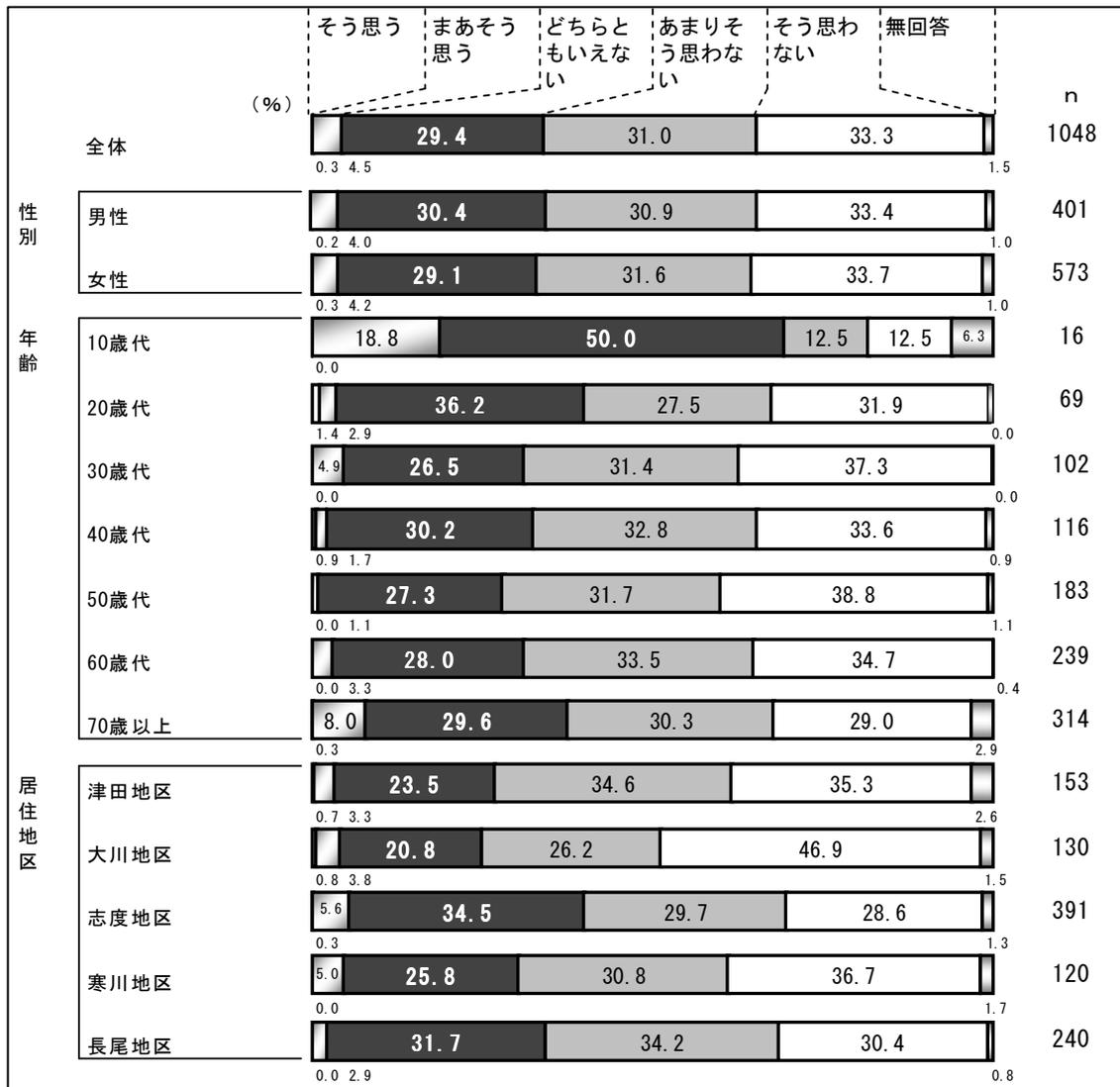
(41) 性別・年齢を問わず働きやすい環境か

問 26 41) 性別や年齢を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思いますか。

- “そう思う” が 4.8%、“そう思わない” が 64.3%。

性別・年齢を問わず働きやすい環境かどうかについては、「そう思わない」(33.3%)、「あまりそう思わない」(31.0%)、「どちらともいえない」(29.4%)、「まあそう思う」(4.5%)、「そう思う」(0.3%) の順となっています。[図表 72 参照]

図表 72 性別・年齢を問わず働きやすい環境か（全体・性別・年齢・居住地区）



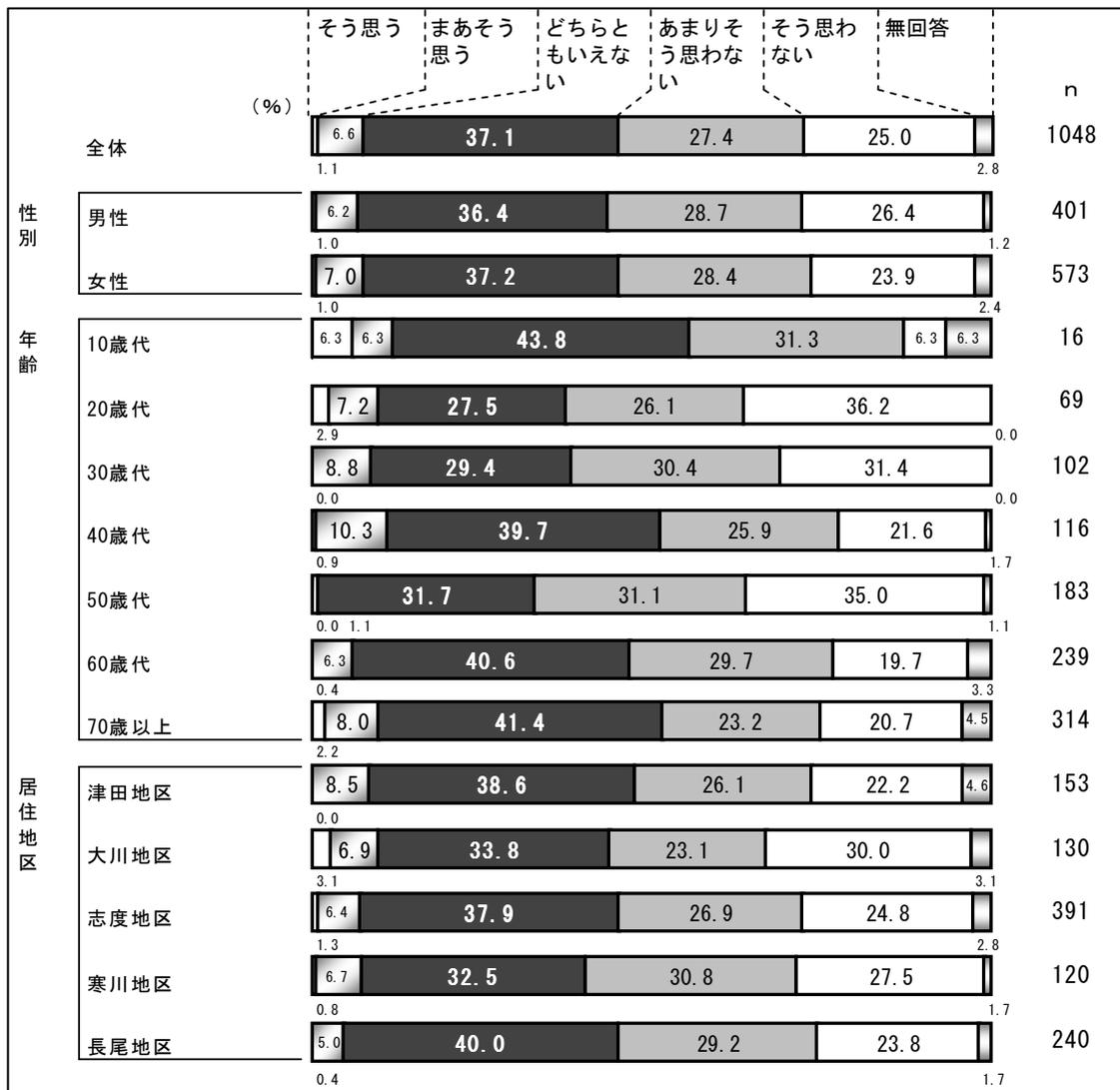
(42) 企業は子育て支援に積極的だと思うか

問 26 42) 企業は子育て支援に積極的だと思いますか。

- “そう思う” が7.7%、“そう思わない” が52.4%。

企業が子育て支援に積極的だと思うかどうかについては、「どちらともいえない」(37.1%)、「あまりそう思わない」(27.4%)、「そう思わない」(25.0%)、「まあそう思う」(6.6%)、「そう思う」(1.1%)の順となっています。[図表 73 参照]

図表 73 企業は子育て支援に積極的だと思うか（全体・性別・年齢・居住地区）



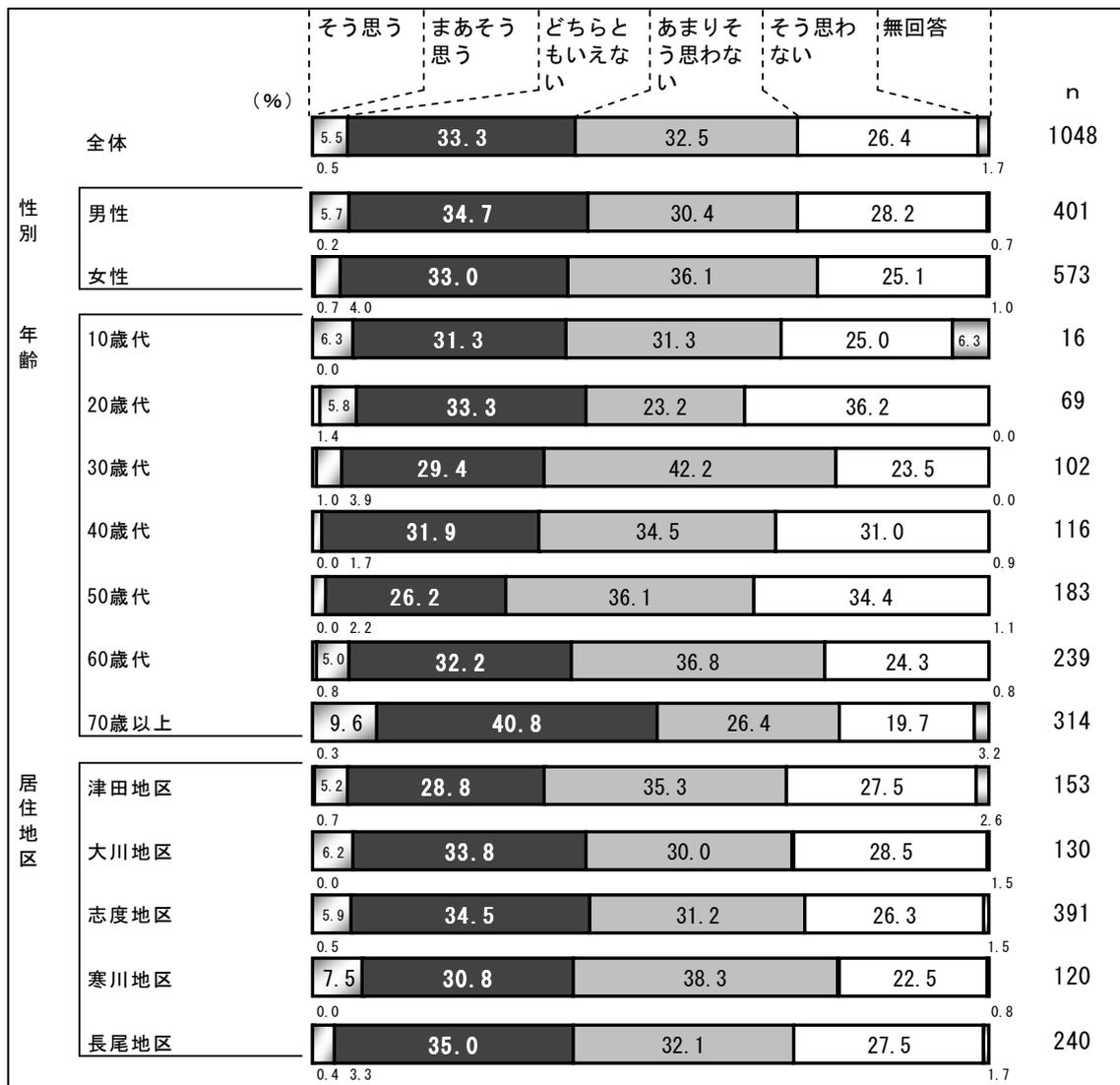
(43) 若者が希望を持てる社会だと思うか

問 26 43) 若者が希望を持てる社会だと思いますか。

- “そう思う” が 6.0%、 “そう思わない” が 58.9%。

若者が希望を持てる社会かどうかについては、「どちらともいえない」(33.3%)、「あまりそう思わない」(32.5%)、「そう思わない」(26.4%)、「まあそう思う」(5.5%)、「そう思う」(0.5%)の順となっています。[図表 74 参照]

図表 74 若者が希望を持てる社会だと思うか (全体・性別・年齢・居住地区)



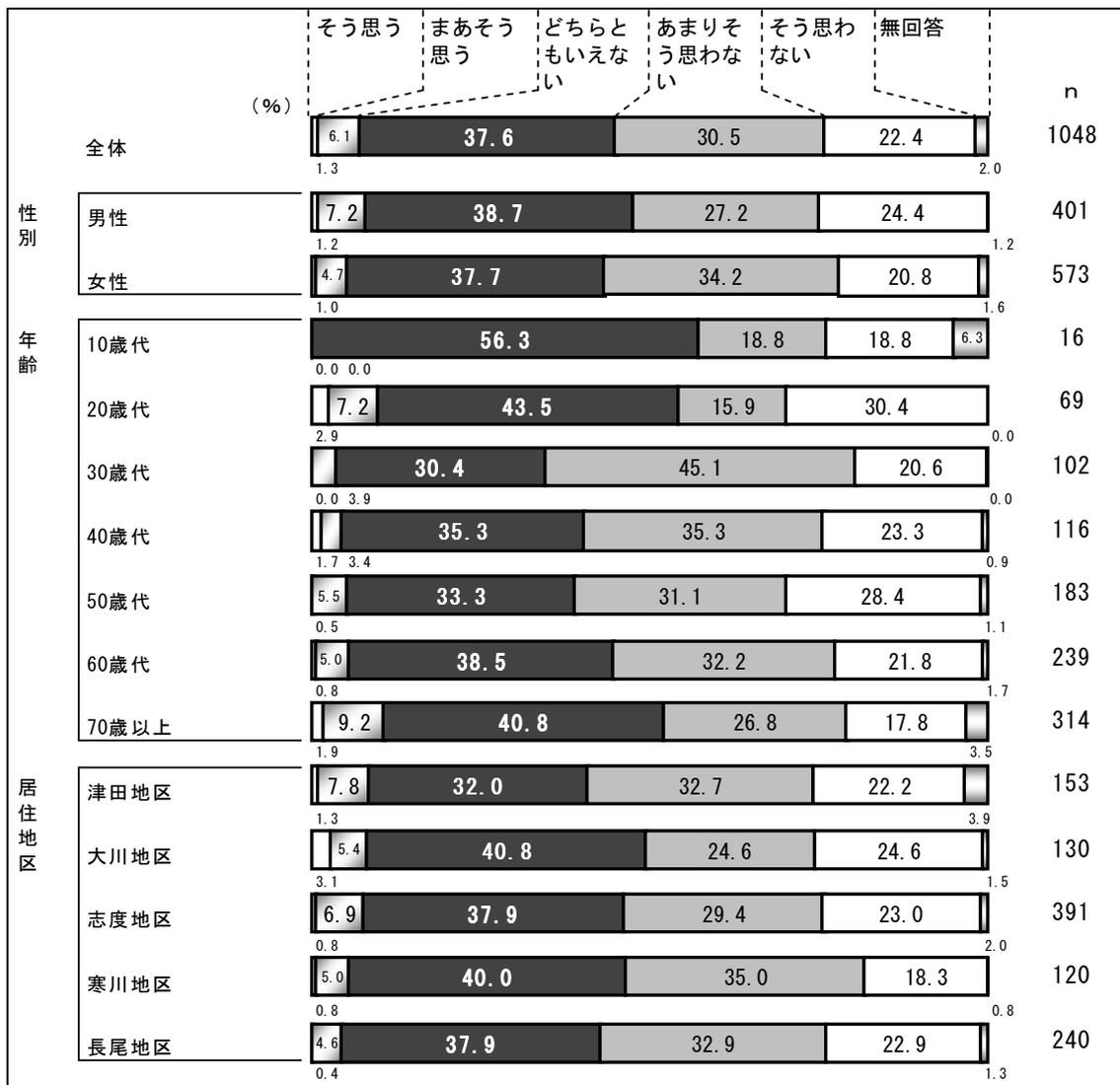
(44) 挑戦する人を進んで応援する社会か

問 26 44) 挑戦する人を進んで応援する社会だと思いますか。

- “そう思う” が 7.4%、“そう思わない” が 52.9%。

挑戦する人を進んで応援する社会かどうかについては、「どちらともいえない」(37.6%)、「あまりそう思わない」(30.5%)、「そう思わない」(22.4%)、「まあそう思う」(6.1%)、「そう思う」(1.3%)の順となっています。[図表 75 参照]

図表 75 挑戦する人を進んで応援する社会か (全体・性別・年齢・居住地区)



(2) 肯定的な回答について

生活や地域に関する 44 項目の設問の中で、「1.」と「2.」を合わせた“肯定的な回答”が多かった項目（※時間で答えた「15」平日に家族で話をする時間）を除く）をみると、下表のとおりとなります。

＜ “肯定的な回答”が多かった上位 20 項目＞

- ① 「ごみ分別やリサイクルへの協力状況」 (92.4%)、
- ② 「環境に配慮しているか」 (89.4%)、
- ③ 「水を大切に使用しているか」 (83.8%)、
- ④ 「地元や県内産農・水産物を買っているか」 (73.1%)、
- ⑤ 「森・海を守るための取り組みに協力したいか」 (71.6%)、
- ⑥ 「災害時の避難場所を知っているか」 (68.1%)、
- ⑦ 「かかりつけの医者はいるか」 (66.2%)、
- ⑧ 「環境に配慮した製品を選んで購入しているか」 (65.2%)、
- ⑨ 「頼りになる知り合いが近所にいるか」 (58.8%)、
- ⑩ 「地域の子どもは伸び伸びと育っているか」 (56.1%)、
- ⑪ 「住んでいる地域はきれいか」 (55%)、
- ⑫ 「安全・安心を守る取組が行われているか」 (53.8%)、
- ⑬ 「夜 9 時以降に地域を安心して歩けるか」 (53.1%)、
- ⑭ 「自分のしごとにやりがいを感じるか」 (52.8%)、
- ⑮ 「しごとと自分の生活の両立ができていないか」 (52.6%)、
- ⑯ 「運動・スポーツを行った日数」・「今の生活に対する全体的な満足度」 (同率 51.5%)、
- ⑰ 「地域の自然環境は守られているか」 (51%)、
- ⑱ 「健康づくりに取り組んでいるか」 (49.6%)、
- ⑳ 「災害に対して地域は安全だと思うか」 (48.8%)、